HIC-TR200X40PTZ
取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 2.0 版

管理番号:TEC-26MA0312-02.0

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は，クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI－A

改版履歴

第 1 版	2026 年 09 月 29 日	新規作成
第 2 版	2026 年 10 月 01 日	誤字を修正

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 本製品は、一般事務用、通常の産業等の一般的用途を想定した製品であり、ハイセイフティ用途*での設備や機器としての使用またはこれらに組込んでの使用は意図されておりません。
  これらの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障等により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。
  お客様が、本製品をハイセイフティ用途に使用される場合は、必要な安全性を確保する措置を施す等 十分な配慮をお願いします。
  *: 極めて高度な信頼性や安全性が要求され、機器の故障、誤動作により、信頼性や安全性が確保されない場合、生命、身体や財産等に損害を及ぼす恐れがある用途

- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。

- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。

- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。

- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. はじめに 9

1.1 製品概要 9

1.2 特徴 9

1.3 梱包物一覧 10

1.4 製品外観 11

1.4.1 前面 11

1.4.2 側面 11

1.4.3 背面 12

1.4.4 上面 12

1.4.5 底面 13

1.4.6 ウォールマウント金具 14

1.4.7 ポールブラケット 15

1.5 カメラの設置 16

2 WebGUI について 17

2.1 設定画面へのログイン 17

2.2 本製品のセキュリティ設定について 18

3 メニューの切り替え方法 19

3.1 SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え 19

3.2 LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え 19

4 基本設定 20

4.1 IP アドレスの変更 20

4.2 ログインパスワードの変更 21

5 Setup メニュー 22

5.1 ビデオ&オーディオ 22

5.1.1 統計 23

5.1.2 ビデオ 23

5.1.3 オーディオ 28

5.2 画像 30

5.2.1 全般 31

5.2.2 スケジュール 36

5.2.3 マスク 37

5.2.4 IR LED 制御 38

5.3 ネットワーク 39

5.3.1 IP & ポート 40

5.3.2 RTSP マルチキャスト 46

5.3.3 QoS 47

5.3.4 ディスカバリー 48

5.3.5 片方向ストリーミング 49

5.3.6 SRT 52

5.3.7 SNMP 54

5.3.8 DDNS 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。 56

5.3.9 IP フィルタリング 57

5.3.10 E-メール 58

5.3.11 SSL 60

5.3.12 接続 61

5.4 イベント 62

5.4.1 通知 63

5.4.2 ユーザ定義イベント 65

5.4.3 動作検知 66

5.4.4 音声検知 68

5.4.5 衝撃検知 69

5.4.6 センサー 70

5.4.7 アラーム 72

5.4.8 イベント OSD 73

5.4.9 HTTP アクション 75

5.5 デバイス 76

5.5.1 情報 77

5.5.2 シリアル 77

5.6 AI 78

5.6.1 物体検出 79

5.6.2 ビデオ監視 82

5.6.3 車両速度 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。 89

5.6.4 車番認識 本機能は未サポートのため、ご使用になれません。 90

5.6.5 隠蔽検知 91

5.7 PTZ 92

5.7.1 全般 93

5.7.2 プリセット 94
5.7.3 パターン.....95
5.7.4 スイング 96
5.7.5 グループ 97
5.7.6 詳細設定 98
5.7.7 方向 OSD 103
5.7.8 位置 OSD 104
5.7.9 追跡 106
5.8 ユーザ 109
5.8.1 ユーザリスト..... 110
5.8.2 ログインポリシー 112
5.9 システム 114
5.9.1 情報 115
5.9.2 メンテナンス..... 116
5.9.3 時刻 119
5.9.4 OSD 120
5.9.5 ログ 123
6 Live メニュー 126
7 製品仕様 128
8 セキュリティに関するご注意 130
9 困ったときには 131
10 製品保証 132

1. はじめに

1.1 製品概要

HIC-TR200X40PTZ は、1/1.8 型 CMOS センサーを搭載した、フル HD 対応のネットワーク PTZ カメラです。光学 40 倍ズームと最大 16 倍のデジタルズームに対応し、最大 1920×1080 の映像を 60fps で配信できます。

ネットワーク経由で映像の確認やパン・チルト・ズームの操作ができ、広範囲の監視から遠方の被写体の確認まで対応します。また、赤外線 LED による夜間撮影、AI による人物・車両の検出と自動追尾、EIS による電子式画像揺れ補正機能を搭載しています。

1.2 特徴

- 1/1.8 型 CMOS センサーを搭載し、最大 1920×1080・60fps の映像配信に対応
- 光学 40 倍ズームレンズを搭載
- 最大 16 倍のデジタルズームに対応
- 赤外線 LED を搭載し、最大 350m の照射に対応
- 360° エンドレスパンおよび－10° ～90° のチルト動作に対応
- AI による人物・車両の検出および自動追尾に対応
- EIS による電子式画像揺れ補正機能を搭載
- H.264／H.265／MJPEG の映像圧縮方式に対応
- WDR・BLC・HLC により、明暗差や逆光のある環境での映像を補正
- IP66 規格に対応した防塵・防水構造
- モーション検知、妨害検知、プライバシーマスクに対応

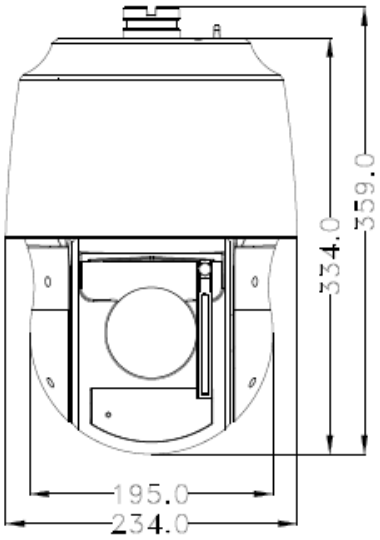
1.3　梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

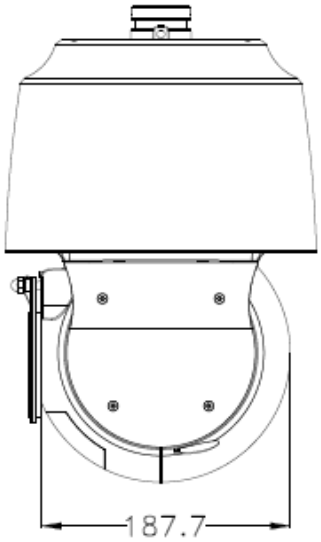
箱	名　称	数 量
本体 ボックス	本体	1 台
	セーフティーワイヤー	1 個
	ブラケットコネクタ	1 個
	六角レンチ(大)	1 個
	六角レンチ(小)	1 個
ウォールマウント 金具ボックス	ウォールマウント金具	1 個
	固定金具用ネジ	4 個
	ワッシャー	4 個
	固定金具保護マット	1 個
ポールブラケット ボックス	ポールブラケット	1 個
	ポール固定用バンド	2 個
	六角ねじ	5 個
	六角レンチ	1 個

1.4 製品外観

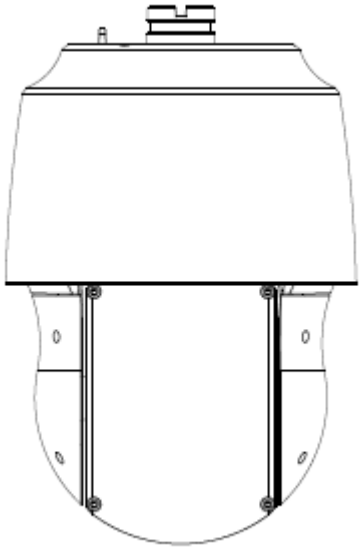
1.4.1 前面



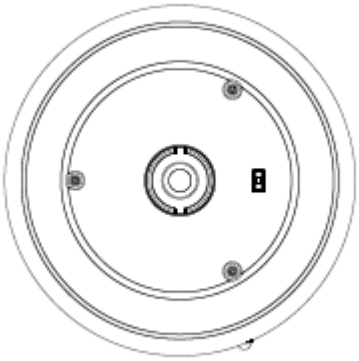
1.4.2 側面



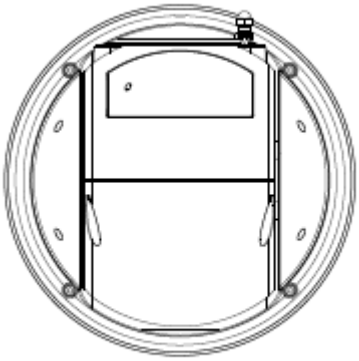
1.4.3 背面



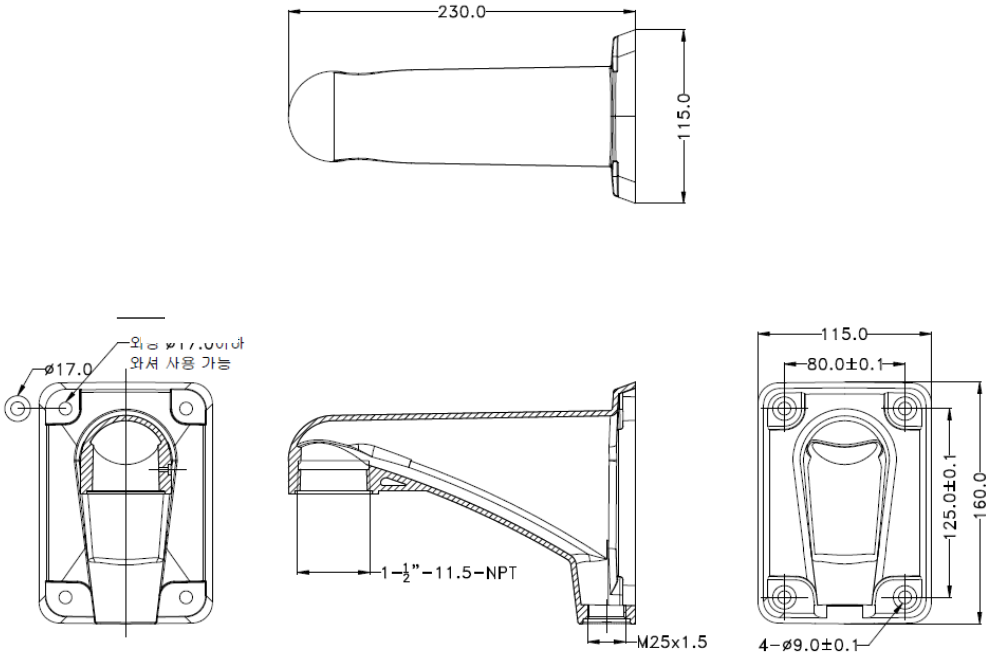
1.4.4 上面



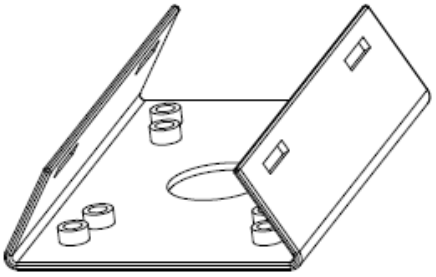
1.4.5 底面

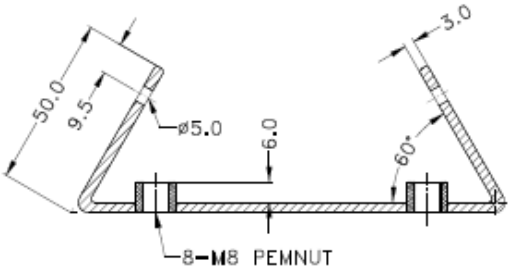


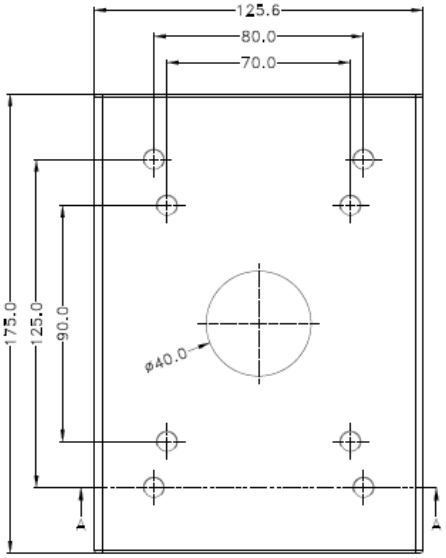
1.4.6 ウォールマウント金具

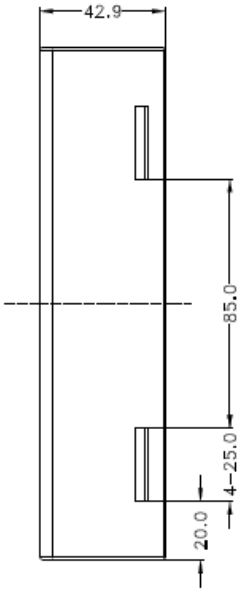


1.4.7 ポールブラケット







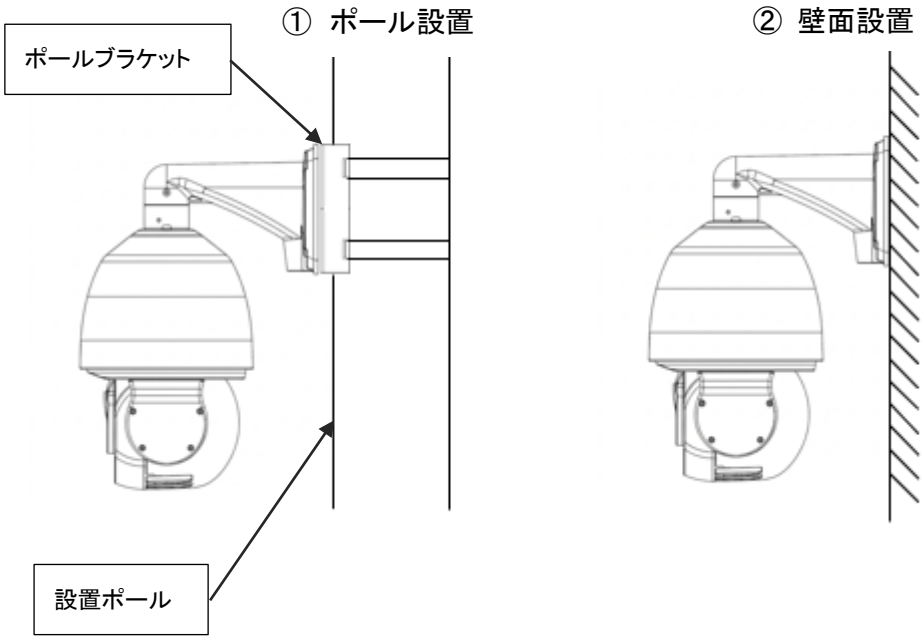


1.5　カメラの設置

本製品の設置方法について説明します。

① 壁面などに設置する場合は、付属の壁面取り付けアームまたはオプション金具を使用します。

② ドリルテンプレートなどを使い、壁面にねじ穴4つと、ケーブル穴1つ(壁面にケーブルを通す場合)を開けます。付属のねじで固定します。



注意：壁または天井が、カメラの3倍の重量に耐えられる強度であることを確認して取り付けてください。

2　WebGUI について

2.1　設定画面へのログイン

Web ブラウザを使用して、HIC-TR200X40PTZ の設定を行います。

機器のセキュリティを保護するため、管理画面へのアクセスには必ずユーザ認証（ユーザ名とパスワードの入力）が必要です。

● ログイン初期設定

IP アドレス　：192.168.10.100/24

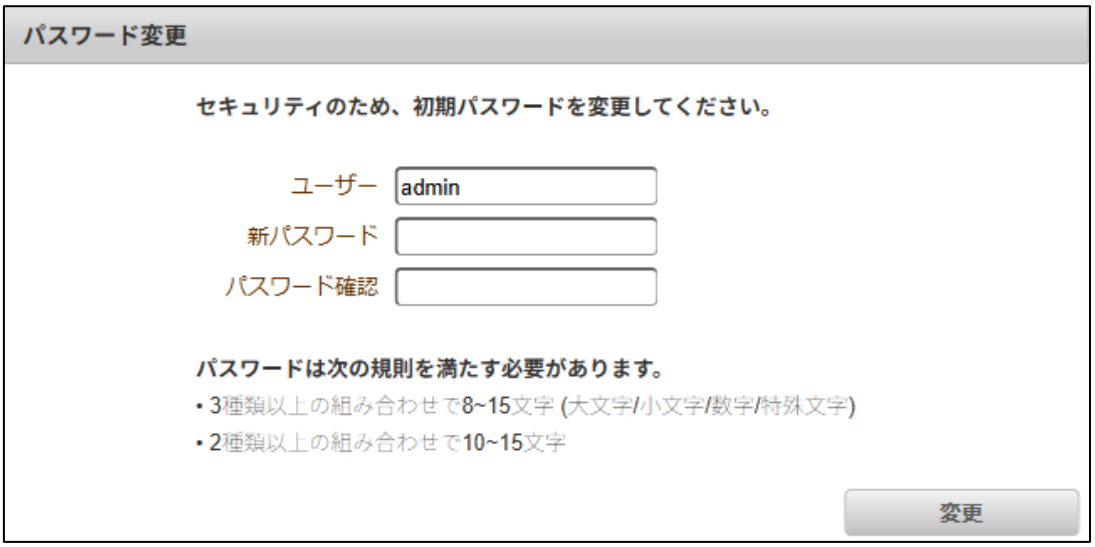
ユーザ名　：admin

パスワード　：なし（初期ログイン時に設定必須）

● ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに”https://192.168.10.100”を入力して接続します。

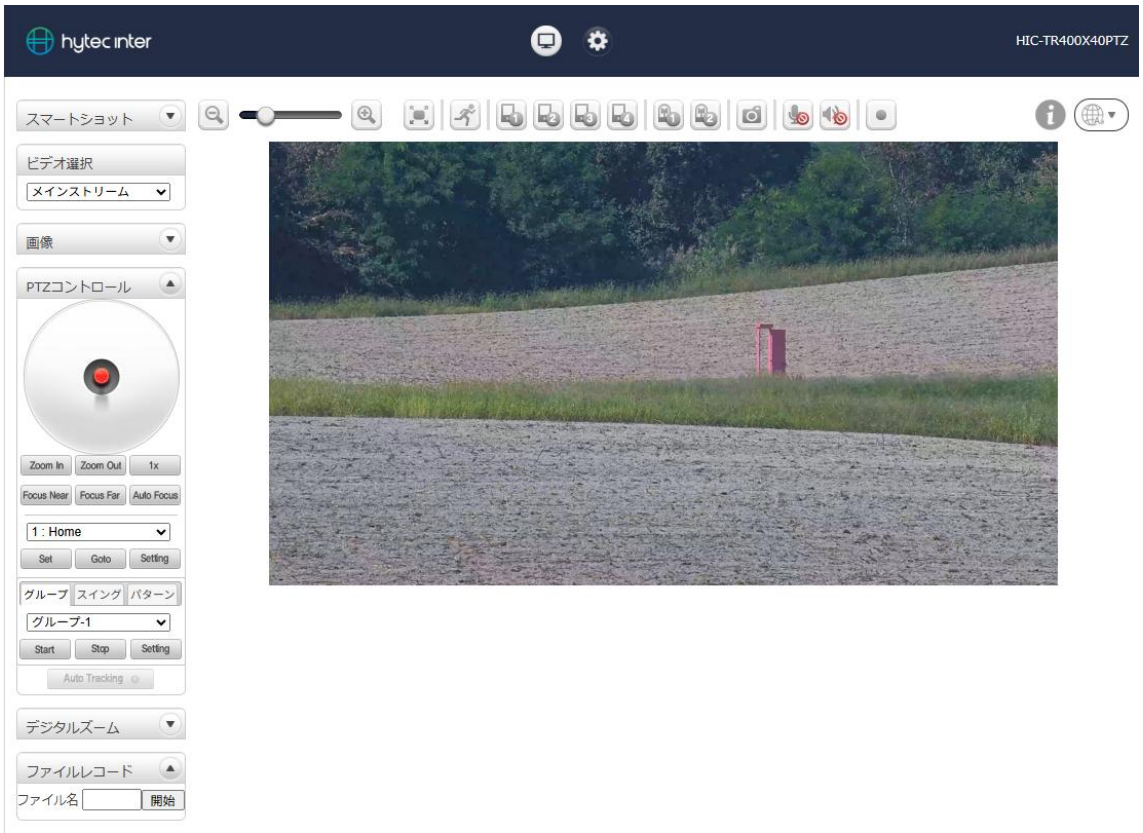
2. 初期パスワードの設定を行います。
   パスワードは大文字、小文字、数字、特殊文字から 2 種類以上の文字の組み合わせで 10～15 文字、または 3 種類以上の組み合わせで 8～15 文字の規則を満たす必要があります。



※ 本製品を安全にご利用いただくため、初めて管理画面にアクセスした際は、必ずお客様ご自身で新しい管理用パスワードを設定していただく必要があります。 パスワードを設定するまで、本製品の機能や設定画面はご利用いただけません。

3.　再度ユーザ名とパスワードが要求されるので、設定したパスワードでログインします。

4.　ログインに成功すると、Live 画面が表示されます。



2.2　本製品のセキュリティ設定について

本製品は、お客様のプライバシーと通信の安全を保護するため、以下のセキュリティ機能を備えています。

・認証情報の暗号化保管：管理画面のログインパスワードや通信用の暗号鍵などの重要情報は、機器の内部ストレージには AES256 の暗号化アルゴリズムにて暗号化して保管されます。

・暗号化通信の採用：本製品と設定端末間の Web ブラウザ通信には、強固な暗号化プロトコル（HTTPS / TLS 1.2 以上）が使用されています。これにより、通信経路上のデータは暗号化され、第三者による情報の盗聴や改ざんを防止します。

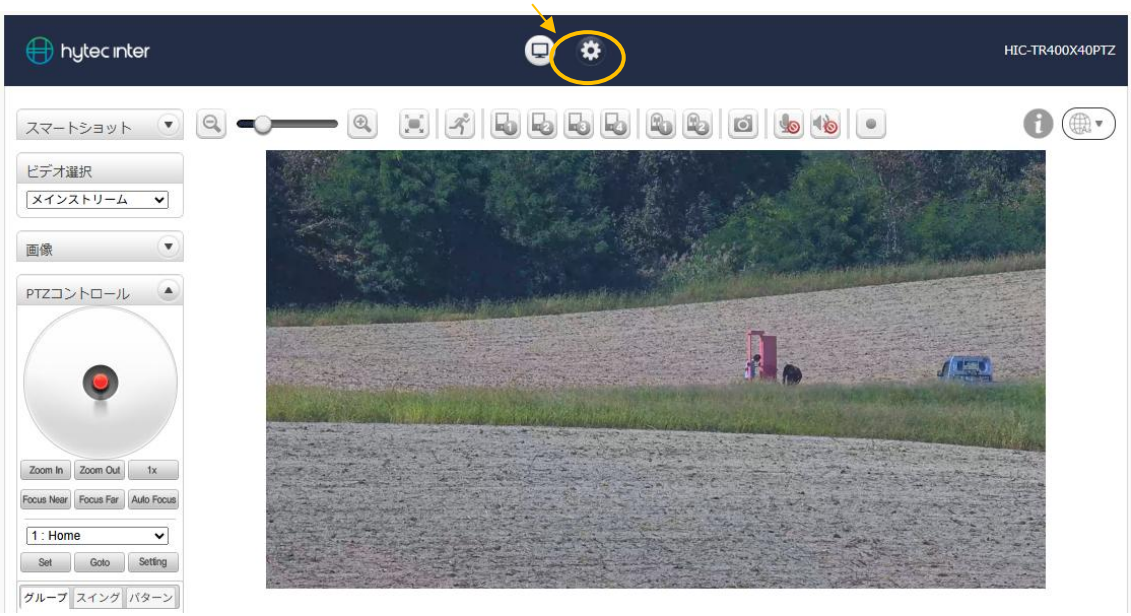
3　メニューの切り替え方法

3.1　SETUP メニューから LIVE　メニューへの切り替え

画面上部の をクリックします。

3.2　LIVE　メニューから SETUP メニューへの切り替え

画面右上の をクリックします。

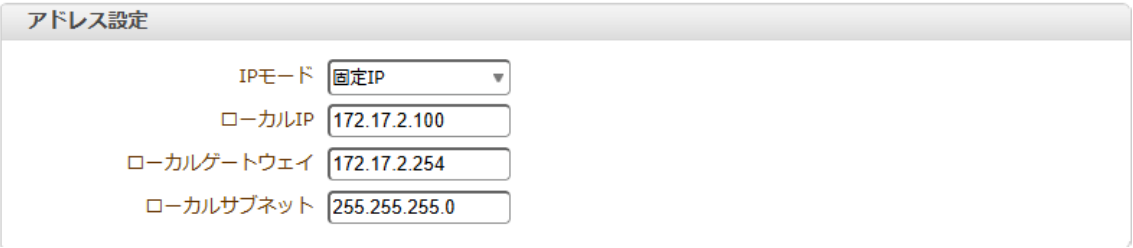


4　基本設定

4.1 IP アドレスの変更

1.　ネットワークの“IP&ポート”をクリックします。

2.　ローカル IP (IP アドレス)、ローカルゲートウェイ (デフォルトゲートウェイ)、ローカルサブネット (サブネットマスク)をそれぞれ入力します。
※IP モードを DHCP にした場合、ローカル設定は入力できません。



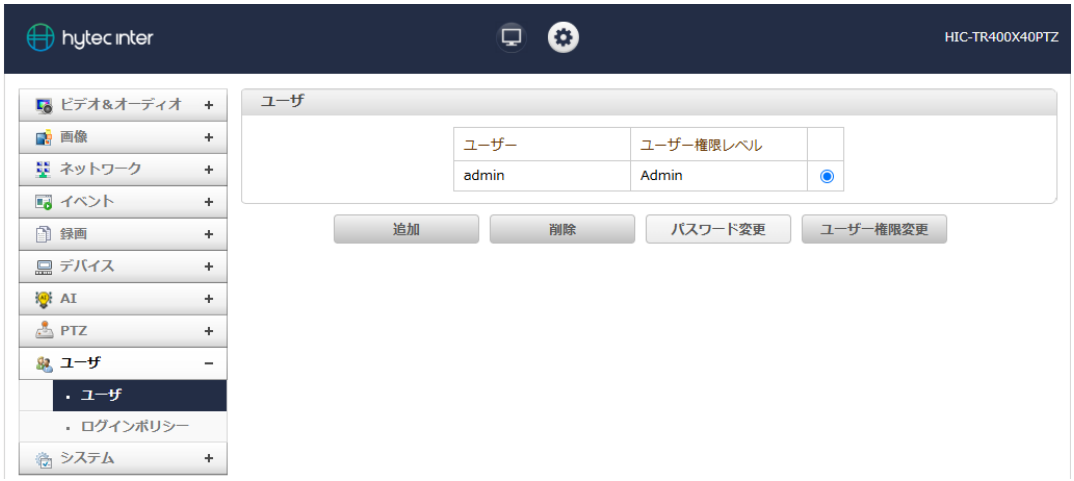
3.　画面右下の”適用”をクリックし、設定を反映させます。
※本機は自動で再起動します。

4.　ブラウザのアドレスバーに新しく設定した IP アドレスを入力しログインします。

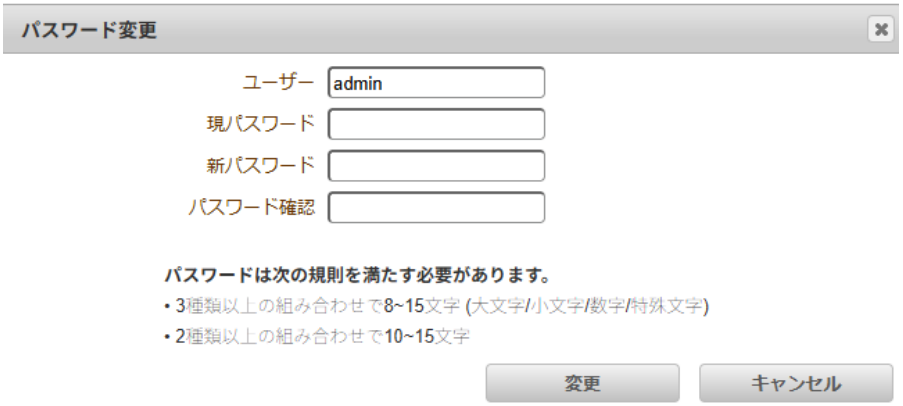
4.2 ログインパスワードの変更

セキュリティを高く保つため、ログインパスワードは定期的に変更することをお勧めします。パスワードは以下の手順でいつでも変更が可能です。

1. ユーザの”ユーザ”をクリックします。
2. パスワード変更を行うユーザを選択し、パスワード変更ボタンをクリックします。



3. 現在のパスワードと、新しく設定したいパスワードを入力します。

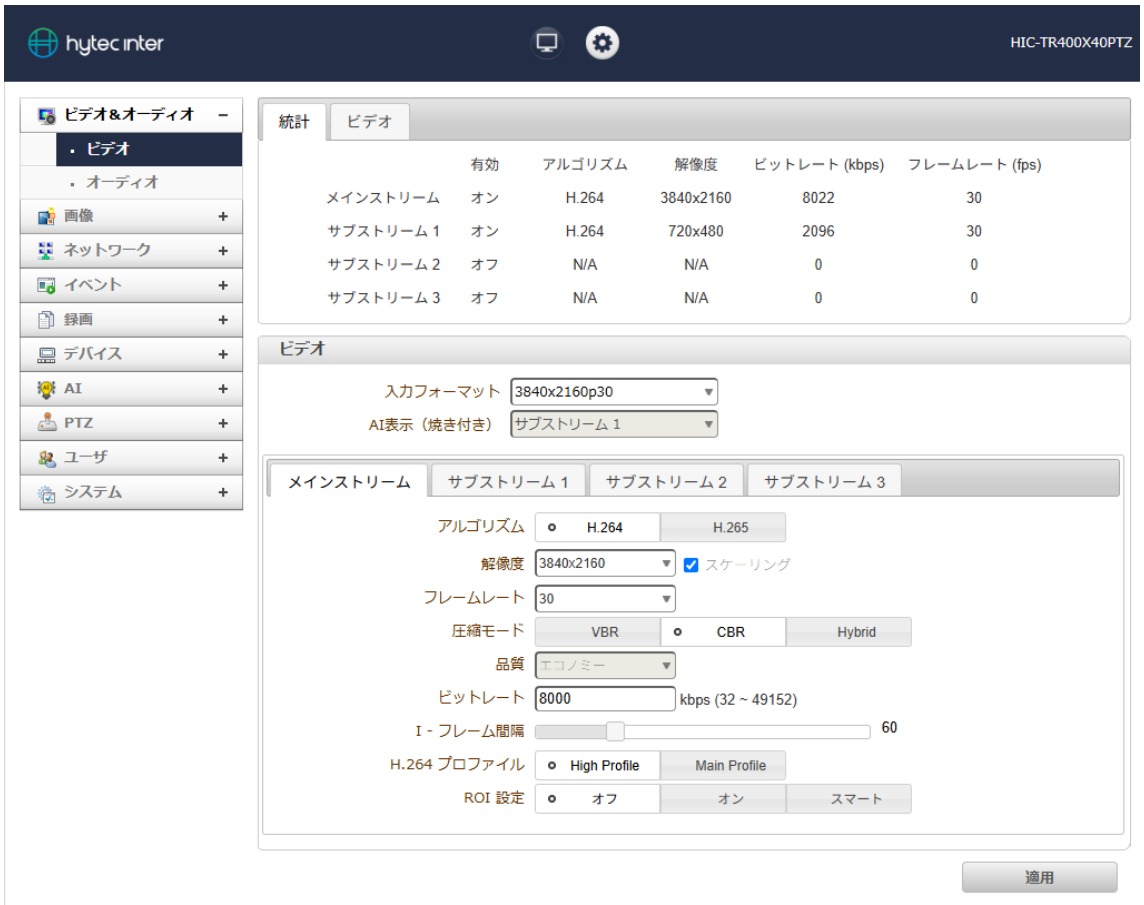


4. 「変更」ボタンを押すと、新しいパスワード（認証値）への変更が完了します。

5　Setup メニュー

5.1　ビデオ&オーディオ

SETUP メニュー画面から”ビデオ&オーディオ”タブをクリックします。



➢ Video&Audio メニュー

表示	説明
ビデオ	ビデオ入力形式の選択、解像度やビットレートなどの設定を行います。
オーディオ	オーディオ入力の設定を行います。

5.1.1　統計

ビデオ（メイン/サブストリーム 1-3）のエンコーディング情報を表示します。

統計　ビデオ

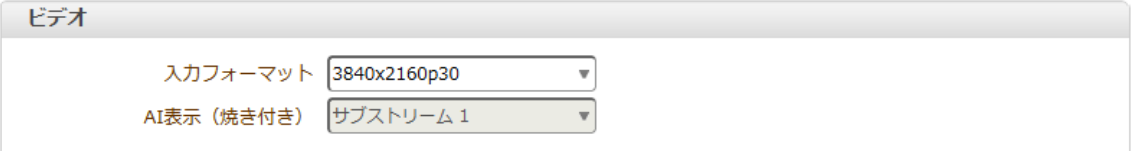
	有効	アルゴリズム	解像度	ビットレート (kbps)	フレームレート (fps)
メインストリーム	オン	H.264	3840x2160	8314	30
サブストリーム 1	オン	H.264	720x480	1958	30
サブストリーム 2	オフ	N/A	N/A	0	0
サブストリーム 3	オフ	N/A	N/A	0	0

5.1.2　ビデオ

ビデオのプレビュー画面を表示します。

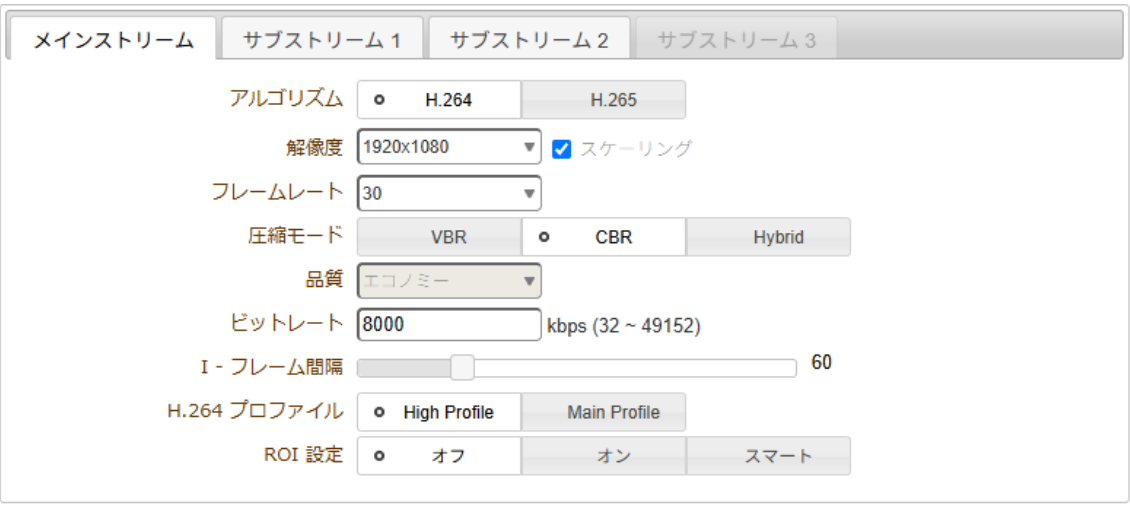
統計　ビデオ

- ビデオ



表示	説明
入力フォーマット	入力形式の選択をします。 ・3840 x 2160p30 ・3840 x 2160p25
AI 表示	AI 機能で検知に使用するストリームを選択します。 プライマリとセカンダリ#1 のみ選択可能です。 ※ AI 機能を有効にすると選択できるようになります。

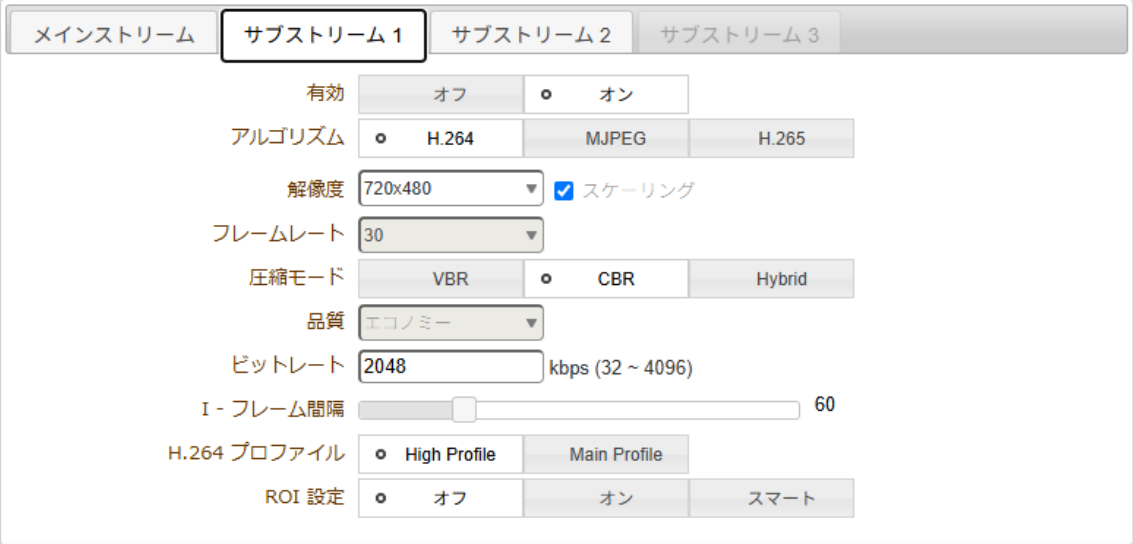
<u>プライマリ</u>



表示	説明
アルゴリズム	H.264 または H.265 から圧縮方式を選択します。 ※H.265 に対応していない PC を使用した場合、Live 画面の 映像が細切れ状に映ることがあります。
解像度	ビデオのエンコード解像度を選択します。[Max：3840 x 2160]
フレームレート	1 秒あたりの最大フレーム数を設定します。[Max：30] ネットワーク帯域の制限により、実際の映像のフレームレートは設定した最大フレームレートを下回る場合があります。
圧縮モード	エンコーディングモードを選択します。 ビデオ品質（VBR）またはビットレート（CBR, Hybrid）を制御します。
品質	ビデオ品質を設定します。[8 段階]

	設定で“VBR”を選択した場合、すべてのフレームを一定の品質でエンコードしようとします。 ※入力映像によってはビットレートが大きく変動することがあります。十分なネットワーク帯域幅を確保できる環境でご使用ください。
ビットレート	ビットレート値を設定します。[32-49152kbps] 設定で“CBR”を選択した場合、固定目標ビットレートを設定できます。 設定で”Hybrid”を選択した場合、最大ビットレートを設定できます。 ※再生モード(RTSP/MPEG-TS)によっては映像が乱れることがあります。ビットレートを調整することで、映像の乱れを改善できる場合があります。
I-フレーム間隔	I-フレームを送信する間隔を設定します。[1-255]
H.264 プロファイル	アルゴリズムで H.264 を選択した場合、プロファイルを High Profile/Main Profile から選択します。
ROI 設定	ROI 機能の有効/無効の設定を行います。 Off：ROI 機能は無効になります。 ON：手動で ROI 機能の設定をします。 スマート：自動で ROI 機能の設定をします。

サブストリーム 1～3



表示	説明
有効	サブストリーム 1-3 を使用する場合は ON にします。 ※AI 使用時は、サブストリーム 3 は使用できません。
アルゴリズム	H.264 または H.265、MJPEG から圧縮方式を選択します。※1
解像度	ビデオのエンコード解像度を選択します。 サブストリーム 1：Max 1920 x 1080 サブストリーム 2：Max 1280 x 720 サブストリーム 3：Max 720 x 576
フレームレート	ビデオストリームの 1 秒あたりの最大フレーム数を設定します。[Max：30] ネットワーク帯域の制限により、実際の映像のフレームレートは設定した最大フレームレートを下回る場合があります。
圧縮モード	エンコードモードを選択します。 ビデオ品質（VBR）またはビットレート（CBR, Hybrid）を制御します。
品質	ビデオ品質を設定します。[8 段階] 設定で“VBR”を選択した場合、すべてのフレームを一定の品質でエンコードします。 ※入力映像によってはビットレートが大きく変動することがあります。十分なネットワーク帯域幅を確保できる環境でご使用ください。
ビットレート	ビットレート値を設定します。[32-4096kbps] 設定で“CBR”を選択した場合、固定目標ビットレートを設定できます。 設定で“Hybrid”を選択した場合、最大ビットレートを設定できます。

	※再生モード（RTSP/MPEG-TS）によっては映像が乱れることがあります。ビットレートを調整することで、映像の乱れを改善できる場合があります。
I-フレーム間隔	I-フレームを送信する間隔を設定します。[1-255]
H.264 プロファイル	アルゴリズムで H.264 を選択した場合、プロファイルを選択します。
ROI 設定	ROI 機能の有効/無効の設定を行います。 Off：ROI 機能は無効になります。 ON：手動で ROI 機能の設定をします。 ON(Smart)：自動で ROI 機能の設定をします。

※1　MJPEG の注意事項

①RTSP/ONVIF での映像伝送をサポートします。

MPEG-TS/SRT/RTMP での映像伝送は未サポートのため、ご使用になれません。

②MJPEG 選択時の設定は VBR のみサポートとなるため、ビットレートは設定できません。

5.1.3　オーディオ

- オーディオ

表示	説明
アルゴリズム	G.711 を選択します。※モノラル音声のみの対応になります。
ビットレート	サンプリングレートは、G.711 の場合 8KHz に固定されます。 カメラがデコーダに接続されている場合、カメラとデコーダのオーディオアルゴリズムを同じ設定にします。
モード	オーディオ動作モードを Off（送受信なし）、送信のみ、受信のみ、送受信から選択します。

● 入力ゲイン

AUDIO IN から入力した音声に対して、音量調節を行います。[0－31]

● 出力音量

AUDIO OUT からの出力音声に対して、音量調節を行います。[0－31]

● 出力

表示	説明
Audio Output	オーディオの出力方式を選択します。 デコード：デコード側から入力した音声を出力します。 ループ：カメラでのオーディオ入力端子に入力した音声をそのまま出力します。

● 統計

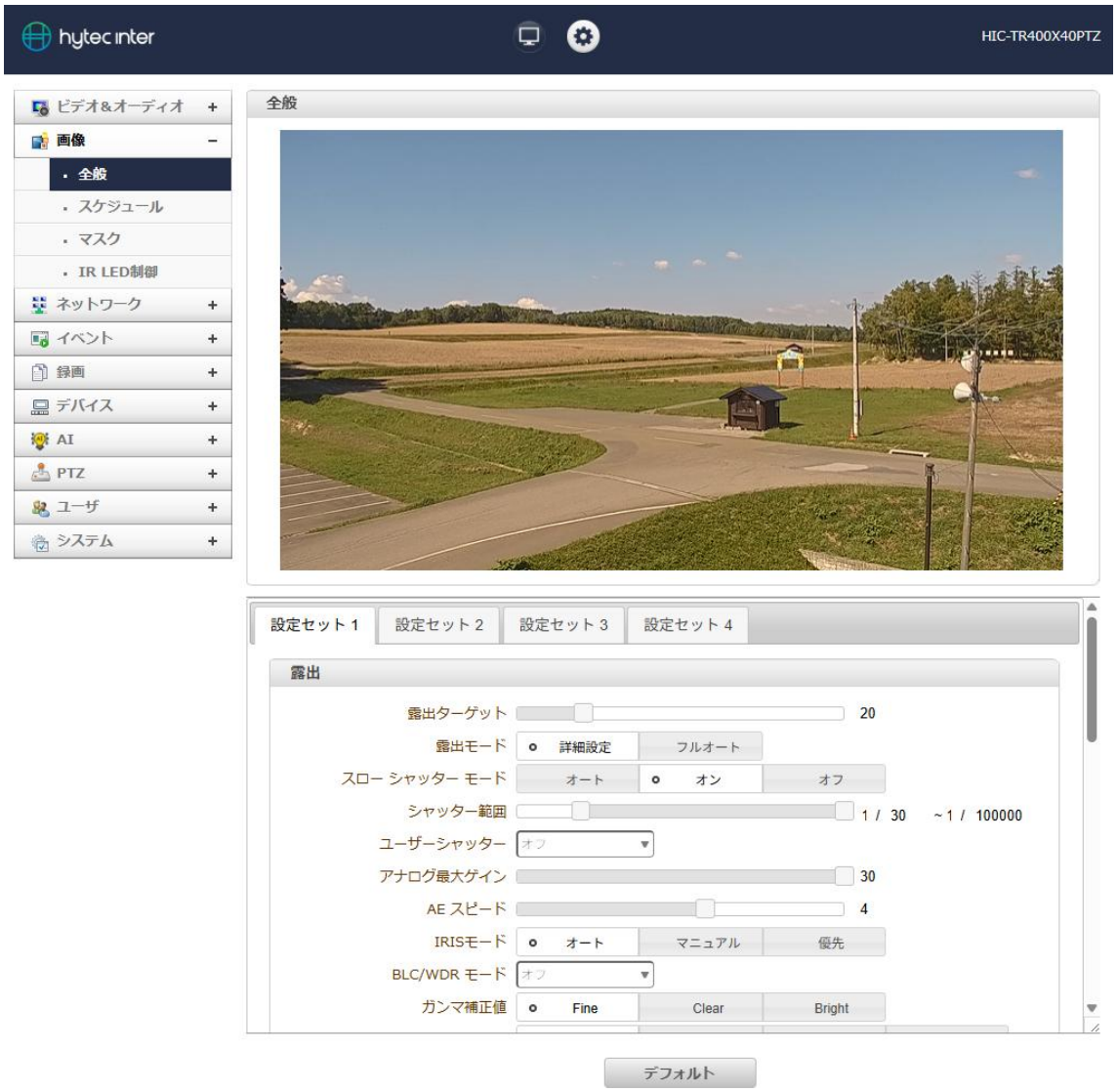
オーディオ関連の統計情報を表示します。

統計

	有効	アルゴリズム	サンプリングレート	ビットレート (kbps)
オーディオエンコード	オン	G.711	8 KHz	49
オーディオデコード	オン	-	-	0

5.2 画像

SETUP メニュー画面から”画像”タブをクリックします。



➢ **Image メニュー**

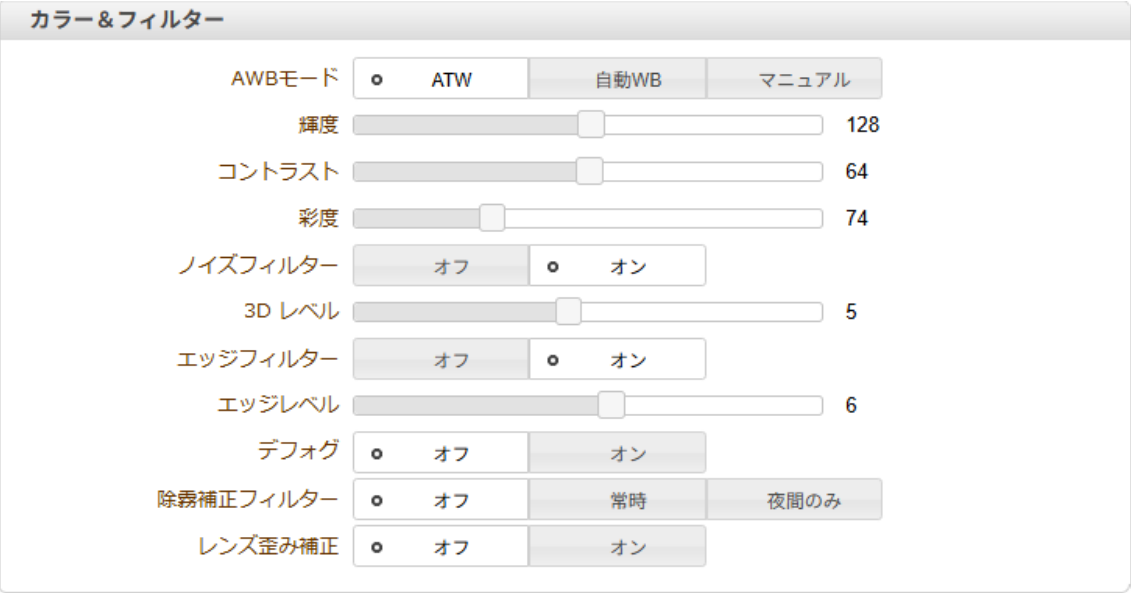
表示	説明
全般	カメラの基本的な画像の調整と設定を行います。
スケジュール	カメラの画像設定を特定の時間帯に、自動的に変更できる設定を行います。
マスク	カメラの映像内で、特定のエリアを隠すための設定を行います。
IR LED 制御	カメラの赤外線機能の設定を行います。

5.2.1 全般

- 露出

表示	説明
露出ターゲット	カメラの撮影する映像の明るさの設定を行います。 設定値が高いほど、カメラの映像が明るくなります。
露出モード	カメラの露出モードの設定を行います。 Advanced：本機能は未サポートのため、ご使用になれません。 Full Auto：自動で設定を行います。
スローシャッターモード	スローシャッターを有効にし、イメージセンサーがより多くの光を取り込めるようにします。 低照度環境下での画像の明るさは向上しますが、動く被写体のブレが増加したり、出力フレームレートが低下したりする可能性があります。
アナログ最大ゲイン	低照度環境下で許容される最大信号増幅（ゲイン）値を設定します。
AE スピード	明るさの変化に対する自動露出（AE）の応答速度を設定します。
IRIS モード	カメラのレンズの絞りを制御する設定を行います。 Auto：自動的にレンズの絞りを調整します。 Manual：手動でレンズの絞りを調整します。 Open Priority：本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
BLC/WDR モード	異なる照明条件下で最適な画像を撮影するための設定を行います。 BLC：背景が明るすぎる場合、被写体が暗くならないように補正します。窓際や強い光源の前での撮影に有効です。 WDR：明るい部分と暗い部分が混在する場合、両方の領域をバランスよく表示します。明るすぎる部分が白飛びせず暗すぎる部分がつぶれないようにします。

	HLC：強い光源(車のヘッドライト、街灯など)による映像の白飛びを防ぎます。 Off：補正機能は無効の状態です。
ガンマ補正値	カメラのガンマ補正機能の設定を行います。 Auto(Fine)：カメラが自動的にガンマ補正を微調整します。映像の明るさやコントラストが最適化され、より自然で見やすい映像になります。 Auto(Clear)：カメラが自動的にガンマ補正をクリアします。特定の条件下でガンマ補正がリセットされ、映像の明るさやコントラストが再調整されます。 Auto(Bright)：カメラが自動的に映像の明るさを調整します。照明条件が変化しても、常に最適な明るさを維持することができます。
AE ウェイトモード	カメラの自動露出機能で、どの部分の明るさを優先して露出の調整を行うかの設定をします。 Auto：カメラが自動で最適な測光方式を選択し、露出を調整する機能です。 Flat：本機能は未サポートのため、ご使用になれません。 Spot：本機能は未サポートのため、ご使用になれません。 Center：本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



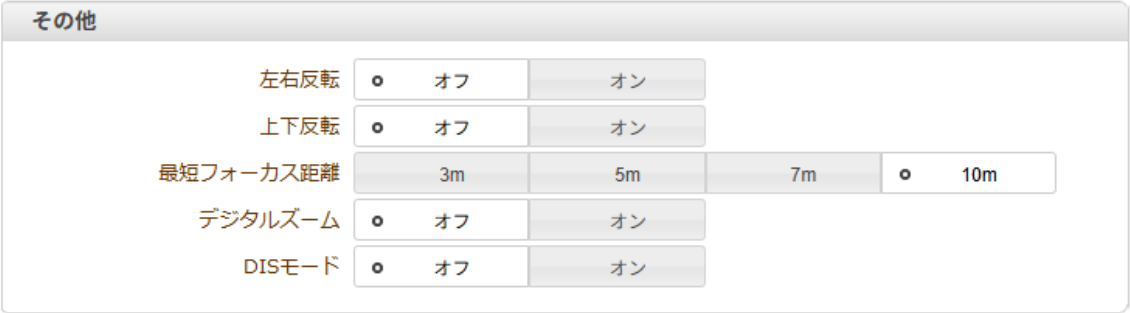
- カラー&フィルター

表示	説明
AWB モード	カメラのホワイトバランスの調整の設定を行います。 Auto Tracing White：カメラがリアルタイムで光源の色温度を検出し動的にホワイトバランスを調整します。 Auto White：カメラが自動的にシーンのホワイトバランスを調整します。 Manual：本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
輝度	ディスプレイやカメラの画面の明るさの設定を行います。 設定値が高いほど、カメラの映像が明るくなります。
コントラスト	画面の明暗の差を調整する設定を行います。 設定値が高いほど、コントラストが強くなります。
彩度	画像の色の鮮やかさや強さの調整をする設定を行います。 設定値が高いほど、映像の色の鮮やかさが増します。
ノイズフィルター	画像や映像のノイズを低減するための設定を行います。 機能を有効にする場合は、On にしてください。
3D レベル	3D ノイズリダクション技術を使用して、映像のノイズを低減する設定を行います。クリアで鮮明な映像を提供するための機能です。 設定値が高いほど、3DNR の効果が強くなります。
エッジフィルター	画像の輪郭を強調するための設定を行います。 機能を有効にする場合は、On にしてください。
エッジレベル	画像の輪郭の強調度の設定を行います。 設定値が高いほど、映像のエッジ(輪郭)が、強調されます。
デフォグ	霧や雨などの影響でコントラストが低くなった映像をソフトウェア処理により、画像の鮮明度を向上させる設定を行います。

	この機能を使用することで、自然な色彩を良好に保持することができます。Foggy Filter 機能と併用する事が可能です。 機能を有効にする場合、On にしてください。
除霧補正フィルター	霧や霞によって低下したコントラストを補正し、映像をハードウェア処理により、画像の鮮明度を向上させる設定を行います。 この機能を使用すると、画像が鮮明になり視認性が向上します。 (色情報が変更され、画像がグレーベースになることがあります。) Defog 機能と併用する事が可能です。 Off:機能が無効の状態です。 Always:常に霧や霞を低減する処理が行われます。 Night Only:夜間のみ、霧や霞を低減する処理が行われます。
レンズ歪み補正	広角レンズなどによって生じる画像の歪みを補正する設定を行います。 機能を有効にする場合は、On にしてください。

- Day & Night

表示	説明
デイ&ナイトモード	昼間モード(Day)と夜間モード(Night)を切り替える設定を行います。 ※モードを切り替える際、映像の切り替わりに時間がかかる場合があるので、設定を変更後に 5 秒ほどお待ちください。 オート:カメラが自動で周囲の照明条件に応じて、Day と Night の切り替えを行います。 昼:カメラは常時 Day モード(カラー)で撮影を行います。 夜:カメラは常時 Night モード(白黒)で撮影を行います。 外部センサー:本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
IR カットフィルター	昼夜の撮影条件に応じて、赤外線をカットします。 オート:周囲の明るさに応じて自動的にフィルターの切り替えを行います。 IR オン:赤外線をカットする機能が常に有効になります。 IR オフ f:赤外線カットフィルターが無効になります。
現在の CDS 値	カメラが現在検出している周囲の明るさレベルを示す値を表示します。 値は 0 に近いほど明るく、255 に近いほど暗い状態を表します。



- その他

表示	説明
左右反転	カメラが撮影した映像が、左右反転して表示されます。 機能を有効にする場合は、On にしてください。
上下反転	カメラが撮影した映像が、上下反転して表示されます。 機能を有効にする場合は、On にしてください。
最短フォーカス距離	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
デジタルズーム	デジタルズームを使用して、必要な部分を拡大して確認することができます。 機能を有効にする場合は、On にしてください。
DIS モード	カメラが揺れたり振動したりする場合に、映像のブレを補正することができます。 機能を有効にする場合は、On にしてください。

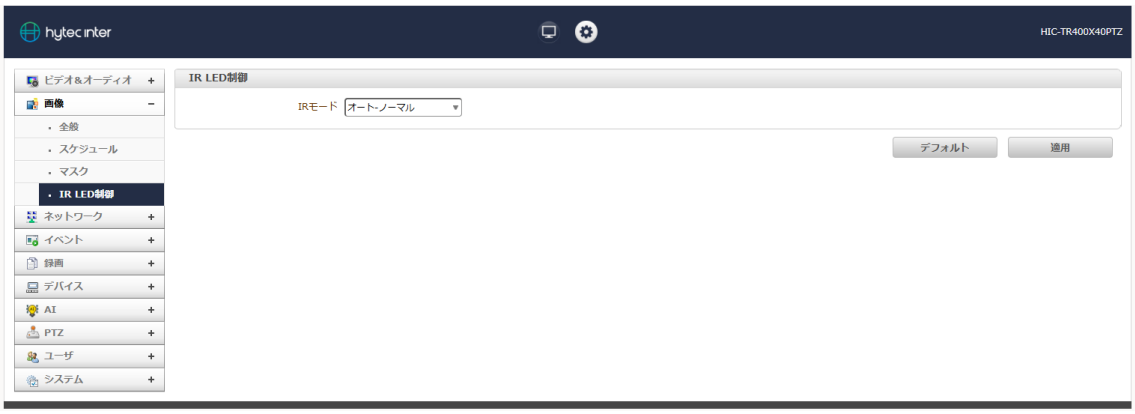
5.2.2　スケジュール

表示	説明
スケジュール表	カメラの画像設定のスケジュール設定を行います。

5.2.3 マスク

表示	説明
マスク番号選択	複数のプライバシーマスクの設定を行います。
追加	カメラの映像に、新しいマスクエリアを追加する設定を行います。
適用	設定を適用します。
検索	既に設定されているマスクエリアの検索を行います。 この機能は、複数のマスクエリアが設定されている場合でも、 特定のマスクエリアを簡単に見つけて、編集することができます。
表示/非表示	設定したマスクエリアの表示をオンまたはオフに切り替える設定を行います。
すべて非表示	設定されているすべてのマスクエリアの表示を一括でオフ(非表示)にすることができます。

5.2.4　IR LED 制御



- IR LED 制御

表示	説明
IR モード	赤外線 LED の動作を制御する設定を行います。 基本的にオートノーマルでご使用ください。

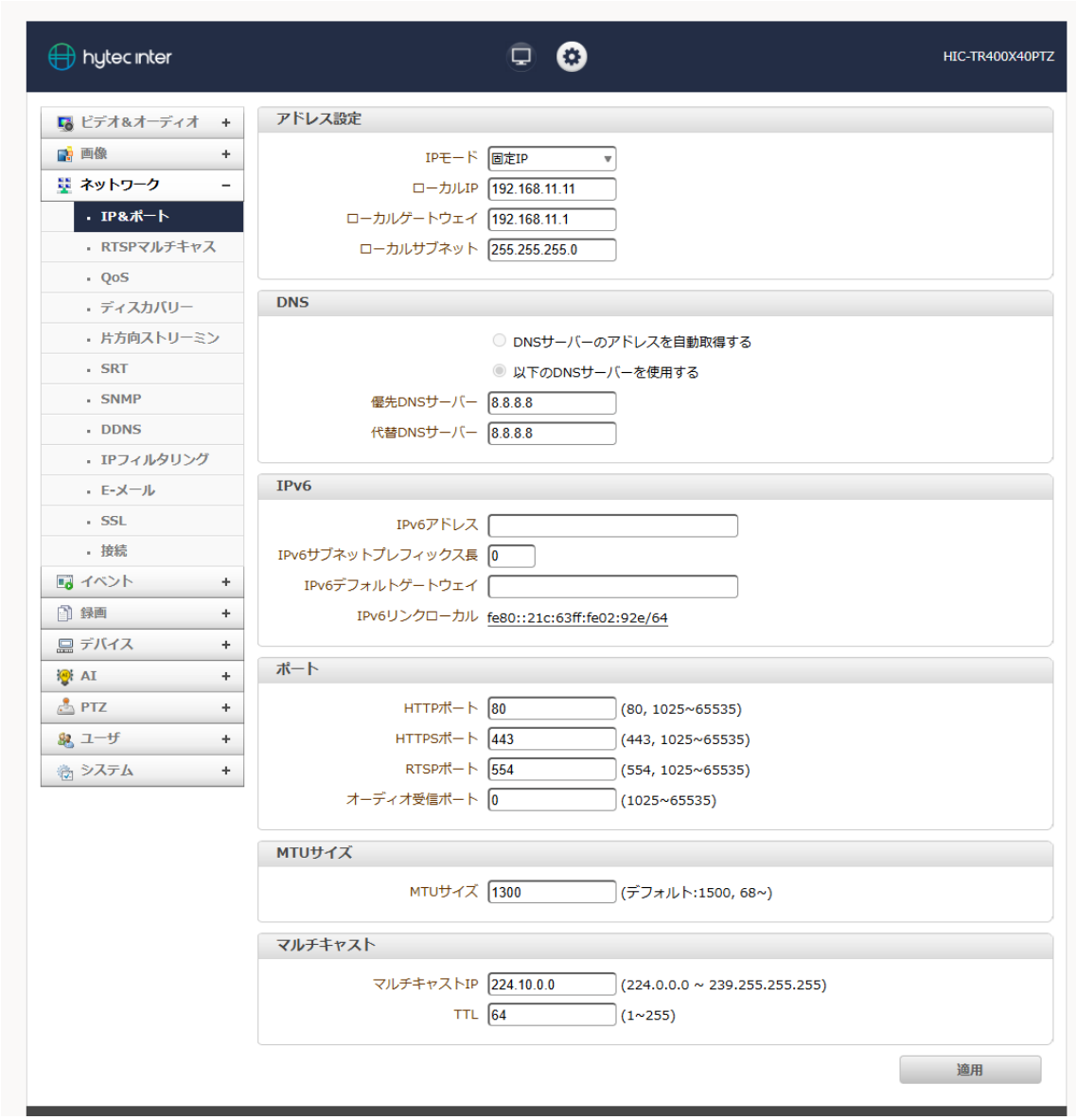
5.3　ネットワーク

SETUP メニュー画面から”ネットワーク”タブをクリックします。

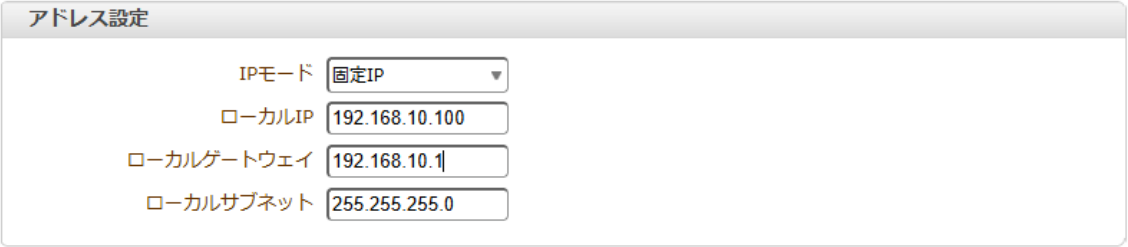
➢ **ネットワークメニュー**

表示	説明
IP&ポート	IP アドレスやポート番号、MTU サイズなどの設定を行います。
RTSP マルチキャスト	RTSP マルチキャストの設定を行います。
QoS	QoS を使用し、優先度の設定を行います。
ディスカバリー	UPnP などの設定を行います。
片方向ストリーミング	片方向ストリーミング(MPEG-TS、RTMP)の設定を行います。
SRT	SRT の設定を行います。
SNMP	SNMP の設定を行います。
DDNS	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
IP フィルタリング	データのやり取りを行う相手の制限を行います。
E-メール	Event が起きた際の通知 E-mail の送信設定を行います。
SSL	FTP アップロードの設定を行います。
接続	現在システムに接続しているクライアントを表示します。

5.3.1 IP & ポート

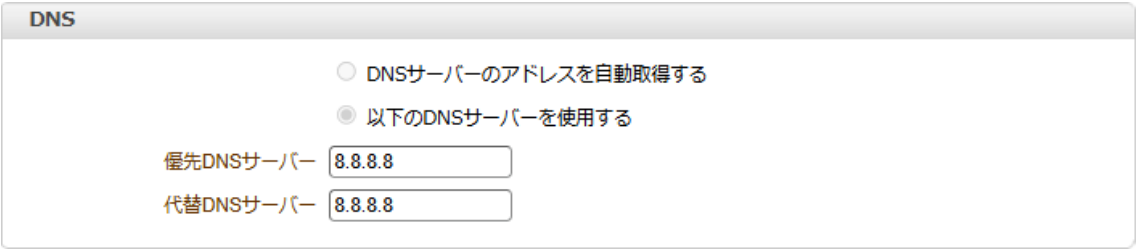

hytec inter
HIC-TR400X40PTZ
ビデオ&オーディオ
画像
ネットワーク
IP&ポート
RTSPマルチキャス
QoS
ディスカバリー
片方向ストリーミン
SRT
SNMP
DDNS
IPフィルタリング
E-メール
SSL
接続
イベント
録画
デバイス
AI
PTZ
ユーザ
システム
アドレス設定
IPモード 固定IP
ローカルIP 192.168.11.11
ローカルゲートウェイ 192.168.11.1
ローカルサブネット 255.255.255.0
DNS
DNSサーバーのアドレスを自動取得する
以下のDNSサーバーを使用する
優先DNSサーバー 8.8.8.8
代替DNSサーバー 8.8.8.8
IPv6
IPv6アドレス
IPv6サブネットプレフィックス長 0
IPv6デフォルトゲートウェイ
IPv6リンクローカル fe80::21c:63ff:fe02:92e/64
ポート
HTTPポート 80 (80, 1025~65535)
HTTPSポート 443 (443, 1025~65535)
RTSPポート 554 (554, 1025~65535)
オーディオ受信ポート 0 (1025~65535)
MTUサイズ
MTUサイズ 1300 (デフォルト:1500, 68~)
マルチキャスト
マルチキャストIP 224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
TTL 64 (1~255)
適用

- アドレス設定



表示	説明
IP モード	固定 IP(手動設定)または DHCP(自動設定)を選択します。
ローカル IP	IP アドレスを設定します。 初期値:192.168.10.100
ローカルゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。 初期値:192.168.10.1
ローカルサブネット	サブネットマスクを設定します。 初期値:255.255.255.0

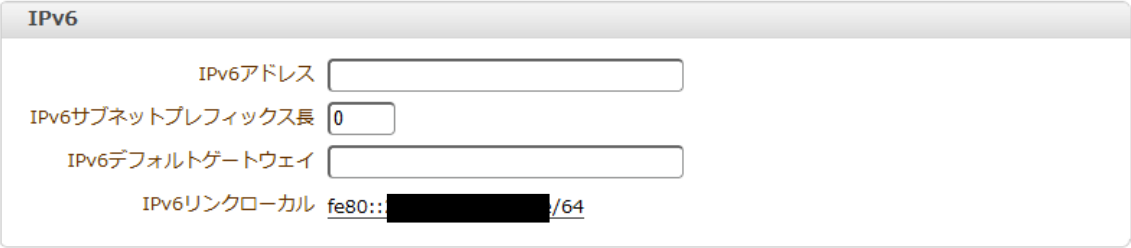
- DNS



表示	説明
DNS 取得	自動取得：DNS サーバのアドレスを自動取得するにチェックを入れてください。 手動設定：以下の DNS サーバを使用するにチェックを入れてください。
優先 DNS サーバ	手動取得を選択している場合、Primary の DNS サーバのアドレスを入力します。
代替 DNS サーバ	手動取得を選択している場合、Secondary の DNS サーバのアドレスを入力します。

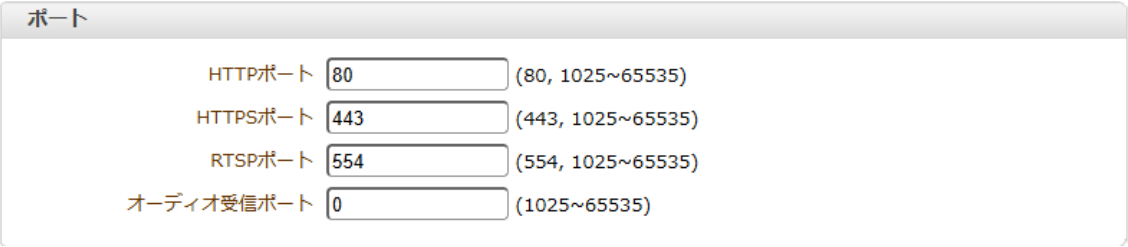
※DNS 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- IPv6



表示	説明
IPv6 アドレス	指定の IPv6 アドレスを入力します。
IPv6 サブネットプレフィックス長	IPv6 サブネットのビット数を入力します。
IPv6 デフォルトゲートウェイ	指定の IPv6 ゲートウェイを入力します。
IPv6 リンクローカル	IPv6 Link Local アドレスを表示します。

- ポート



本製品の利用において開放されている通信インタフェース(ポート)およびその利用目的は以下の通りです。記載のない不要なインタフェースや、攻撃に悪用されるリスクの高い通信ポートは、工場出荷時にすべて無効化(閉鎖)されています。

表示	説明
HTTP ポート	HTTP ポート番号を入力します。 HTTP ポートは、HTTPS へのリダイレクト応答のみで開放しており、その他の HTTP サービスは提供しません。 初期値:80 [1025-65535]
HTTPS ポート	HTTPS ポート番号を入力します。 初期値:443 [1025-65535]
RTSP ポート	RTSP ベースの接続※1 に使用する RTSP ポート番号を入力します。 初期値:554 [1025-65535]
オーディオ受信ポート	音声を受信するためのポート番号を入力します。 初期値:0(無効) [1025～65535]

※1 RTSP 接続の場合のストリーム URL の一覧は以下の通りです。

メインストリーム　rtsp://<Camera ID>:<Camera PW>@<Camera IP>/video1
サブストリーム 1　rtsp://<Camera ID>:<Camera PW>@<Camera IP>/video1s1
サブストリーム 2　rtsp://<Camera ID>:<Camera PW>@<Camera IP>/video1s2
サブストリーム 3　rtsp://<Camera ID>:<Camera PW>@<Camera IP>/video1s3

- MTU Size

MTU Size

MTU Size 1500 (default:1500, 68~)

表示	説明
MTU Size	一度に送信できる最大データ量を設定します。 初期値：1500

※MTU Size 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

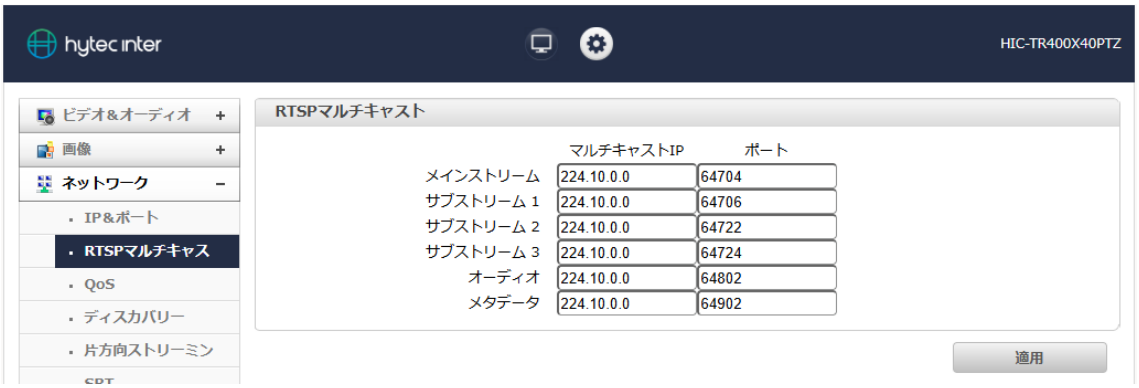
- マルチキャスト　本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

マルチキャスト

マルチキャストIP 224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)

TTL 64 (1~255)

5.3.2　RTSP マルチキャスト



表示	説明
メインストリーム	RTSP マルチキャストで配信する場合の配信先のマルチキャストアドレスおよび UDP ポート番号を設定します。
サブストリーム 1~3	
オーディオ	
メタデータ	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

5.3.3　QoS

表示	説明
QoS 有効	QoS を有効にする場合、On にします。
DSCP	IP ヘッダに挿入する DSCP 値を指定します。

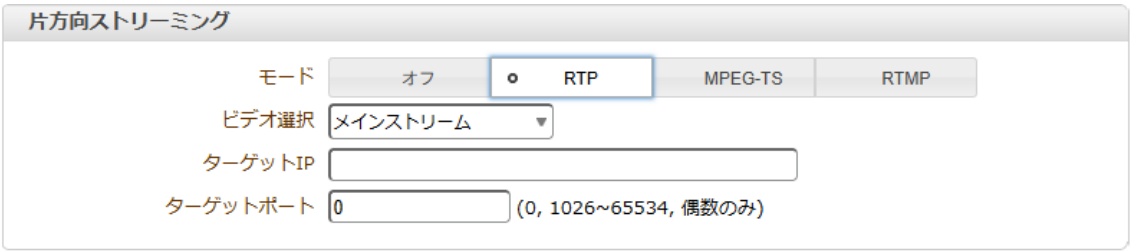
5.3.4 ディスカバリー

表示	説明
UPnP	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 ネットワーク探索機能によって本機を発見できるようになります。 初期値:オフ
Zeroconf	Zeroconf 機能の有効/無効の選択をします。 ホスト名(HICTR200X40PTZ.local)が割り当てられ、ホスト名を 使用して本機にアクセスできるようになります。 初期値:オフ
WS Discovery	WS Discovery 機能の有効/無効を選択します。 Onvif をサポートしているクライアントからの検出ができるようになります。 初期値:オフ

5.3.5 片方向ストリーミング

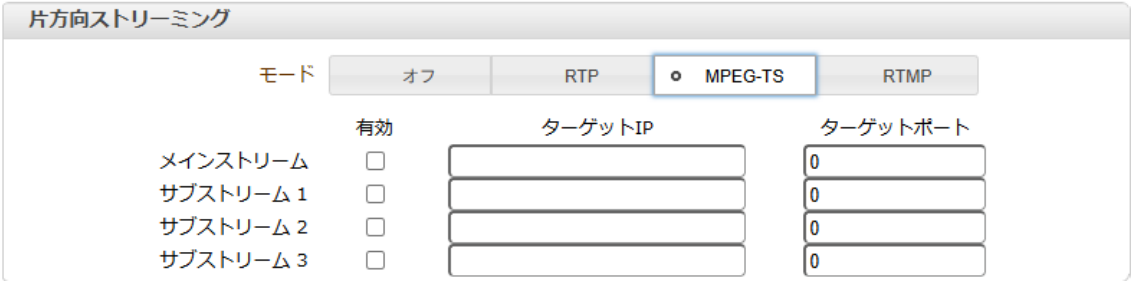
- One-way Streaming

RTP



表示	説明
モード	RTP を選択します。
ビデオ選択	送信するストリームを選択します。
ターゲット IP	RTP ストリームを配信する宛先システムの IP アドレスを設定します。
ターゲットポート	RTP ストリームを配信する宛先システムのポート番号を設定します。

MPEG-TS

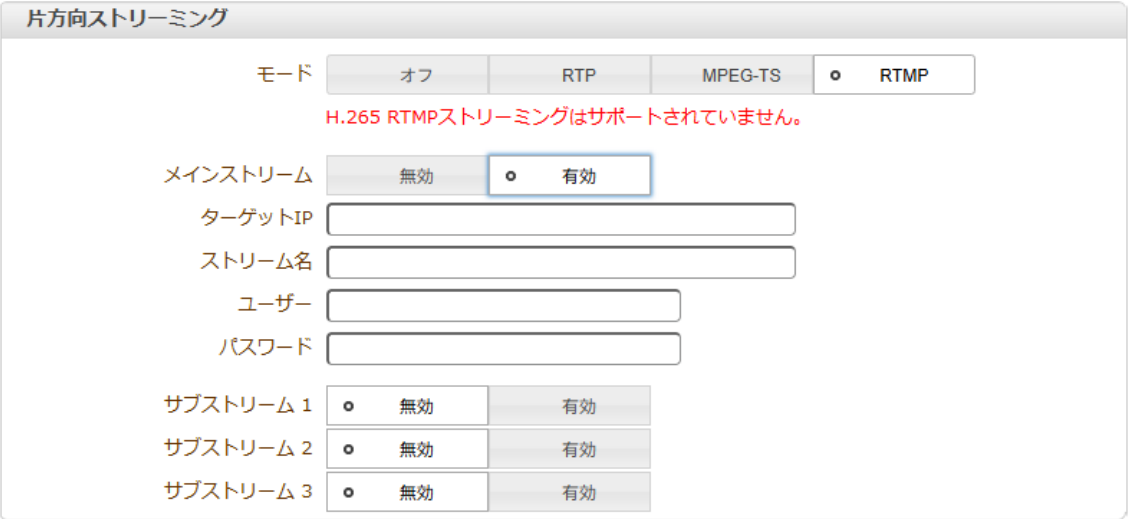


表示	説明
モード	MPGE-TS を選択します。
有効	MPEG－TS ストリームを有効にする場合、チェックを入れます。
ターゲット IP	MPEG－TS ストリーム配信の宛先システムの IP アドレスを設定します。 ユニキャスト：宛先 IP アドレスを入力 マルチキャスト：マルチキャストアドレスを入力
ターゲットポート	MPEG－TS ストリームを配信する宛先システムのポート番号を設定します。

※MPEG-TS は、音声非対応となります。

RTMP

RTMP は H.264 のみサポートしています。



表示	説明
Mode	RTMP を選択します。
メインストリーム **サブストリーム 1~3**	RTMP 配信を有効にするストリームにて、 有効を選択し、以下の項目を設定します。
ターゲット IP	ストリーム URL を設定します。
ストリーム名	ストリームの名前を設定します。
ユーザ	ユーザ名を設定します。
パスワード	パスワードを設定します。

※RTMP は、音声非推奨となります。

5.3.6　SRT

- SRT-Listener

SRT-Listener

表示	説明
メインストリーム	リスナーを選択します。
リスニングポート	カメラが SRT パケットを受信するためのポート番号を設定します。
セキュア	SRT のセキュリティ機能の設定を行います。 Off：セキュリティ機能は無効になります。 AES-128/256：セキュリティが有効になります。 必要なパスフレーズを入力します。
レイテンシ	レイテンシの値を設定します。(60~8000)ms

SRT-Caller

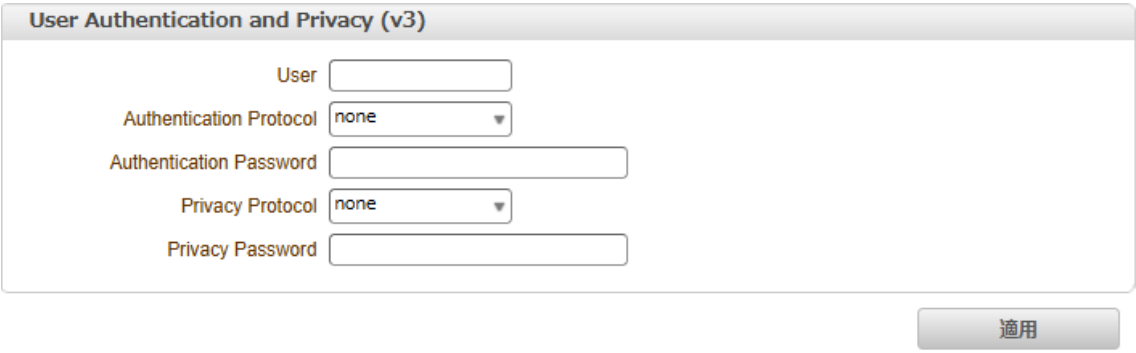
表示	説明
メインストリーム	Caller を選択します。
通知先メールアドレス	SRT のデータを受信する宛先 IP アドレスを設定します。
ターゲットポート	SRT のデータを受信する宛先ポート番号を設定します。
セキュア	SRT のセキュリティ機能の設定を行います。 Off：セキュリティ機能は無効になります。 AES-128/256：セキュリティが有効になります。 必要なパスフレーズを入力します。
レイテンシ	レイテンシの値を設定します。(60~8000)ms

5.3.7　SNMP

表示	説明
SNMP　受信ポート	SNMP の待ち受けポートの設定を行います。 初期値：161 [1025-65535]　※0 を設定すると SNMP は無効
SNMP　トラップ送信先 IP	SNMP トラップメッセージを送信する先の IP アドレスの 設定を行います。
SNMP　トラップ送信先ポート	SNMP トラップメッセージを受信するポート番号の設定を 行います。
SNMP　バージョン	SNMP バージョンを 1/2c/3 から選択します。 SNMP v3 を選択した場合は、 [User Authentication and Privacy(v3)]を設定します。
読み取りコミュニティ	MIB 情報の読み取りを行うコミュニティ名を設定します。
書き込みコミュニティ	MIB 情報の読み書きを行うコミュニティ名を設定します。

- User Authentication and Privacy（v3）

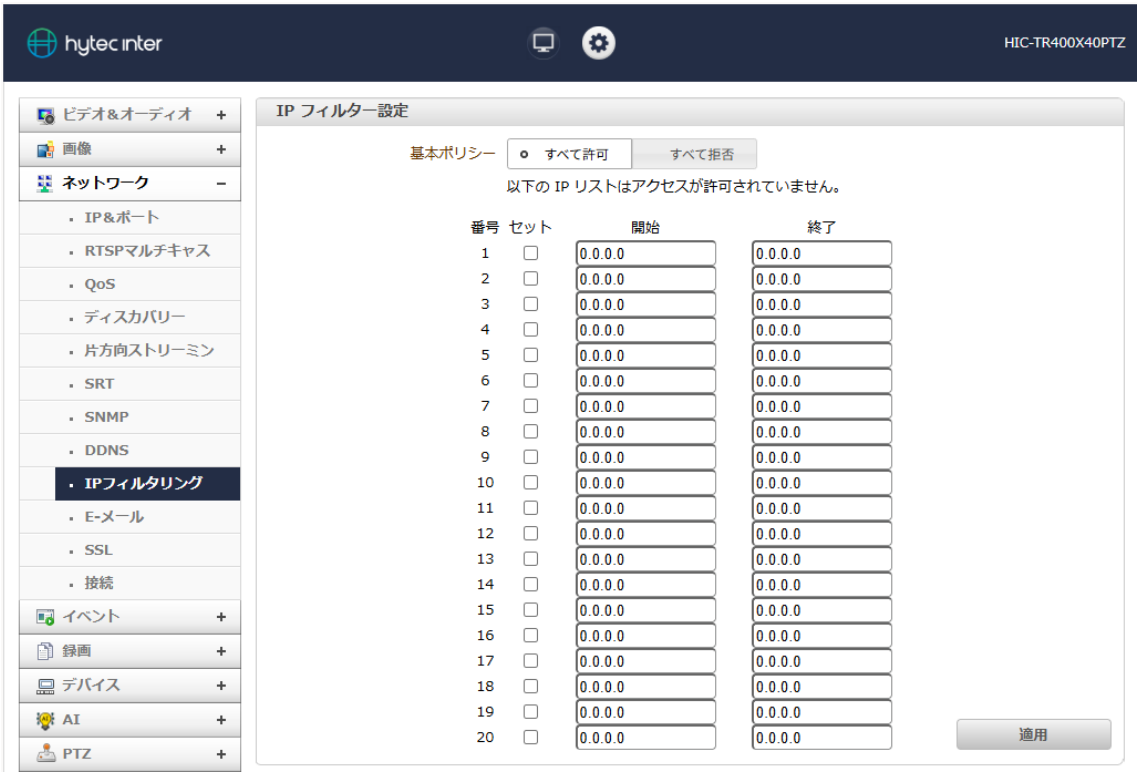
SNMP Version で 3 を選択した場合、以下の設定を行います。



表示	説明
User	ユーザ名を入力します。
Authentication Protocol	認証プロトコルを none(ユーザ名で認証)、MD5、SHA から選択します。
Authentication Password	認証パスワードを入力してください。※9 文字以上
Privacy Protocol	暗号化プロトコルを none(暗号無し)、Des、Aes128 から選択します。
Privacy Password	暗号パスワードを入力してください。※9 文字以上

5.3.8　DDNS　　本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

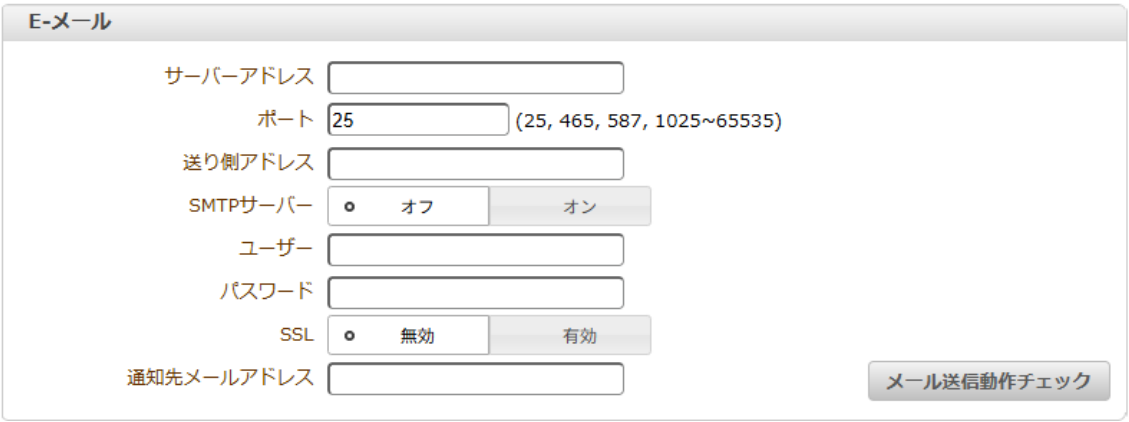
5.3.9 IP フィルタリング



表示	説明
基本ポリシー	すべて許可 l:リストにある IP アドレスからのアクセスを拒否します。 すべて拒否:リストにある IP アドレスからのアクセスを許可します。
開始・終了	アクセスを拒否または許可したい IP アドレスの範囲を入力します。
セット	制限を有効にする場合、チェックを入れます。

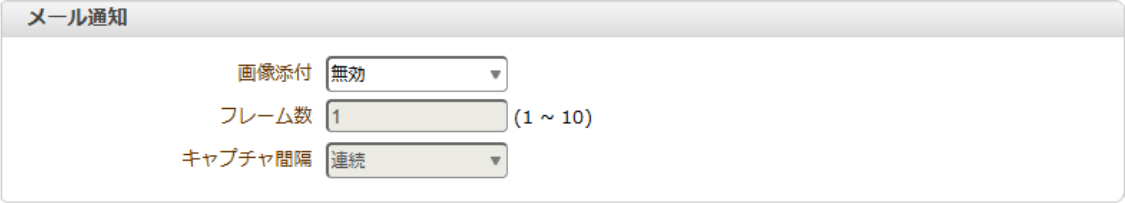
5.3.10 E-メール

- E-メール



表示	説明
サーバアドレス	メール送信(SMTP)サーバのアドレスを入力します。
ポート	SMTP 操作のためのポートを指定します。 初期値:25 [465、587、1025-65535]
送り側アドレス	使用する E-メールアドレスを入力します。
SMTP サーバ	E メールを送信する際に SMTP サーバでの認証を必要とする場合、On にします。
ユーザ/パスワード	“SMTP サーバ”が On の場合、E メールアカウントの ID とパスワードを入力する必要があります。
SSL	SSL の有効/無効の選択をします。
通知先メールアドレス	宛先アドレスを入力します。※63 文字まで入力可能。

- メール通知

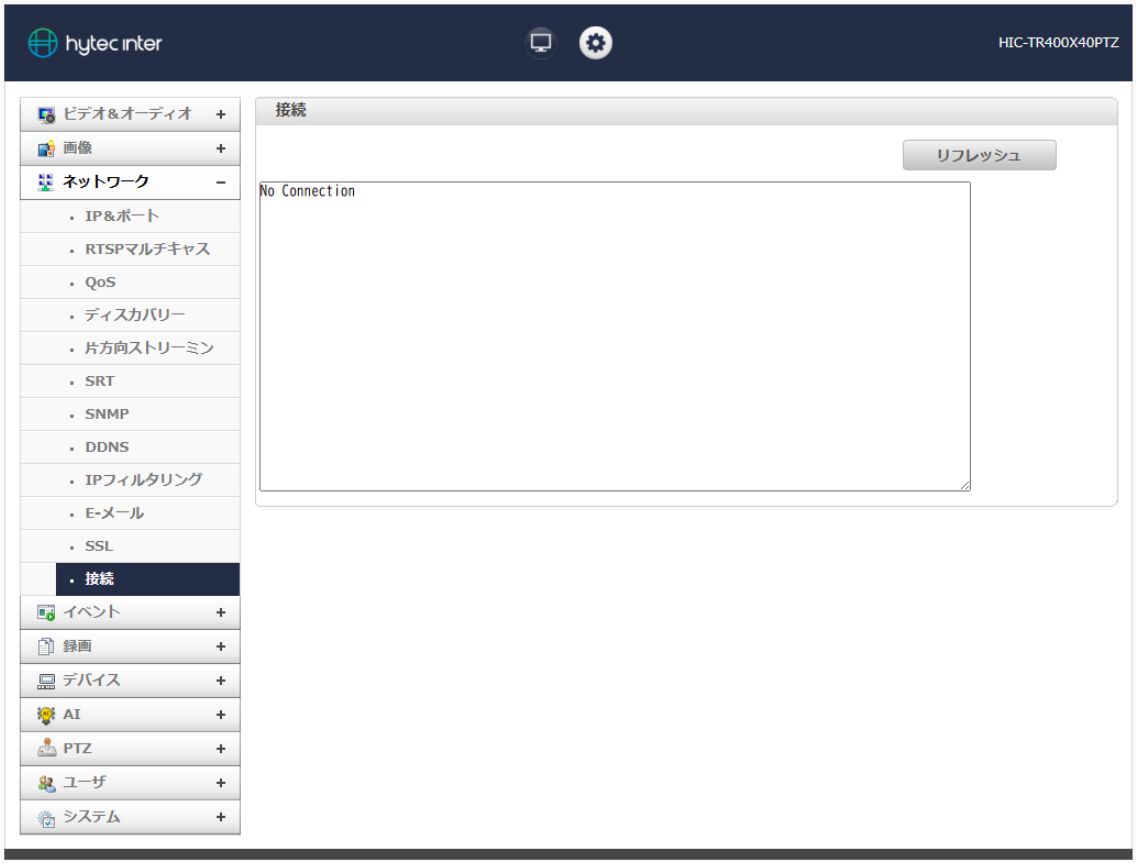


表示	説明
画像添付	通知時にビデオクリップ(映像または画像)を添付するのか選択します。
フレーム数	“画像添付”で”JPEG キャプチャ”を選択した場合の キャプチャ枚数を選択します。[1-6]
キャプチャ間隔	“画像添付”で”JPEG キャプチャ”を選択し、 “フレーム数”の値を 2 以上に設定した場合、 キャプチャ間隔を設定します。 “Skip 2 frames”を選択すると、3 フレームに 1 枚の間隔で キャプチャします。

5.3.11　SSL

表示	説明
Crt ファイル	SSL の証明書ファイルおよびキーファイルを選択します。
キーファイル	
アップロード	選択したファイルをアップロードします。
削除	アップロードされている証明書およびキーファイルを削除します。

5.3.12　接続



表示	説明
接続	本機に接続しているクライアントの IP アドレスと接続方式の一覧が表示されます。
リフレッシュ	表示を更新します。

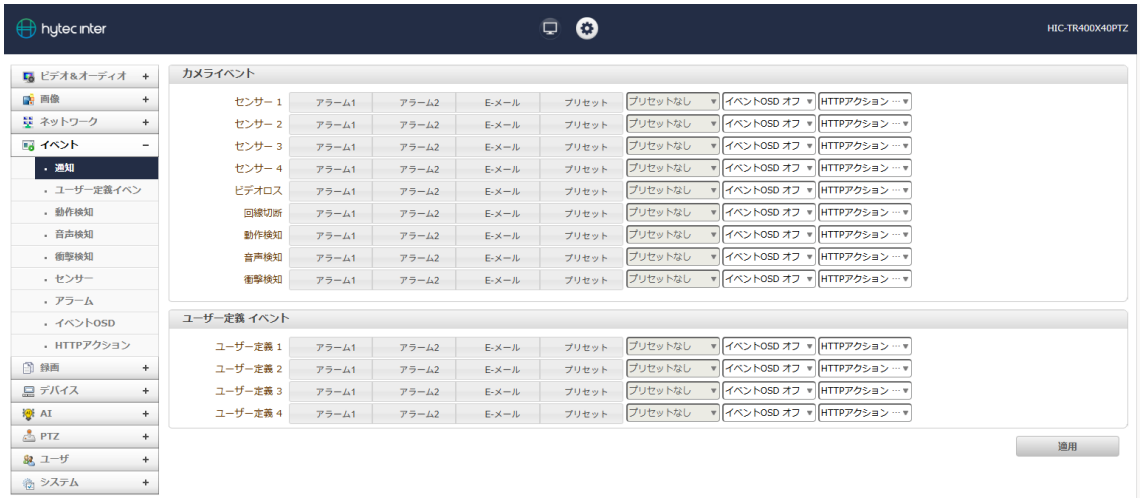
5.4　イベント

SETUP メニュー画面から”イベント”タブをクリックします。

➢ **イベントメニュー**

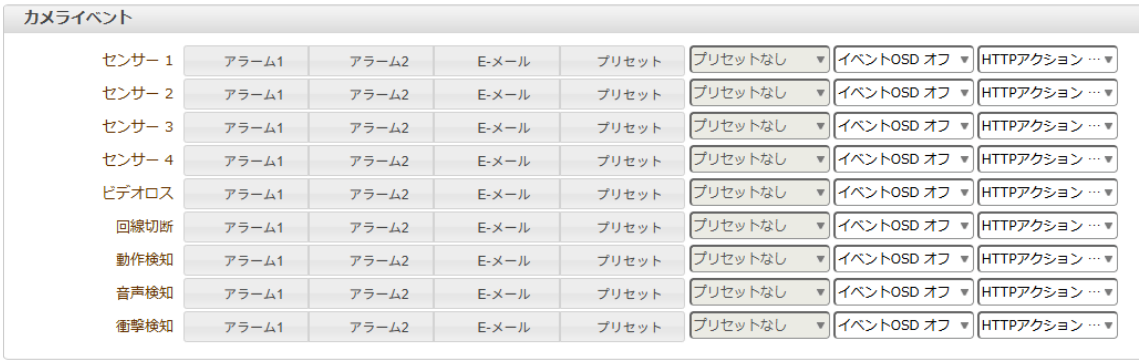
表示	説明
通知	イベント発生時の対応方法の選択を行います。
ユーザ定義イベント	イベントの種類(時間変更)の選択を行います。
動作検知	動体検知の設定を行います。
音声検知	検知する音声の制限をかけられます。
要撃検知	衝撃検知の設定を行います。
センサー	センサーのタイプ・スケジュールの設定を行います。
アラーム	イベント発生時のアラームの長さの設定を行います。
イベント OSD	イベント発生時に表示する OSD の設定を行います。
HTTP アクション	イベント発生時に作動させる HTTP API の設定を行います。

5.4.1 通知



- カメライベント

ローカルのイベントに対するアクションを設定します。



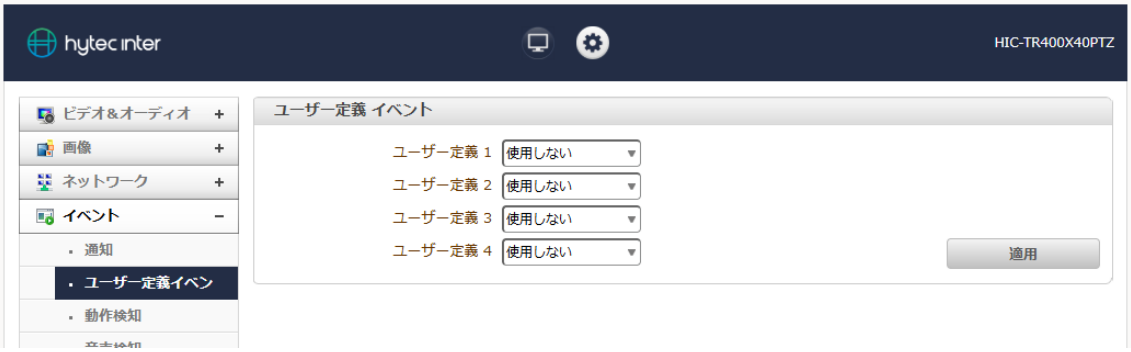
表示	説明
センサー 1~4	センサーが起動したときのアクションを設定します。
ビデオロス	ビデオ入力信号が失われたときのアクションを設定します。
回線切断	リンクが切断されたときのアクションを設定します。
動作検知	動体検知機能によって、動きが検出されたときのアクションを設定します。
音声検知	音声検知機能によって、音声が検出されたときのアクションを設定します。
衝撃検知	衝撃検知機能によって、衝撃が検出されたときのアクションを設定します。

● ユーザ定義イベント

ユーザ定義イベントで設定したイベントに対するアクションを設定します。

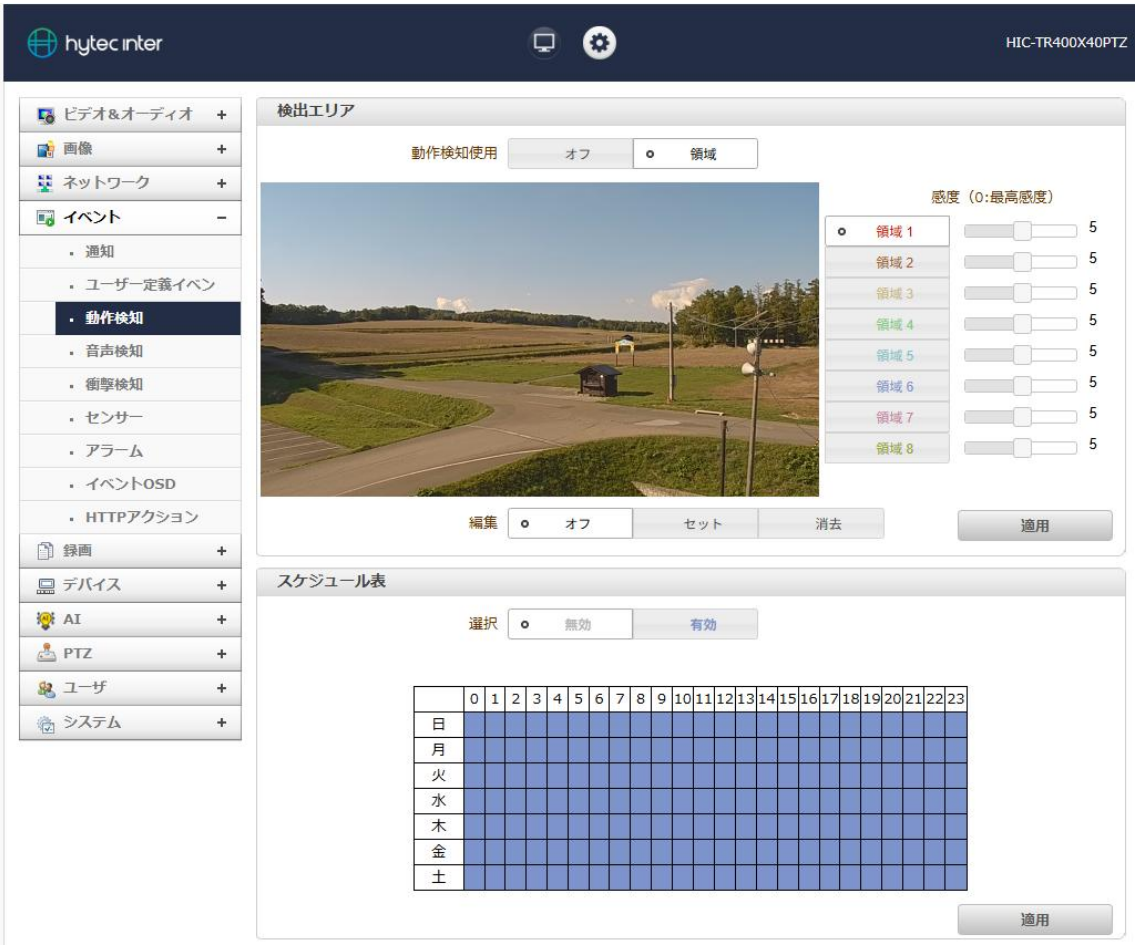
表示	説明
アラーム 1、2	アラーム 1 またはアラーム 2 のリレー回路を作動させます。
E-メール	指定されたアドレスに E メールを送信します。録画ファイルも添付可能です。
プリセット	プリセット位置にカメラを移動します。
イベント OSD	画面上に OSD を表示します。
HTTP アクション	HTTP API を送信します。

5.4.2　ユーザ定義イベント



表示	説明
昼から夜(TDN)	Day モードから Night モードへの移行を検知した際にイベントを発生させます。
夜から昼(TDN)	Night モードから Day モードへの移行を検知した際にイベントを発生させます。
時刻変更	システム時間が変更されたときにイベントを発生させます。
録画ステータス	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

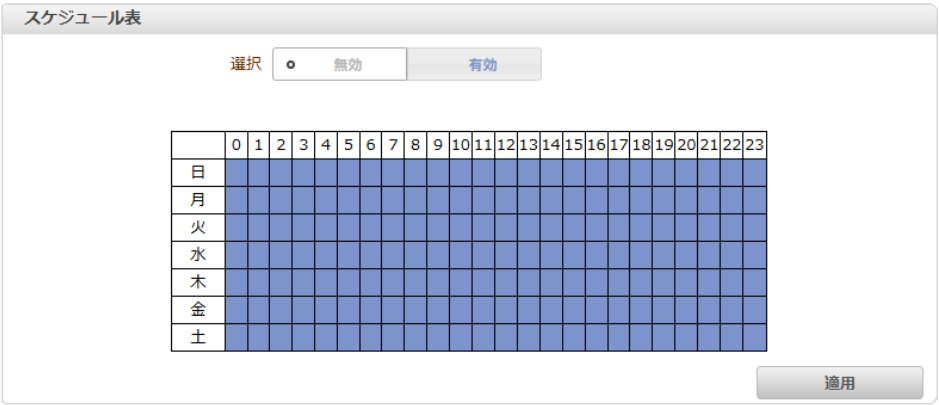
5.4.3 動作検知


hytec inter
HIC-TR400X40PTZ
ビデオ&オーディオ
画像
ネットワーク
イベント
通知
ユーザー定義イベン
動作検知
音声検知
衝撃検知
センサー
アラーム
イベントOSD
HTTPアクション
録画
デバイス
AI
PTZ
ユーザ
システム
検出エリア
動作検知使用
オフ
領域
感度（0:最高感度）
領域 1
領域 2
領域 3
領域 4
領域 5
領域 6
領域 7
領域 8
編集
オフ
セット
消去
適用
スケジュール表
選択
無効
有効
日
月
火
水
木
金
土
適用

- 検出エリア

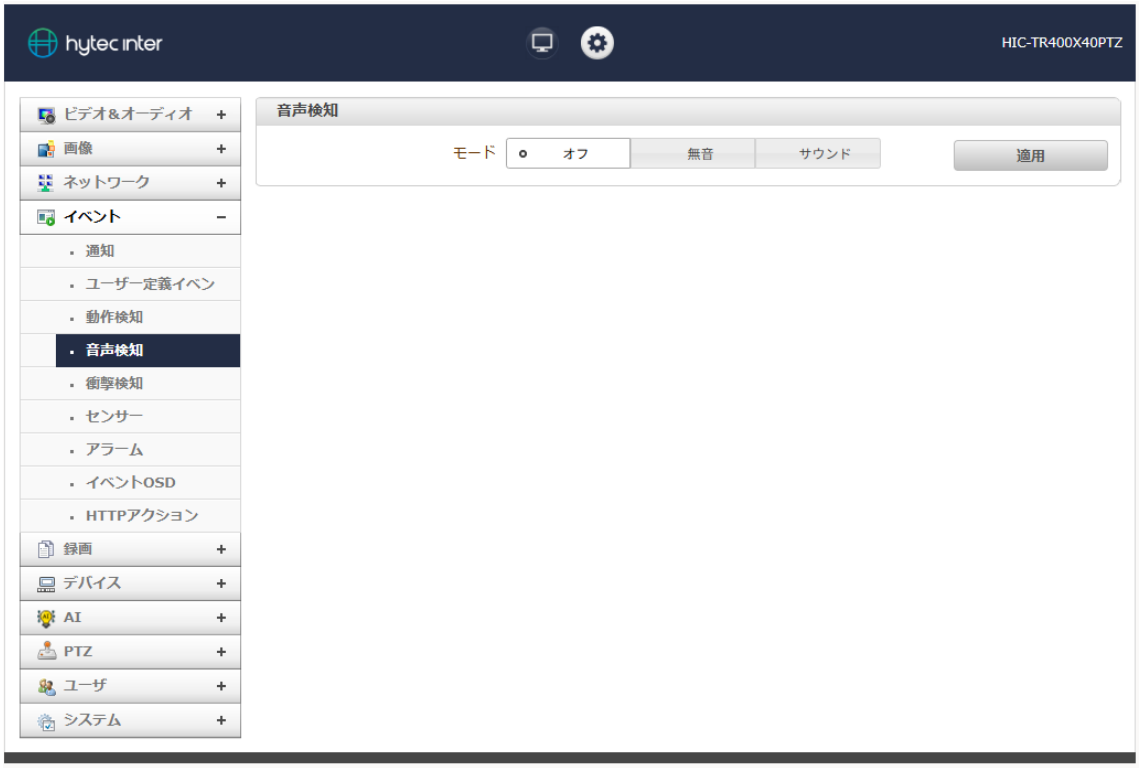
表示	説明
動作検知使用	動体検知機能を使用する場合、”領域”を選択し、 下の画面から動体検知を行う領域をマウスドラッグで選択します。
編集	領域を指定する場合は「セット」、削除する場合は「消去」を選択します。
領域 1~8	動体検知を行う領域を最大 8 か所設定できます。
感度	各 Region で動体検知の感度を設定します。[0-10] ※0 が最も感度が高くなります。

- スケジュール表



表示	説明
選択	有効または無効を選択し、 クリックやドラッグで動体検知のスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

5.4.4　音声検知



- 音声検知

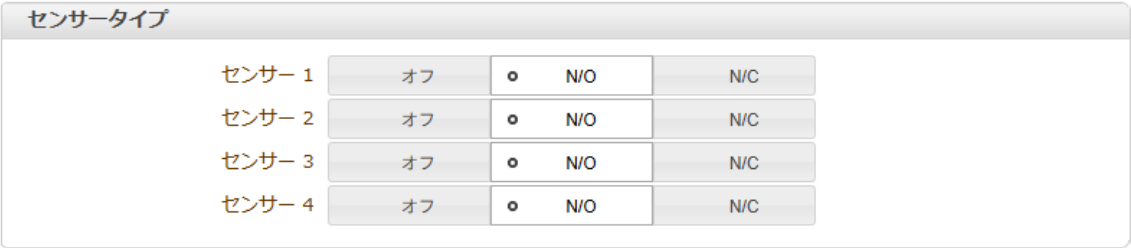
表示	説明
モード	無音またはサウンドを選択します。
検知レベル	音声検知閾値(レベル)を設定します。[-10dBFS]～[-60dBFS] 無音(検知)を選択した場合は、閾値より音声信号が 小さい場合にイベントを発生させます。 サウンド(検知)を選択した場合は、閾値より音声信号が大きい 場合にイベントを発生させます。 ※「-60 dBFS」は未サポートとなります。
継続時間	モードにより、検知のイベントを発生させるタイミングが異なります。 無音：閾値より音声信号が小さい時間が継続時間を超えたときに、イベントを発生させます。 サウンド：閾値より音声信号が大きくなるとイベントが発生し、Duration ではイベント持続時間を設定します。 ※「0」は未サポートとなります。

5.4.5　衝撃検知

表示	説明
衝撃検知を使用	カメラが物理的な衝撃や振動を検知した際に、アラームを発します。 オンに設定した場合、カメラが衝撃を感知した際、通知を送信する ことができます。
感度（1 が最も感度が高い）	衝撃検知感度の設定を行います。 数値が小さいほど感度が高く、微小な振動や衝撃でもアラームが 発生します。数値が大きいほど、強い衝撃のみアラームが発生します。
検出間隔	衝撃を検出する間隔の設定を行います。 検出間隔を短く設定すると、カメラは頻繁に衝撃を検知し、アラームを発生します。長く設定すると、一定の時間が経過するまで次の衝撃を検知しないようにすることができます。

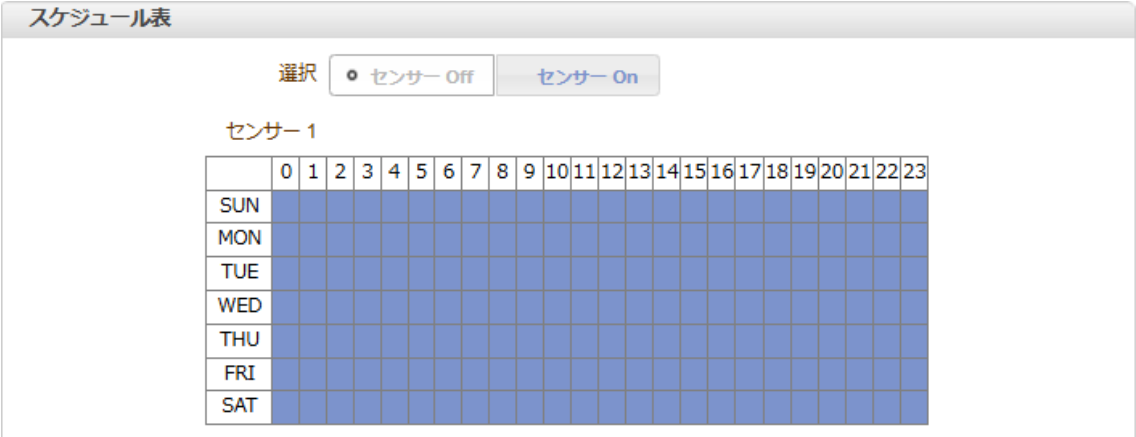
5.4.6　センサー

- センサータイプ



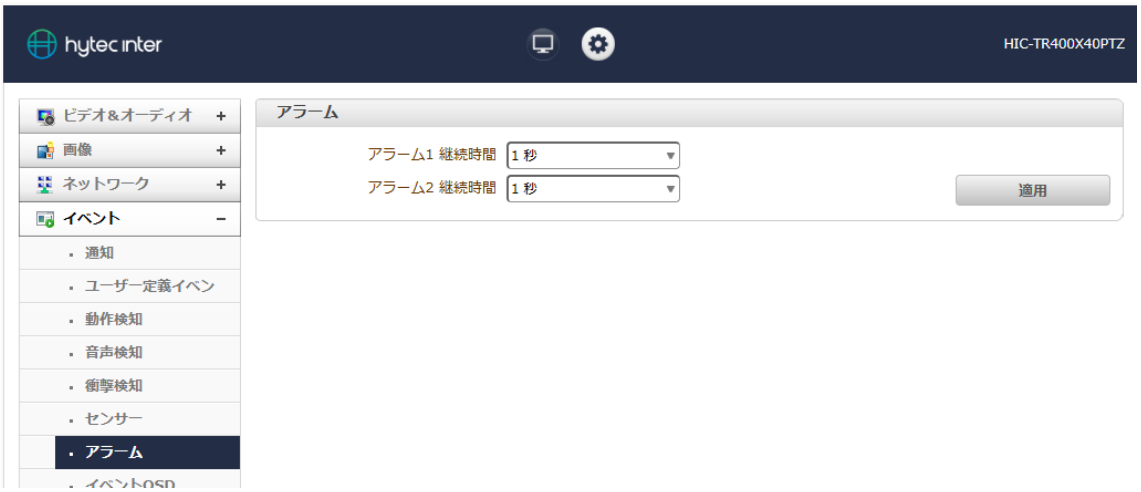
表示	説明
オフ	センサーを使用しません。
N/O	ポートが開いている状態が正常で、閉じたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Open)
N/C	ポートが閉じている状態が正常で、開いたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Close)

- スケジュール表



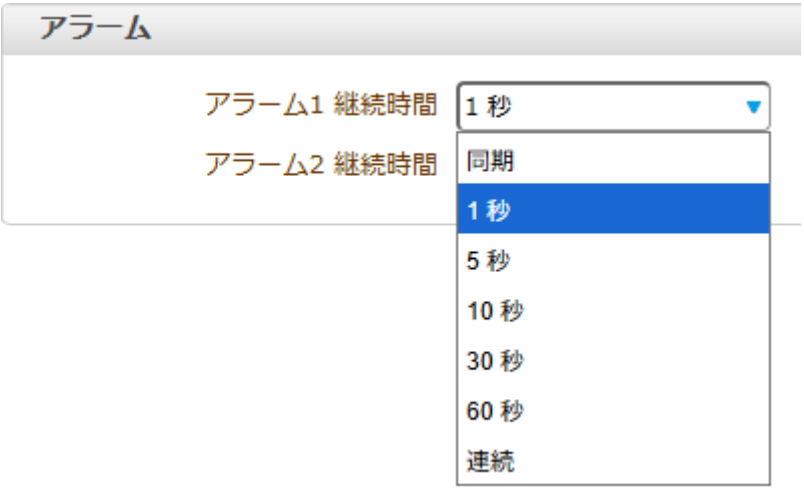
表示	説明
選択	Sensor Off (無効)または Sensor On (有効)を選択します。
センサー 1~4	クリックまたはドラッグでセンサーのスケジュール表を 作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

5.4.7 アラーム



表示	説明
アラーム 1~2 継続時間	アラーム回路を短絡させる継続時間を設定します。

継続時間について



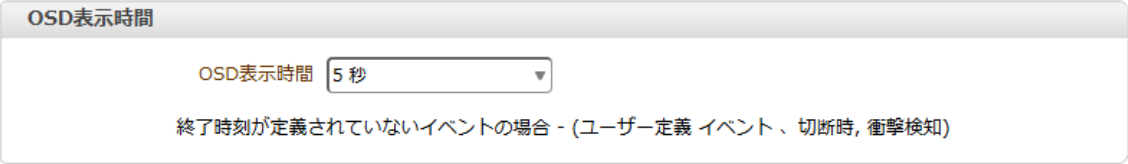
表示	説明
同期	関連付けたイベントが発生している間、アラーム回路を作動させます。
1,5,10,30,60 秒	発生後も 1/5/10/30/60 秒間、アラーム回路を作動し続けます。
連続	手動で止めるまで、アラーム回路を作動させます。

5.4.8 イベント OSD

- イベント OSD

表示	説明
有効	設定した文字列の前に、イベントタイプを挿入する場合はチェックを入れます。
文字列	画面上に表示したい任意の文字列を入力します。 最大 63 文字(日本語は最大 21 文字) 英数記号(¥のみ使用不可)、日本語(ひらがな/カタカナ/漢字)は使用可能
X-座標	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 [0-1000]
Y-座標	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 [0-1000]
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。[12-84]
色	フォントの色を設定します。

- OSD 表示時間

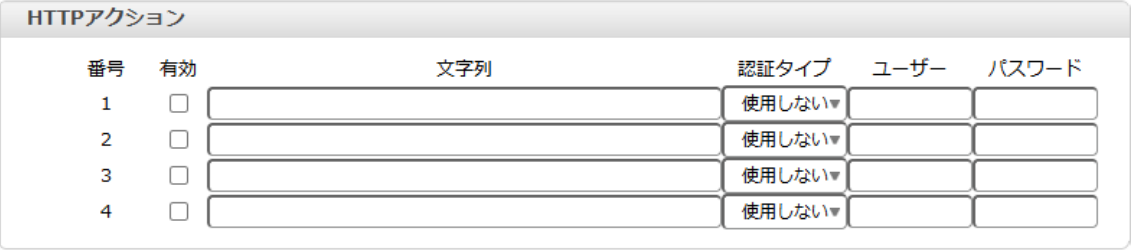


表示	説明
OSD 表示時間	OSD を表示し続ける時間を設定※ 該当イベント:ユーザ定義イベント/ 切断時/ 衝撃検知

※ “1 秒”は未サポートのため、ご使用になれません。

5.4.9 HTTP アクション

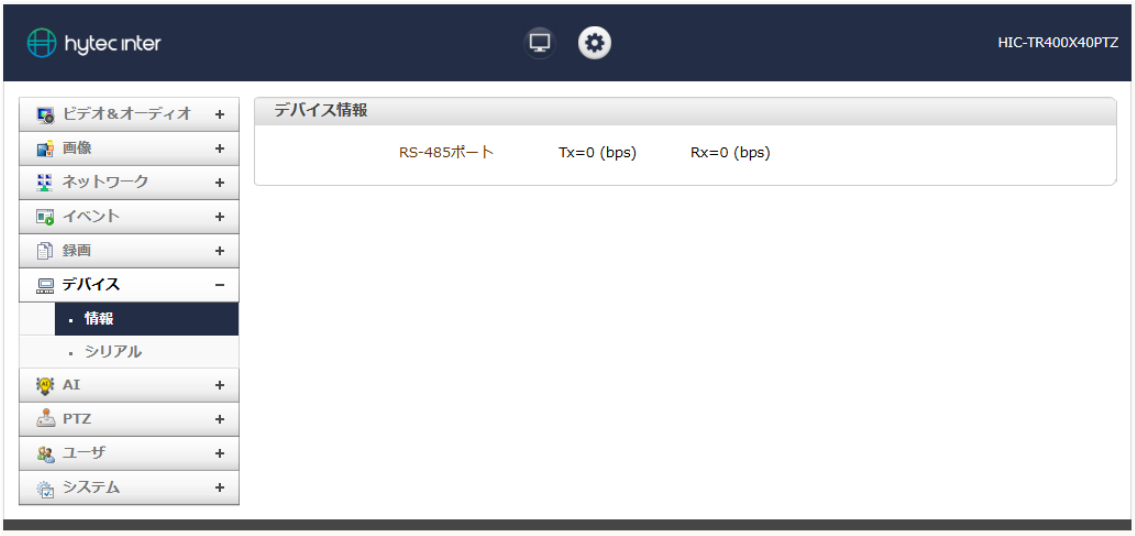
- HTTP アクション



表示	説明
有効	入力した命令の有効/無効を設定します。
文字列	HTTP API の命令を入力します。
認証タイプ	User > Login Policy の認証タイプに従って、HTTP API の認証タイプを設定します。 Auth Type の選択方法は、[Auth Type の設定基準]をご参照ください。
ユーザ	ログイン時に使用するユーザ名を入力します。
パスワード	ログイン時に使用するパスワードを入力します。

5.5　デバイス

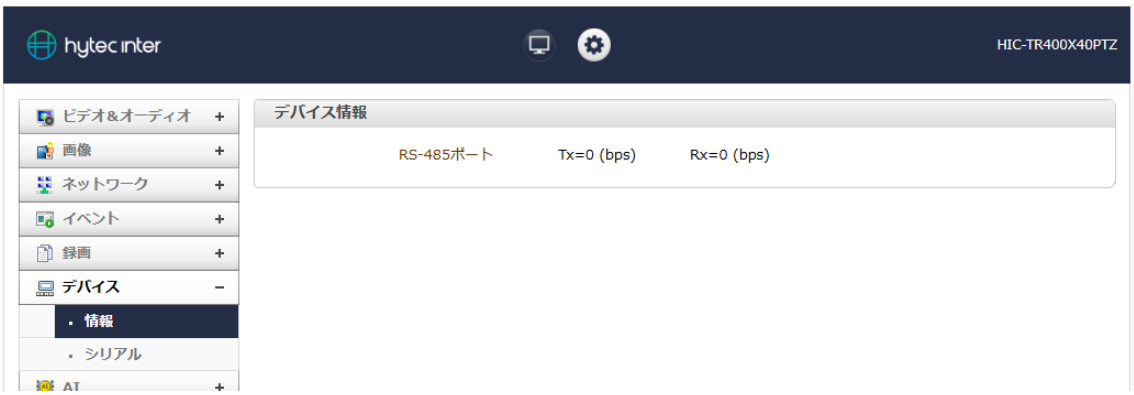
SETUP メニュー画面から”Device”タブをクリックします。



➢ **デバイスメニュー**

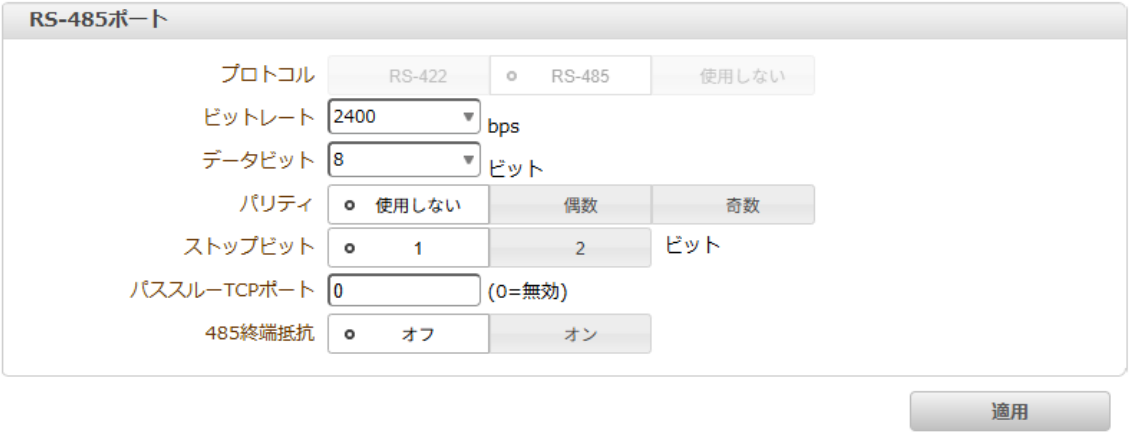
表示	説明
情報	シリアル通信の状態を表示します。
シリアル	シリアルポートの設定を行います。

5.5.1　情報



表示	説明
RS-485 ポート	現在のシリアル通信の状態（送受信)を表示します。

5.5.2　<u>シリアル</u>



表示	説明
プロトコル	RS-485 のみとなります。
ビットレート	ビットレートを選択します。
データビット	データビットを選択します。デフォルトでご使用ください。
パリティ	パリティビットを選択します。デフォルトでご使用ください。
ストップビット	ストップビットを選択します。デフォルトでご使用ください。
パススルーTCP ポート	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。 初期値:0(無効)
485　終端抵抗	終端抵抗の有効/無効を選択します。 デフォルトでご使用ください。

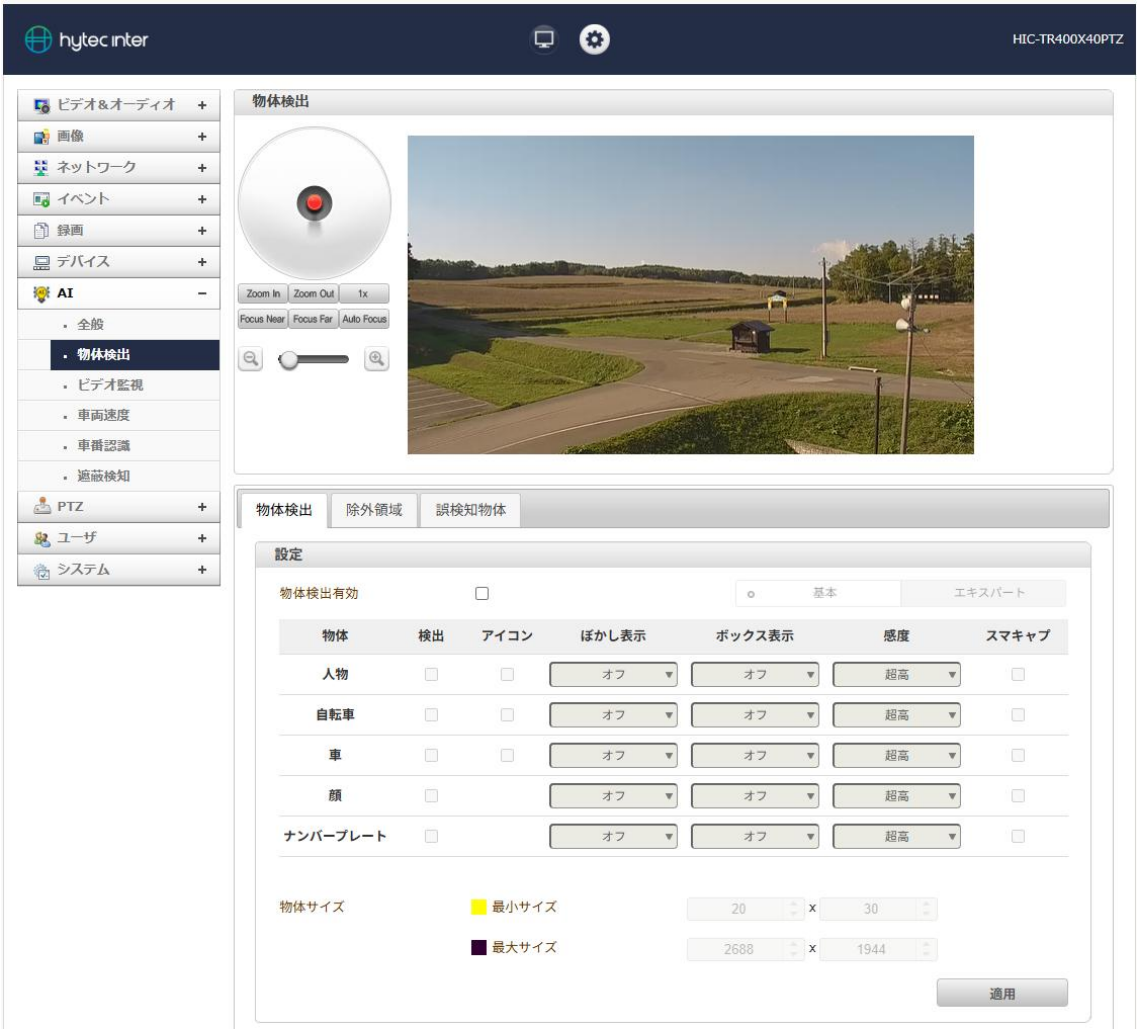
5.6　AI

SETUP メニュー画面から”AI”タブをクリックします。

➢ AI メニュー

表示	説明
全般	
物体検出	オブジェクト検出のタイプ（人、自転車/バイク、車)を選択します。
ビデオ監視	カメラのリアルタイムでの撮影、映像の監視、録画機能の設定を行います。
車両速度	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
車両認識	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
隠蔽検知	カメラに外部から物理的衝撃が加わったり、カメラが覆われたりした場合、状態異常を検知する設定を行います。

5.6.1 物体検出


hytec inter
HIC-TR400X40PTZ
ビデオ&オーディオ
画像
ネットワーク
イベント
録画
デバイス
AI
全般
物体検出
ビデオ監視
車両速度
車番認識
遮蔽検知
PTZ
ユーザ
システム
物体検出
Zoom In
Zoom Out
1x
Focus Near
Focus Far
Auto Focus
物体検出
除外領域
誤検知物体
設定
物体検出有効
基本
エキスパート
物体
検出
アイコン
ぼかし表示
ボックス表示
感度
スマキャプ
人物
自転車
車
顔
ナンバープレート
オフ
超高
物体サイズ
最小サイズ
最大サイズ
20
30
2688
1944
適用

- 物体検出

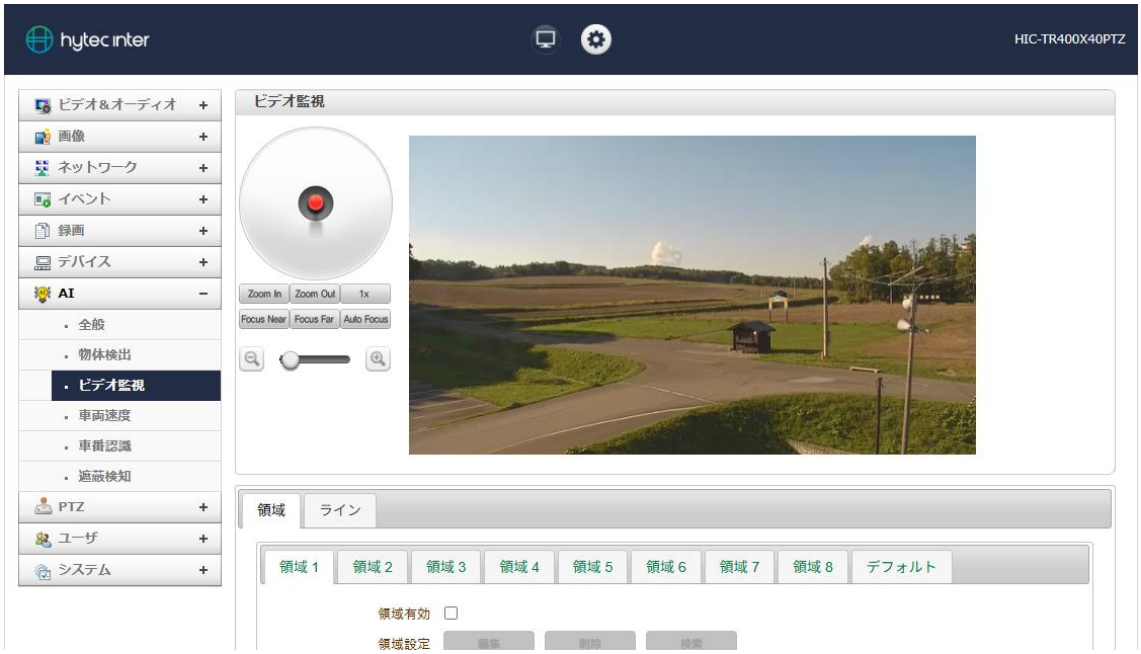
表示	説明
物体検出有効	カメラが特定の物体を検知する機能を有効にする設定です。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
物体	カメラが特定の物体(車、人、自転車、顔)を検知するための設定を行います。
検出	チェックを入れた物体の検出が有効になります。
ぼかし表示	検出した物体に自動でぼかしを入れます。
感度	検出の感度を設定します。
Smart Shot	検出した物体の静止画キャプチャを撮影します。
物体サイズ	カメラが検知する物体のサイズの設定を行います。

※ 本機の AI 機能を有効にした場合、Onvif Profile M に対応していない NVR との接続は
できなくなる可能性があります。

- 除外領域

表示	説明
領域有効	カメラの映像内でエリアを指定し、そのエリア内での物体検知を除外することができます。 機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
領域設定	カメラの映像内で特定のエリアの物体検知除外を行うことができます。 編集：設定した検知エリアの編集ができます。この機能を使用すると、すでに設定したエリアの形状やサイズの変更、新しいエリアを追加することができます。 削除：設定した検知エリアの削除ができます。 検索：設定されているエリアの検索を行います。
領域表示	映像ストリーム上に設定したエリアを表示させるかどうかを選択します。
領域タイプ	除外するエリアの形状や種類の設定を行います。 Region：カメラ映像解析において不要なエリアを効果的に除外し、誤検出を減らすことができます。 Spot：本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
物体	カメラが除外する物体(車、人、自転車)の設定を行います。

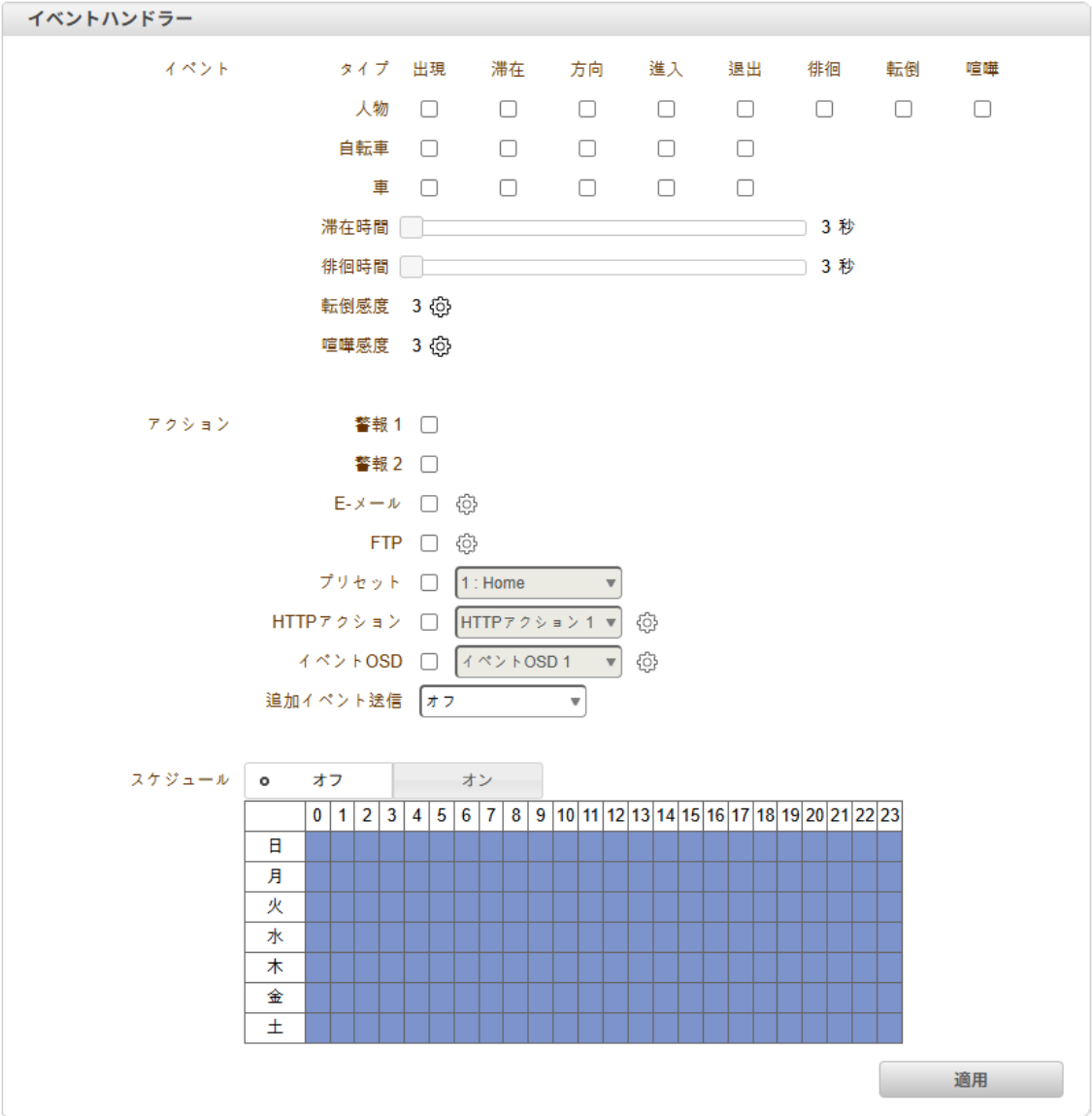
5.6.2 ビデオ監視


hytec inter
HIC-TR400X40PTZ
ビデオ&オーディオ
画像
ネットワーク
イベント
録画
デバイス
AI
全般
物体検出
ビデオ監視
車両速度
車番認識
遮蔽検知
PTZ
ユーザ
システム
ビデオ監視
Zoom In
Zoom Out
1x
Focus Near
Focus Far
Auto Focus
領域
ライン
領域 1
領域 2
領域 3
領域 4
領域 5
領域 6
領域 7
領域 8
デフォルト
領域有効
領域設定

- 領域

表示	説明
領域有効	映像をリアルタイムで監視・解析をする設定を行います。 機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
領域設定	カメラの監視エリア内で、特定の領域を指定する設定を行います Edit：監視エリアや検出ゾーンの詳細設定をすることができます。 Remove：設定した監視エリアや検出ゾーンを削除することができます。 検索：カメラが設定されている領域を画角外から検索することができます。
領域表示	カメラ映像内で、特定の領域を強調表示する設定を行います。 この機能を使用すると、監視カメラの映像をより効果的に活用し 重要なエリアに集中して監視することができます。 機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
方向有効	特定の方向に対する動体検知の設定を行います。 この機能を使用することで、指定した方向に動く物体のみを 検出し、解析やアラームを発生させることができます。 機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
方向設定	IP カメラの監視エリア内で、特定の方向に対する動きを検出する ことができる設定を行います。 Edit：監視エリアの調整や詳細設定をすることができる。 Remove：監視エリアから特定の設定やエリアを削除することができます。
群衆カウント有効	特定の領域の混雑状況の設定を行います。

- イベントハンドラー



イベント

表示	説明
タイプ	検出する対象を表します。
出現	カメラの視野内に新しい物体や人物が現れた場合にイベントが発生します。
滞在	特定のエリア内に、一定時間以上滞在する物体や人物を検出します。
方向	特定の方向に移動する物体や人物を検出します。 （例えば、逆走する車などの検出に使用されます。）
侵入	指定されたエリアに物体や人物が入った場合に、イベントが発生します。
退出	指定されたエリアから物体や人物が出た場合に、イベントが発生します。
徘徊	特定のエリア内で、一定時間以上徘徊する物体や人物を検出します。
転倒	転倒した人物を検出します。

喧嘩	喧嘩を検出します。
滞在時間	特定のエリア内で物体が滞在する時間を計測することができます。 滞在時間の設定を行うと、設定した時間を超えた場合、Action で 設定した機能が実行されます。(1～600 sec)
徘徊時間	特定のエリア内で一定時間以上滞在する物体を検出することが できます。 滞在時間の設定を行うと、設定した時間を超えた場合、Action で 設定した機能が実行されます。(1～600 sec)
転倒感度	特定のエリア内で発生する転倒を監視し、検出する際のカメラの感度の設定を 行います。1 が最も低く 5 が最も高くなります。
喧嘩感度	特定のエリア内で発生する暴力的な行動を監視し、検出する際の カメラの感度の設定を行います。1 が最も低く 5 が最も高くなります。

アクション

表示	説明
警報 1、2	特定のイベントが発生した場合、アラームが作動します。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
E-メール	特定のイベントが発生した場合、自動的にメールが送信されます。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
FTP	特定のイベントが発生した場合、画像や動画を FTP サーバに 自動的にアップロードします。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
プリセット	特定のイベントが発生した場合、カメラが事前に設定された 位置に自動的に移動します。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
HTTP アクション	特定のイベントが発生した場合、指定した URL に HTTP リクエストを送信します。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
イベント OSD	特定のイベントが発生した場合、カメラの映像上にテキスト情報 (イベントの種類や発生時間など)を表示します。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
追加イベント送信	“動作”に設定すると、AI 検知を動体検知としてレコーダに通知します。 AI 解析メタデータ非対応の機器と接続する際に有効です。

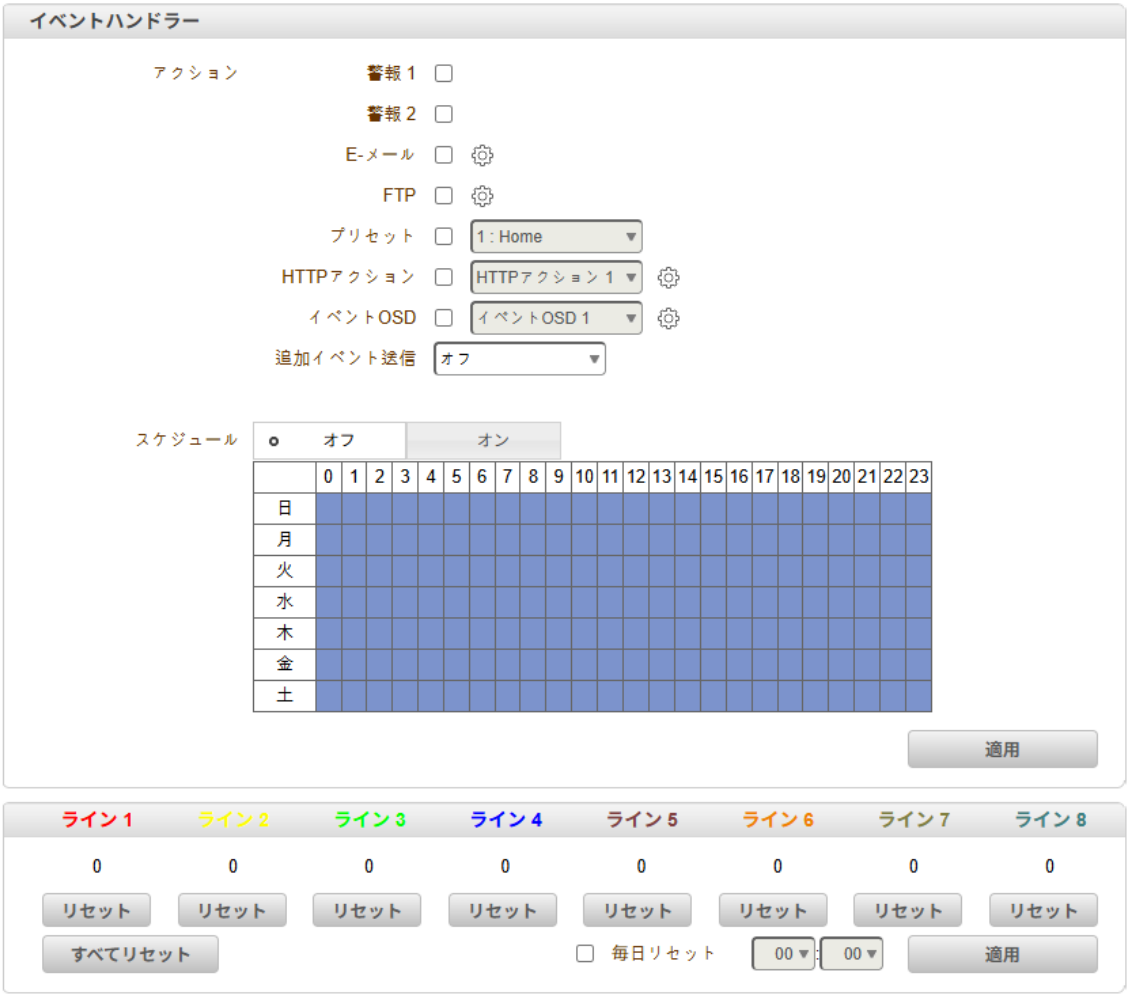
スケジュール表

表示	説明
オフ/オン	特定のイベントやアクションが実行される時間帯や、曜日の設定を行います。 スケジュールを有効にする場合は、オンに設定してください。

- ライン

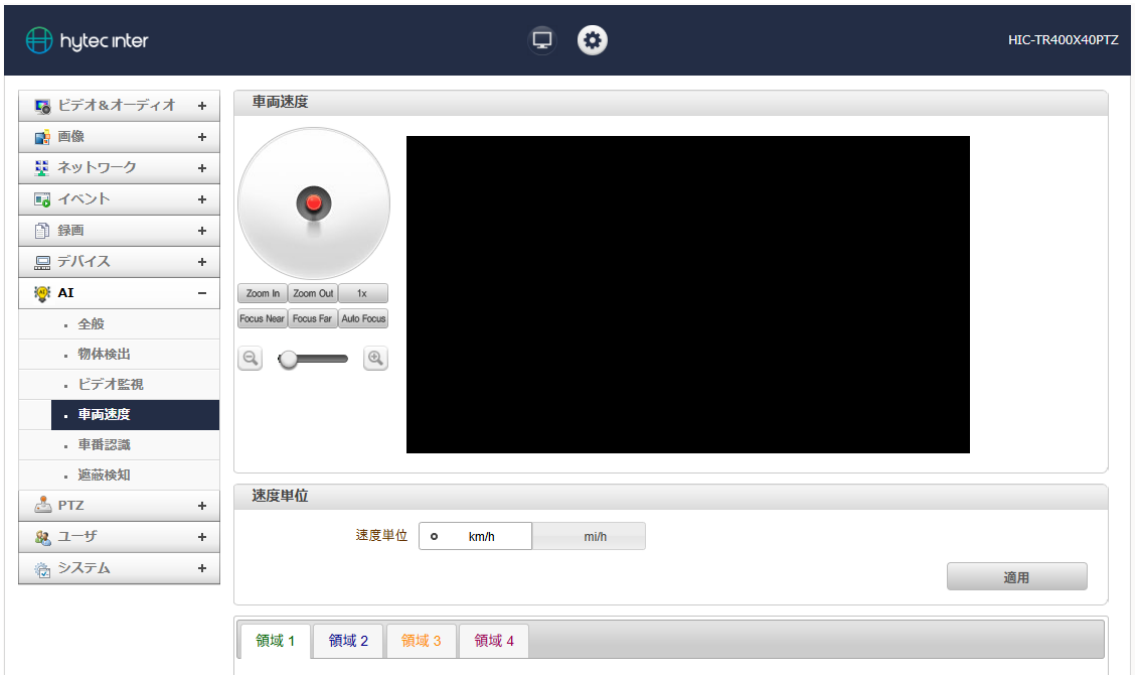
表示	説明
ライン有効	特定のライン(仮想線)を超える動きを検出する機能です。 この機能を有効にする場合は、チェックを入れてください。
ライン設定	特定のライン(仮想線)を設定することができます。 編集:仮想ラインの設定や調整を行うことができます。 削除:設定されている仮想ラインを削除することができます。 検索:カメラが設定されている仮想ラインを画角外から検索する ことができます。 方向変更:人や車両が仮想ラインをどの方向に超過するかの向きを変 更する機能です。
ライン表示	カメラの映像上に、仮想ラインを表示することができます。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
物体	検出する対象の設定を行います。
カウント有効	特定のライン(仮想線)を越えた人や車両の数をリアルタイム でカウントすることができます。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
カウント OSD 表示	カメラの映像上にリアルタイムでカウント情報を表示することができます。 有効にする場合は、チェックを入れてください。

- イベントハンドラー

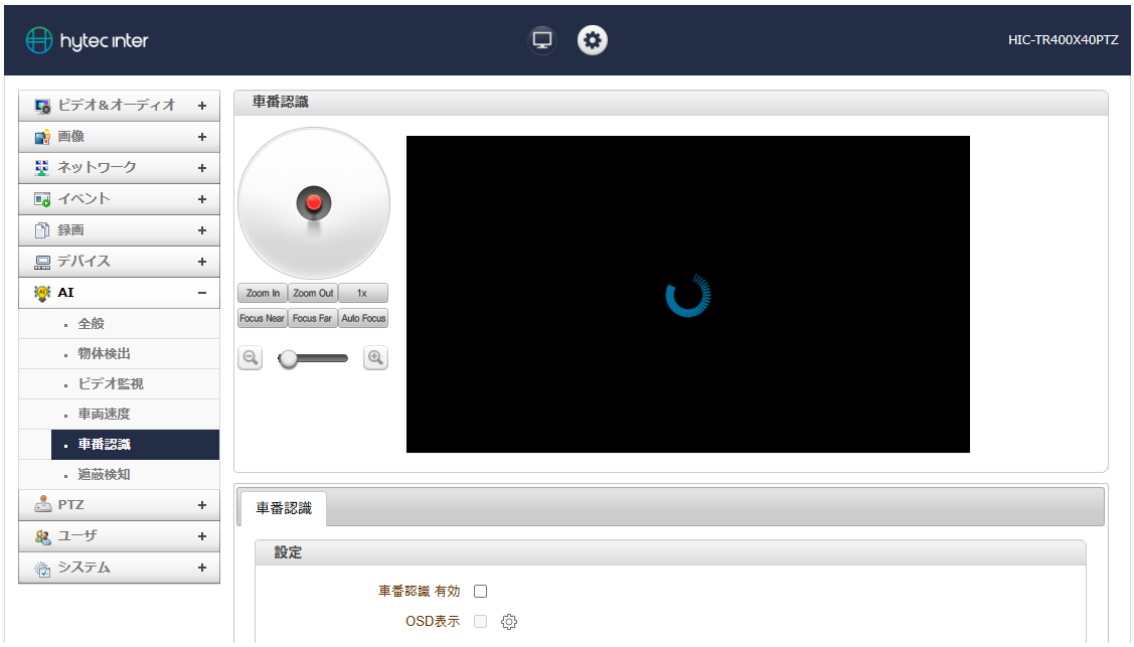


表示	説明
アクション	前項（領域 ＞ イベントハンドラー)の説明を参照してください。
Send Extra Event	
スケジュール表	
リセット	すべてのラインのオブジェクトカウントを一括リセットします。
すべてリセット	設定した時刻に、オブジェクトカウントをリセットします。

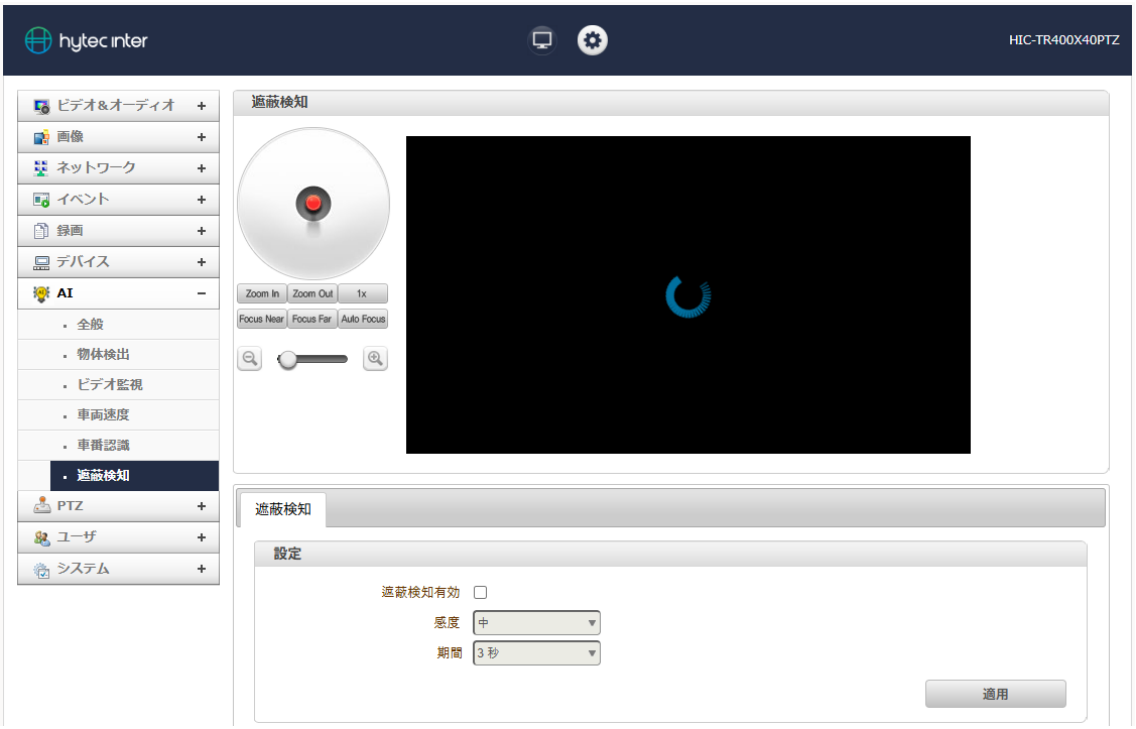
5.6.3　車両速度　　本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



5.6.4　車番認識　　本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



5.6.5　隠蔽検知



表示	説明
隠蔽検知有効	カメラが物理的に操作されたり、視界が遮られたりした場合に、 アラームを発する機能です。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
感度	カメラが物理的に操作されたり、視界が遮られたりした場合に、 アラームを発する感度の設定を行います。
期間	カメラが物理的に操作されたり、視界が遮られたりした場合に、 アラームを発するまでの時間の設定を行います。

※Event Handler の設定については、AI>物体検知項を参考にしてください。

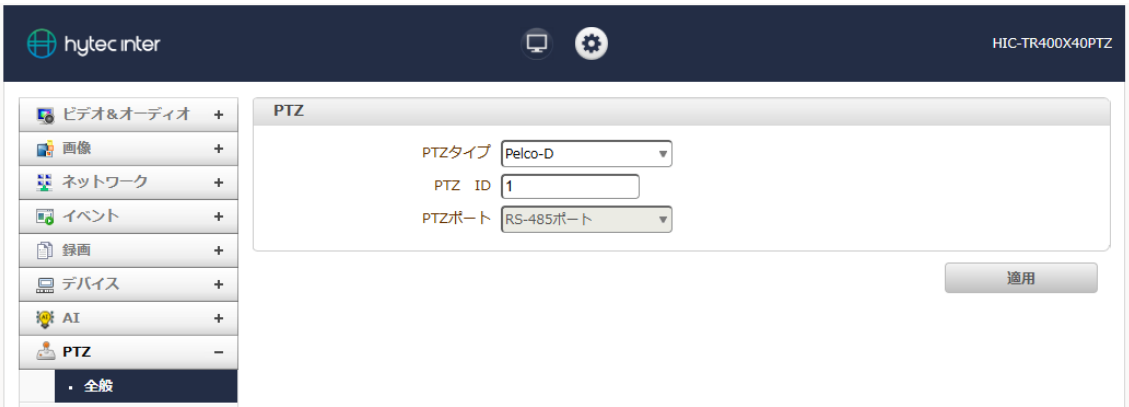
5.7　PTZ

SETUP メニューの”PTZ”タブをクリックします。

➢ PTZ メニュー

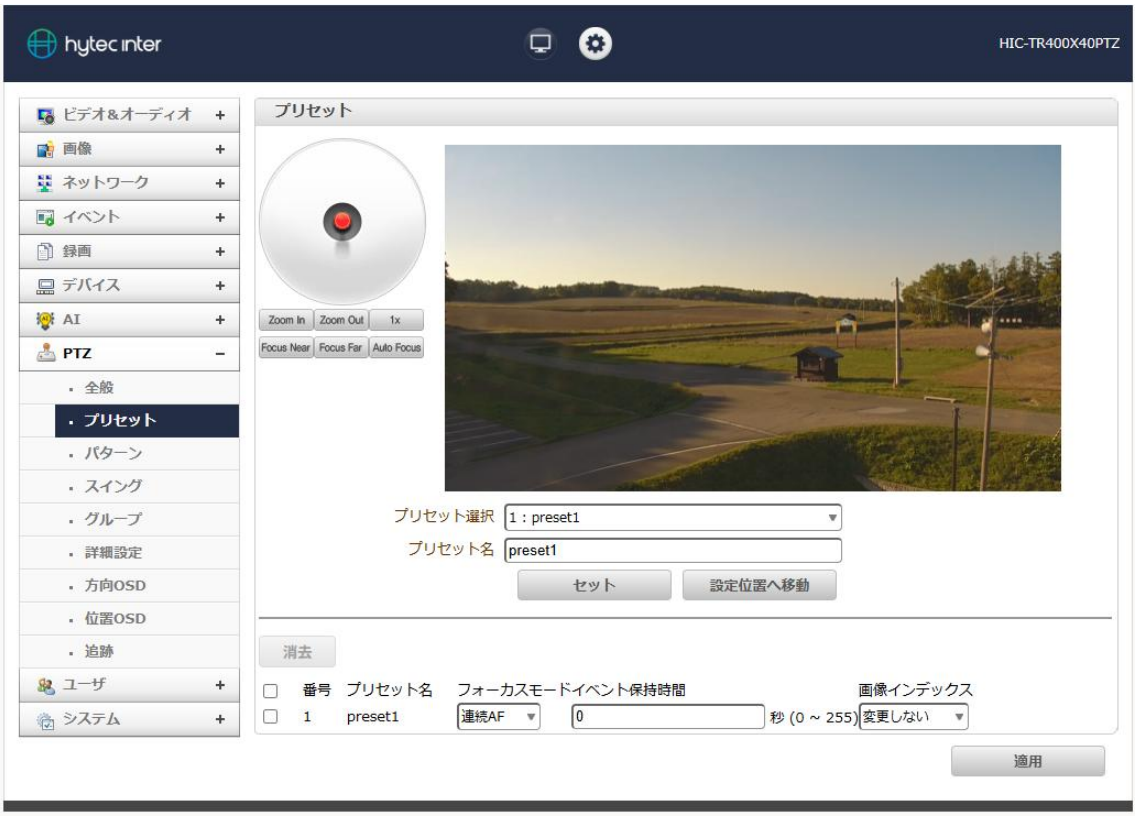
表示	説明
全般	PTZ カメラの設定を行います。
プリセット	Preset の設定を行います。
パターン	カメラの動作を最大 4 つまで、記録/再生ができます。
スイング	カメラが設定された範囲内で自動的に左右(または上下)に、 動く設定を行います。
グループ	グループ設定。全 8 グループで 1 グループ 20 組まで設定できます。
詳細設定	再起動した際のカメラの位置、オートパーキング機能の設定を行います。
方向 OSD	カメラの映像上に現在のカメラの向きを表示する機能の設定を行います。
位置 OSD	カメラの映像上に現在のカメラの位置情報を表示する機能の設定を行います。
追跡	カメラが自動的に動く物体や人物を追尾する機能の設定を行います。

5.7.1　全般



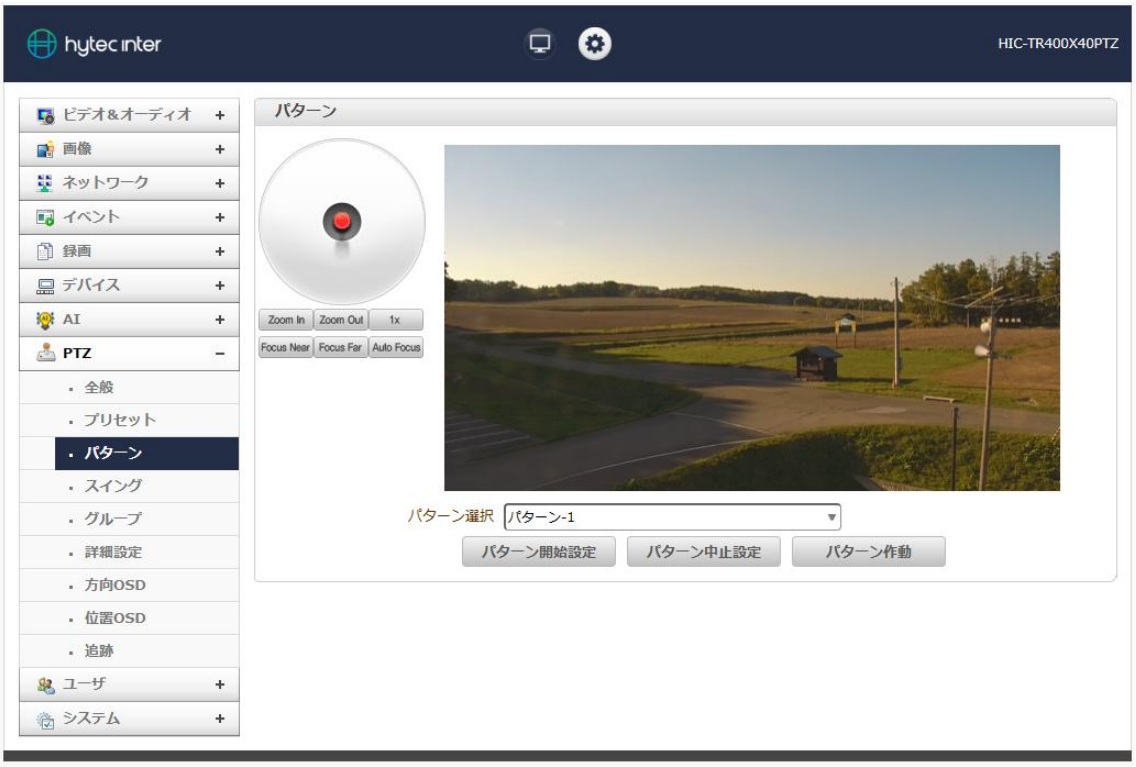
表示	説明
PTZ タイプ	Pelco-D を選択します。 ※Pelco-D 以外は未サポートのため、ご使用になれません。
PTZ ID	制御用のカメラや受信機の PTZ ID を入力します。[0-255]
PTZ ポート	制御用 PTZ カメラと接続するシリアルポートを表示します。

5.7.2 プリセット



表示	説明
プリセット選択	プリセット番号を選択します。(Preset-1～500)
プリセット名	プリセット名を設定します。
セット	選択したプリセット番号に現在位置を設定します。
設定位置へ移動	プリセットが設定されている場合、選択したプリセットの 位置へ移動します。
□	選択したプリセットを削除します。
フォーカスモード	フォーカス動作を選択します。
イベント保持時間	特定のイベントがトリガされた場合、カメラがプリセット 位置に留まる時間の設定を行います。
画像インデックス	選択したプリセットに移動する際に Image 項のどの Config を適用するかの設定を行います。

5.7.3 パターン

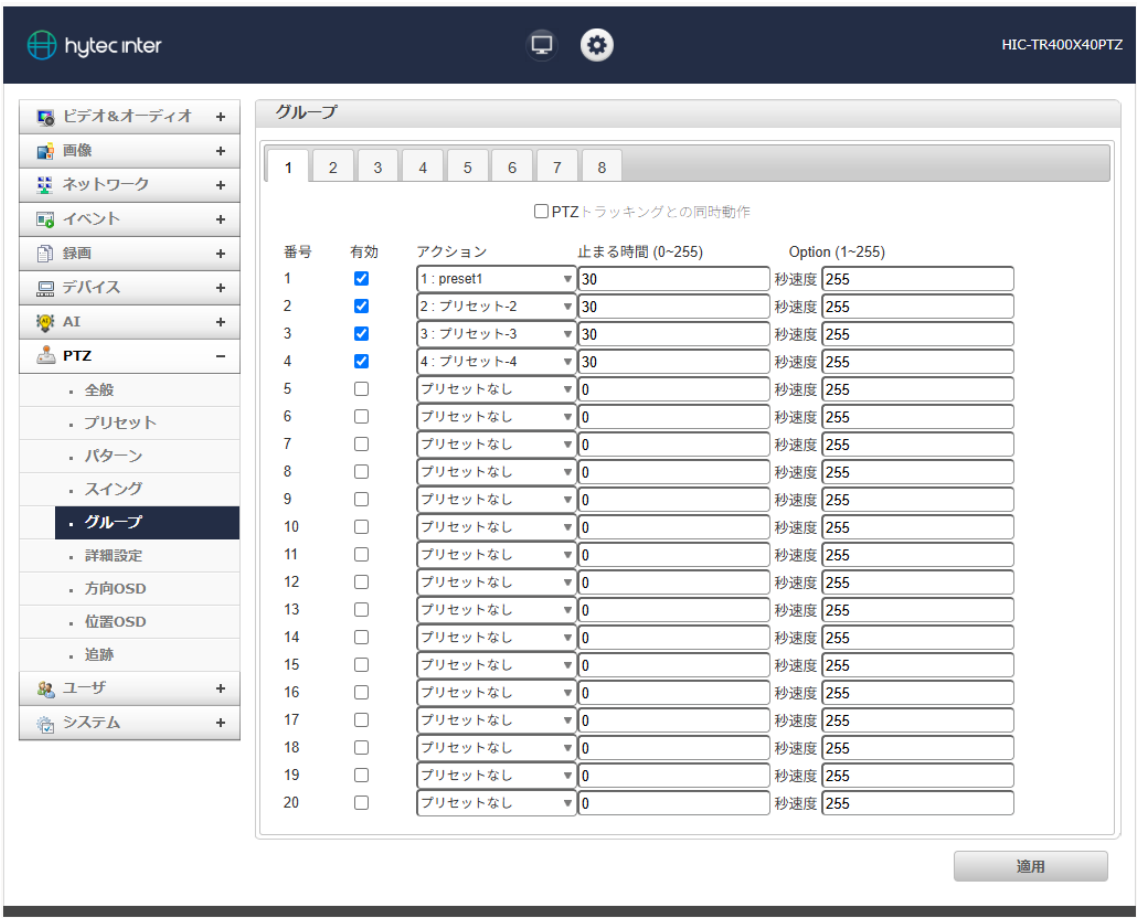


表示	説明
パターン選択	カメラが設定された動作を記録し、その動作を自動的に再現することができます。パターンは 4 つまで記録できます。
パターン開始設定	カメラが特定の動作パターンの記録を開始します。
パターン中止設定	カメラが特定の動作パターンの記録を停止します。
パターン作動	事前に記録された動作パターンの再生をします。

5.7.4　スイング

表示	説明
No.1～8	スイングパターンの番号を表示します。
有効	カメラのスイング動作の有効/無効の設定を行います。 有効にする場合は、チェックを入れてください。
動作開始位置	カメラのスイング動作を開始する位置の設定を行います。
動作終了位置	カメラのスイング動作の終了位置の設定を行います。
速度（1~255）	カメラがスイング動作を行う際の速度の設定を行います。 数値が大きいほど、カメラの動作速度が速くなります。

5.7.5　グループ

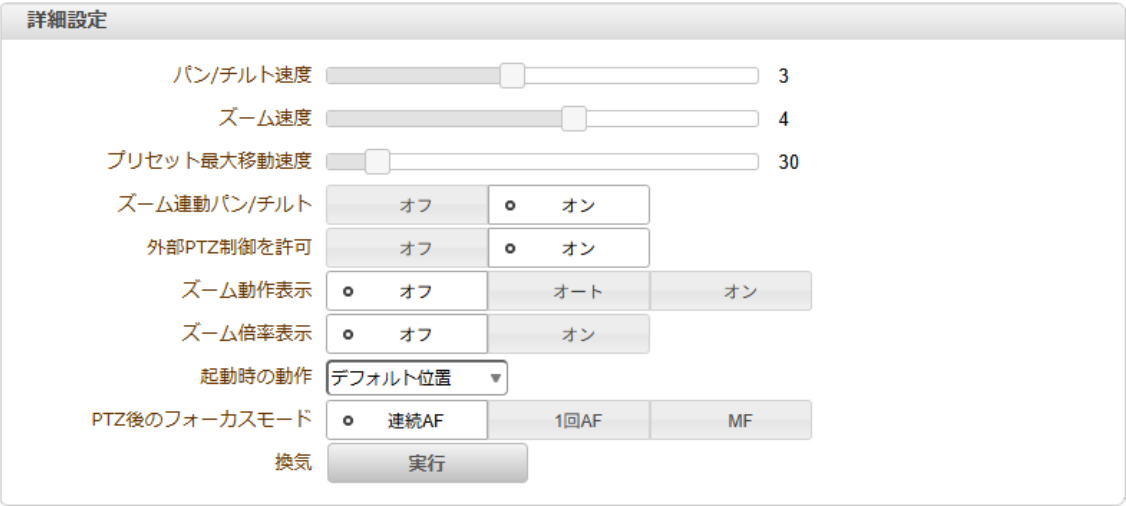


表示	説明
有効	有効にする場合はチェックを入れます。
アクション	グループに追加する設定を選択します。 プリセットなし t:プリセットが設定されていません。 プリセット 1～500:プリセットメニューで設定したプリセット番号を選択します。 スイング 1～8:スイングメニューで設定した番号を選択します。
止まる時間 (0~255)	各プリセットの滞留時間の設定を行います。
Option (1~255)	映像の切り替わる速さを設定します。 アクションの設定をスイングに設定した場合、動作を繰り返す回数を入力します。

5.7.6　詳細設定

hytec inter
HIC-TR400X40PTZ
ビデオ&オーディオ
画像
ネットワーク
イベント
録画
デバイス
AI
PTZ
全般
プリセット
パターン
スイング
グループ
詳細設定
詳細設定
パン/チルト速度
3
ズーム速度
4
プリセット最大移動速度
30
ズーム連動パン/チルト
オフ
オン
外部PTZ制御を許可
オフ
オン
ズーム動作表示
オフ
オート
オン
ズーム倍率表示
オフ
オン
起動時の動作
デフォルト位置
PTZ後のフォーカスモード
連続AF
1回AF
MF
換気
実行
キャリブレーション
キャリブレーション
実行

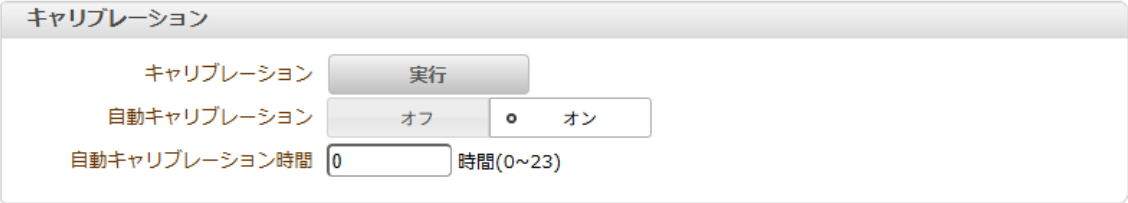
- 詳細設定



表示	説明
パン/チルト速度	カメラがパンチルト操作中に、どの速度で動くかの設定を行います。
ズーム速度	カメラのズーム操作を行う際の、速度の設定を行います。 数値が大きいほど、ズーム動作が速くなります。
プリセット 最大移動速度	カメラがプリセット位置を移動する際の、速度の設定を行います。 数値が大きいほど、カメラの移動速度が速くなります。
ズーム連動 パン/チルト	カメラのズームレベルに応じて、ジョグ操作の速度を自動的に 調整する機能です。 ズームイン:ジョグ操作が遅くなります。 ズームアウト:ジョグ操作が速くなります。 有効にする場合は、On にしてください。
Auto Flip	カメラが上下方向に動く際に、画像が逆さまにならないように 自動的に調整する機能です。 有効にする場合は、On にしてください。
外部 PTZ 制御を許可	外部機器による PTZ 制御を許可します。
ズーム動作表示	カメラがパン、チルト、ズームを行うたびに、その動作が リアルタイムで画面上に表示される機能です。 オフ:カメラの PTZ 操作が行われても、その動作は画面上に 表示されません。 オート:PTZ が操作されたときの動作を一定時間表示します。 オン:カメラの PTZ 操作が行われるたびに、その動作がリアル タイムで画面上に表示されます。
ズーム倍率表示	カメラのズーム倍率を画面上に表示する機能です。 有効にする場合は、On にしてください。

起動時の動作	カメラが電源投入後に、自動的に実行される動作の設定を行います。 オフ:カメラの電源が入った際に、特定の動作は行われません。 カメラはそのままの位置に留まります。 最後の動作:カメラの電源が切れる前の最後の動作を再現します。 例えば、最後に向いていた方向やズーム倍率を再現します。 プリセット 1～3:カメラの電源が入った際に、あらかじめ設定されたプリセット位置に自動的に移動します。
PTZ 後のフォーカスモード	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
換気	カメラ内部の温湿度を調整するための換気機能です。 実行すると、1 分間内部の換気ファンが動作します。 レンズが曇った際に有効です。

- キャリブレーション

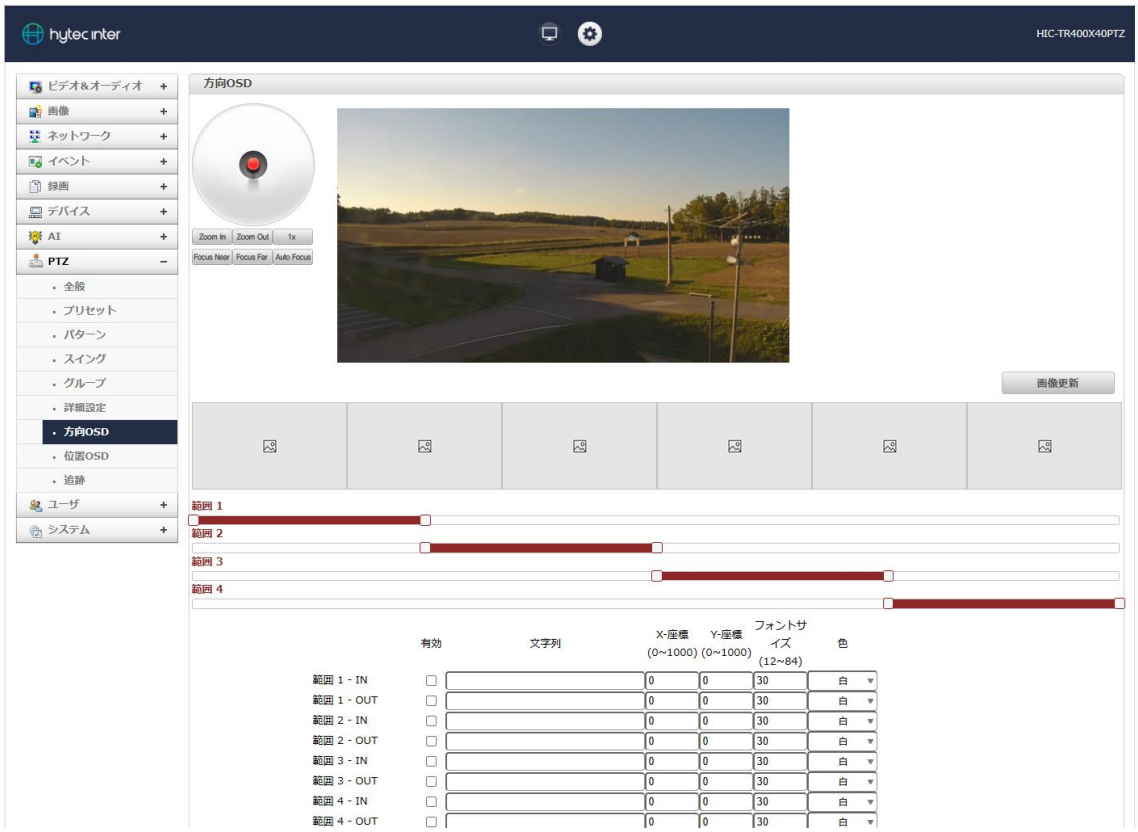


表示	説明
キャリブレーション	カメラが自動的に PTZ 機能の動作を調整し、最適な位置や動作範囲を設定します。実行ボタンを押下するとキャリブレーションを実行します。
自動キャリブレーション	毎日定時刻にキャリブレーションを実行する機能です。 有効にする場合は 24 時間表記で設定をおこなってください。
自動キャリブレーション時間	

- 自動駐車

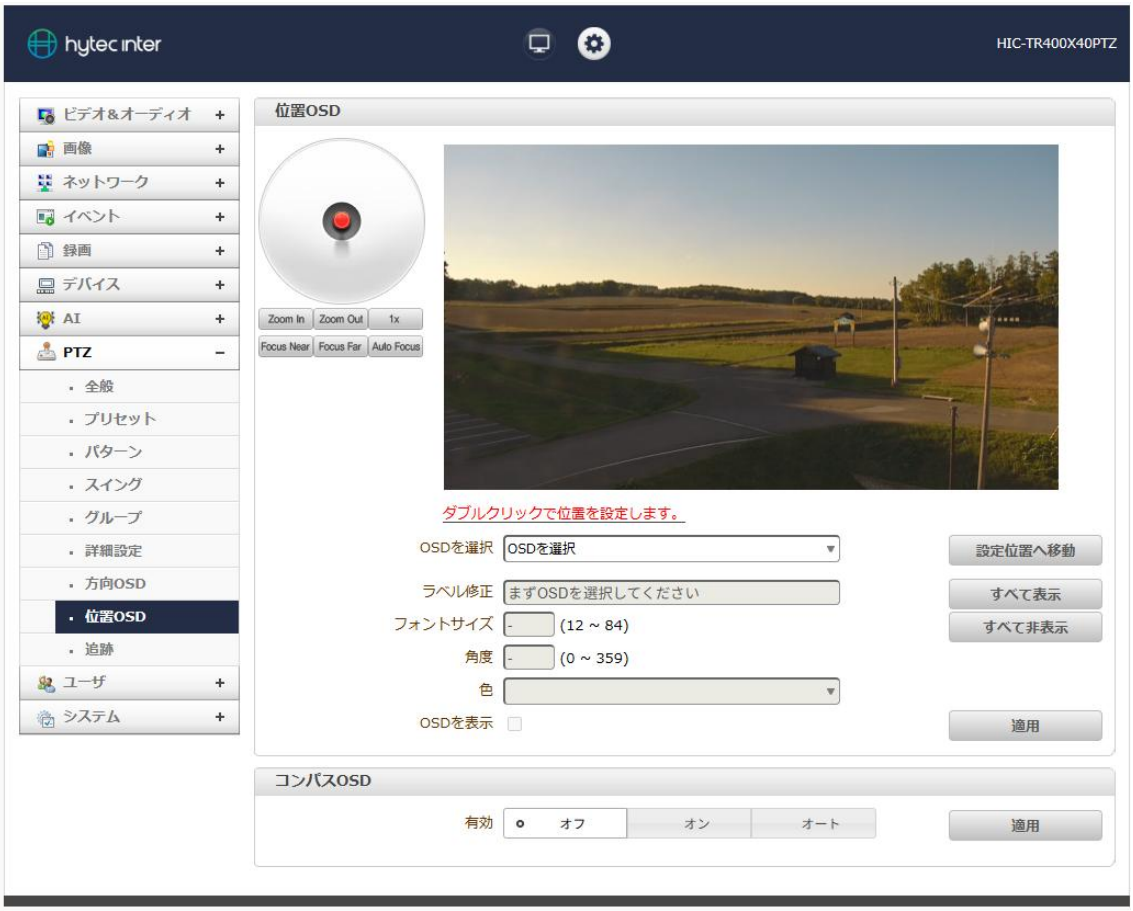
表示	説明
駐車時間	カメラの位置を移動させた後、何秒で駐車動作の位置に戻ってくるのかを設定します。0 の場合は、自動駐車がオフになっています。
駐車動作 1~4	駐車時間で設定した時間が経過すると、ここで指定したプリセットにカメラ位置を戻すことができます。
自動駐車スケジュール	スケジュールを設定します。

5.7.7 方向 OSD



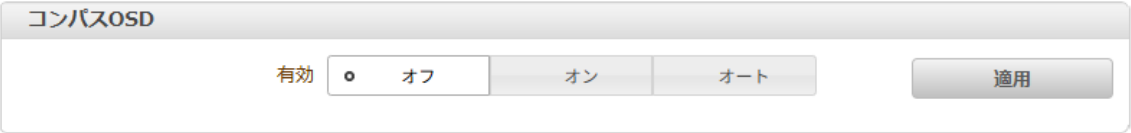
表示	説明
有効	OSD を有効にする場合はチェックを入れます。
文字列	画面上に表示したい任意の文字列を入力します。 Range#1-IN Range#1 の範囲内にカメラが向いている場合のみ、 設定した文字列を表示させることができます。 Range#1-OUT Range#1 の範囲以外にカメラが向いている場合に、 設定した文字列を表示させることができます。
X-座標	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 (0-1000)
Y-座標	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 (0-1000)
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。(12-84)
色	フォントの色を設定します。
画像更新	PTZ カメラで 360 度パノラマ撮影をします。

5.7.8 位置 OSD



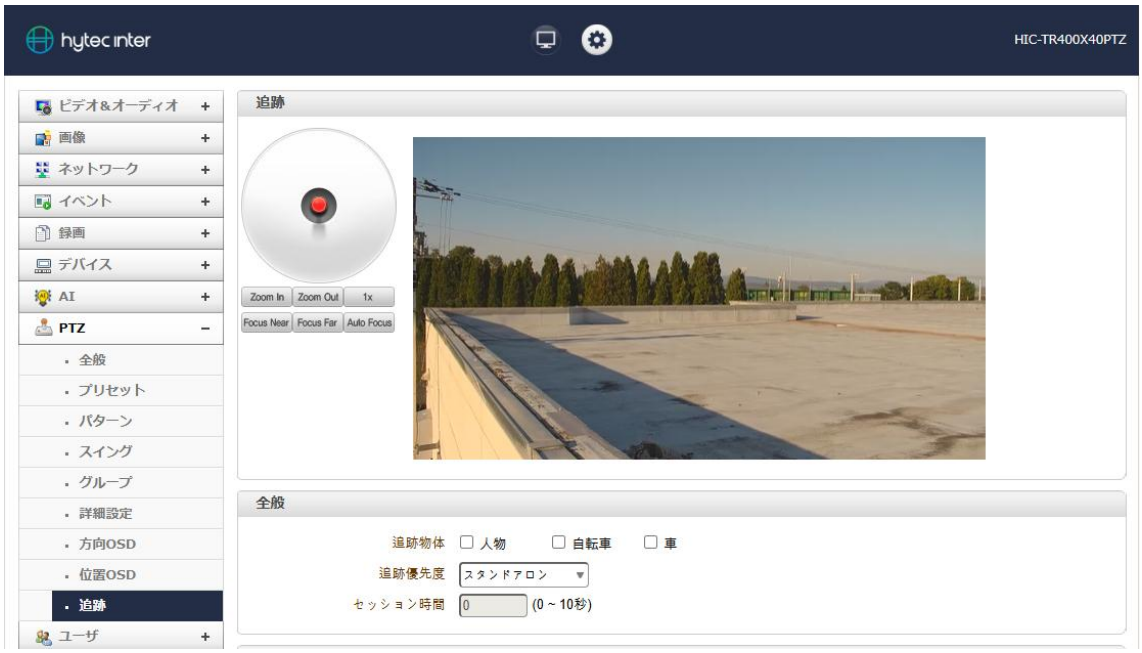
表示	説明
OSD を選択	カメラの画面上に表示される OSD 情報を選択します。 表示する画面を切り替えるには、”設定位置へ移動“ボタンを押します。
ラベル修正	カメラの画面上に表示される OSD 情報のラベルを編集する機能です。
フォントサイズ	カメラの画面上に表示される OSD 情報の文字サイズを調整する機能です。
角度	カメラの画面上に表示される OSD 情報の角度を調整する機能です。
色	カメラの画面上に表示される OSD 情報の文字や背景の色を調整する機能です。
OSD を表示	カメラの画面上に OSD 情報を表示する機能です。 カメラの位置情報や、その他の重要な情報をリアルタイムで確認することができます。

- コンパス OSD



表示	説明
有効	カメラの画面上に方位を表示する機能です。 これにより、カメラの向いている方角をリアルタイムで確認する ことができます。ご使用の際には、一度カメラを真北方向に 向けて「Set North」を押下してからご使用ください。 オフ：カメラの画面上にコンパス情報が表示されません。 オン：カメラの向きに合わせて方位を表すコンパスの画像が、 画面上に常時表示されます。 オート：本機能は未サポートとなります。

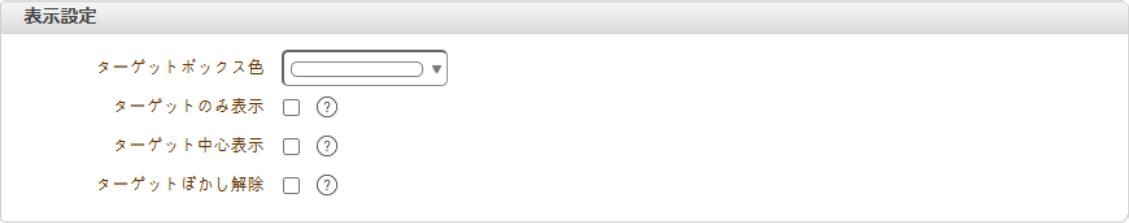
5.7.9 追跡



- 全般

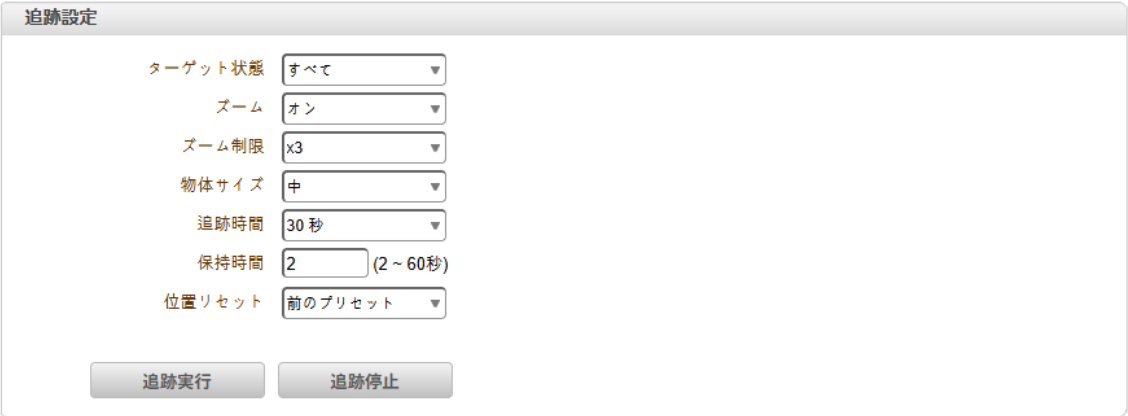
表示	説明
追跡物体	カメラが自動的に追尾する対象物の設定を行います。
追跡優先度	デフォルトの「スタンドアロン」のままご使用ください。

- 表示設定



表示	説明
ターゲットボックス色	ターゲットのボックスの色を指定します。
ターゲットのみ表示	ターゲットのボックスのみを表示するようにします。
ターゲット中心表示	ターゲットの中心に「+」を表示するようにします。
ターゲットぼかし解除	ぼかし機能が設定されている場合、ターゲットのぼかしのみ解除します。

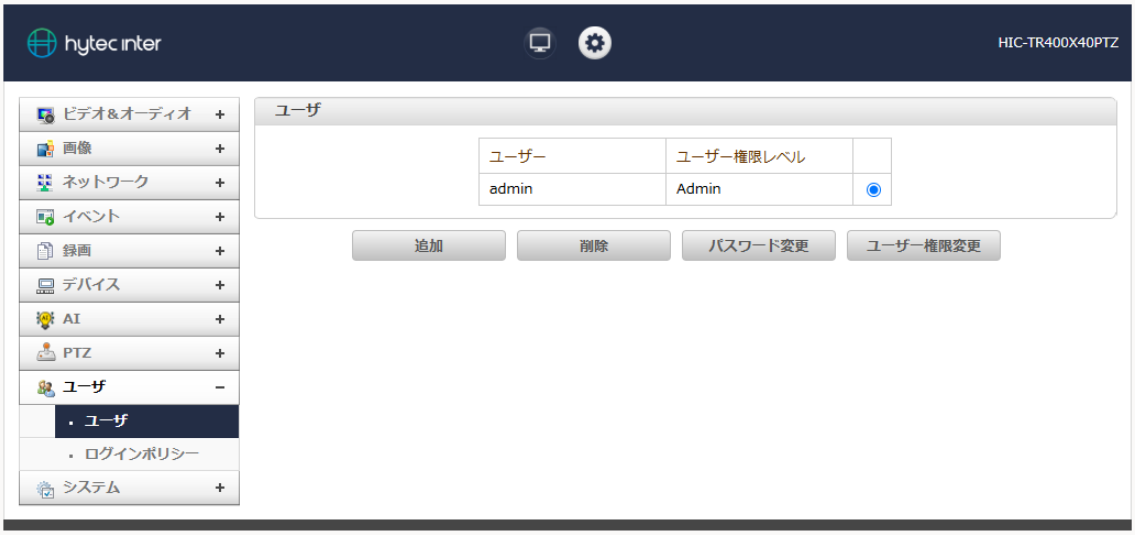
- 追跡設定



表示	説明
ターゲット状態	カメラが追跡する対象物の状態を設定および管理する機能です。
ズーム	カメラが対象物を追跡する際にズームの操作を設定する機能です。
ズーム制限	カメラがズームインまたはズームアウトする際の最大および、 最小のズームレベルを設定する機能です。
物体サイズ	カメラが追跡する対象物のサイズを設定する機能です。
追跡時間	カメラが対象物を追跡する時間を設定する機能です。
保持時間	カメラが対象物を追跡し続ける時間を設定する機能です。
位置リセット	カメラが追跡を終了した後に、自動的に戻る位置を設定する機能です。
追跡実行	クリックすると、カメラが自動追跡モードに入ります。 このモードでは、カメラが設定された条件に基づいて対象物を 自動的に検出し、追跡を開始します。
追跡停止	クリックすると、カメラが現在の追跡を停止します。 この操作により、カメラは自動追跡モードを終了し、追跡対象の 動きを追うことをやめます。

5.8　ユーザ

SETUP メニュー画面の”ユーザ”タブをクリックします。

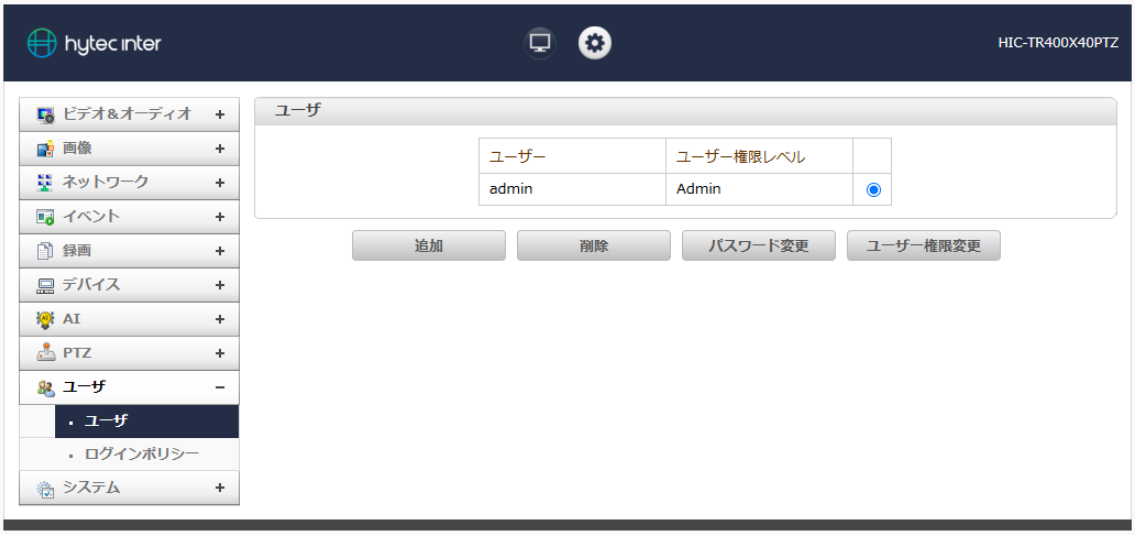


➢ **ユーザメニュー**

表示	説明
ユーザ	ユーザの登録/削除/変更を行います。 最大 16 ユーザ登録可能。(admin 含む)
ログインポリシー	認証タイプやログイン方法を設定できます。

※上記の User 設定は、admin 権限レベルのユーザのみ設定できます。

5.8.1　ユーザリスト



表示	説明
ユーザ	ユーザの ID を表示します。
ユーザ権限レベル	ユーザの権限レベルを表示します。
追加	新しいユーザを追加するための画面が表示されます。 追加したい ID とパスワードを入力し、権限レベルを選択してください。 Admin：管理者権限が付与されます。 管理者権限を持つユーザは、カメラのすべての操作や設定を行うことができます。 Manager：管理者に次ぐ、高い権限が付与されます。 ユーザ設定を除く、すべての操作や設定を行うことができます。 User：ユーザに基本的な操作権限が付与されます。 ライブ映像の視聴、映像の録画・再生、PTZ 操作を行うことができます。 Guest：本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
削除	選択されたユーザが、削除されます。
パスワード変更	選択されたユーザのパスワードを変更することができます。
ユーザー権限変更	選択されたユーザの権限レベルを変更することができます。

- ユーザ追加（新規登録）

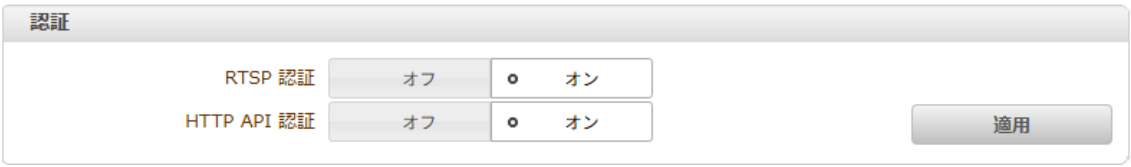
表示	説明
ID	登録するユーザの ID を入力します。 ※1～15 文字、英数字
パスワード	登録するユーザのパスワードを入力します。 ※パスワードは大文字、小文字、数字、特殊文字から 2 種類以上の文字の組み合わせで 10～15 文字、または 3 種類以上の組み合わせで 8～15 文字の規則を満たす必要があります。
パスワード確認	確認のため、もう一度パスワードを入力します。
ユーザ権限レベル	ユーザの権限レベルを選択します。

5.8.2　ログインポリシー

- ログインポリシー

表示	説明
認証方式	認証方式をベーシックまたは Digest から選択します。

- 認証



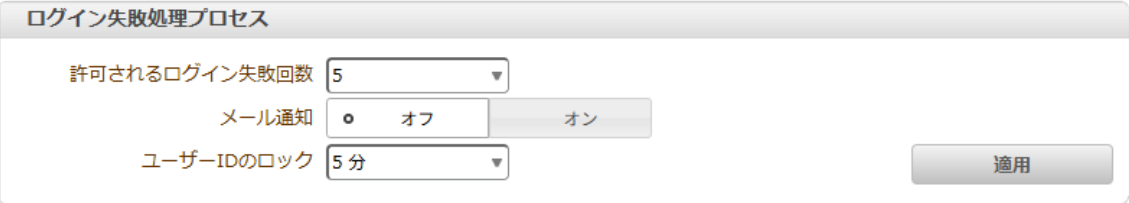
表示	説明
RTSP 認証	On を選択した場合、RTSP クライアントへの動画配信を 行う際に、パスワード認証を要求します。 初期値：On
HTTP API 認証	On に設定すると、HTTP API にて操作する際に、パスワード 認証を要求します。 初期値：On

● ログイン失敗処理プロセス

本製品は、外部からの不正アクセスや総当たり攻撃（パスワードを何度も試す攻撃）を防ぐためのセキュリティ機能を備えています。

管理画面でのログインにおいて、初期値ではパスワードの入力を「5 回連続」で間違えた場合、アカウントが安全のために一時的にロック（無効化）されます。

ロックされた場合は、「5 分以上」時間を空けてから再度ログインをお試しください。



表示	説明
許可されるログイン失敗回数	ログイン失敗の許容回数を設定します。 No limit(無制限)を選択した場合は、何回失敗してもブロックされません。1、3、5、10 を選択した場合は、設定した失敗回数に達するとブロックされます。 ブロックされた場合、一定の時間ログインできなくなります。
メール通知	許可されるログイン失敗回数を超えたログイン失敗が発生した場合メール通知を行うかどうか設定します。
ユーザ ID のロック	許可されるログイン失敗回数を超えたログイン失敗が発生した場合に、対象のユーザ ID をロックする時間を設定します。

5.9　システム

SETUP メニュー画面の”システム”タブをクリックします。

➢ システムメニュー

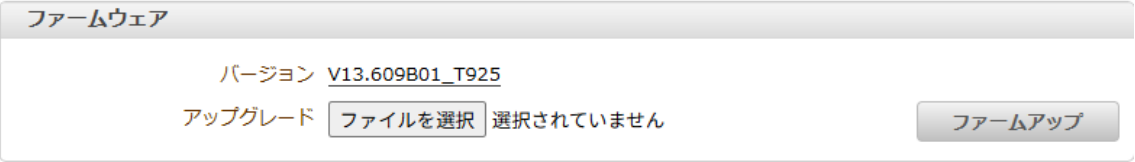
表示	説明
情報	現在の機器情報の表示を行います。
メンテナンス	ファームウェアの更新や本機の再起動、初期化を行います。
時刻	現在の日時設定を行います。
OSD	システム名や日時の画面表示設定を行います。
ログ	ログの表示と保存を行います。

5.9.1　情報

表示	説明
モデル	モデル名を表示します。
バージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
PTZ FW バージョン	現在の PTZ のファームウェアバージョンを表示します。
ズームモジュールバージョン	現在のズームモジュールのバージョンを表示します。
ONVIF バージョン	現在の ONVIF のバージョンを表示します。
OpenSSL バージョン	現在の OpenSSL バージョンを表示します。
AI バージョン	現在の AI のバージョンを表示します。
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
ドメイン名	現在のドメイン名を表示します。
入力電力	現在のカメラに供給されている電力の情報を表示します。

5.9.2　メンテナンス

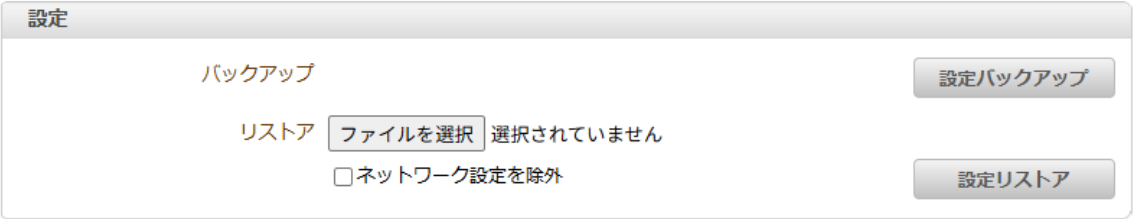
- ファームウェア



表示	説明
バージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
アップグレード	[ファイルを選択]ボタンをクリックし、PC からアップロードするファームウェアファイルを選択します。 [ファームアップ]ボタンをクリックし、アップグレードを開始します。 ※アップグレード中に電源を切らないでください。 ※アップグレード後、工場出荷時設定をおこなってください。

※　本製品は更新前にファームウェアの SHA-256 を使用したハッシュ値による完全性検証が行われ、不一致となる改ざん・破損ファイルは拒否されます。これにより、通信途中でデータが書き換えられたり、壊れたりした不正なファームウェアが誤って適用されることを防止しています。

- 設定

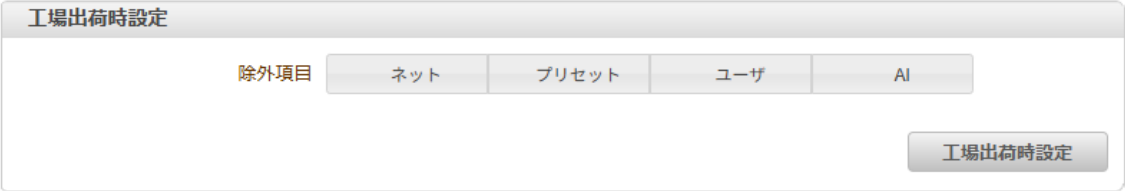


表示	説明
バックアップ	[Config Backup]をクリックし、コンフィグファイルを保存します。
リストア	[ファイルを選択]ボタンをクリックし、Config Backup にて 保存したコンフィグファイルを選択し、設定の復元をします。 [Config Restore]をクリックすると、再起動します。 ※異なるファームウェアバージョンのコンフィグファイルは、適用できません。

- リブート

表示	説明
リブート	本機を再起動します。

- 工場出荷時設定



表示	説明
除外項目	初期化しない設定にチェックをします。
工場出荷時設定	除外項目でチェックを入れた項目以外のすべての設定およびシステムログが初期化されます。 チェックを入れなかった場合は工場出荷時の状態に初期化されます。 ※　FW バージョンは維持されます。

5.9.3　時刻

表示	説明
システム起動時刻	本機の起動日時を表示します。
現在時刻	本機の現在日時を表示します。
時刻設定	手動で日付を表示設定できます。 現在時刻設定 をクリックすると、ブラウザ経由で日時が更新されます。
タイムフォーマット	日時の表示形式を選択します。
タイムゾーン	本機が取り付けられている場合のタイムゾーンを選択します。
NTP サーバ名	同期させる NTP サーバを登録します。

5.9.4 OSD

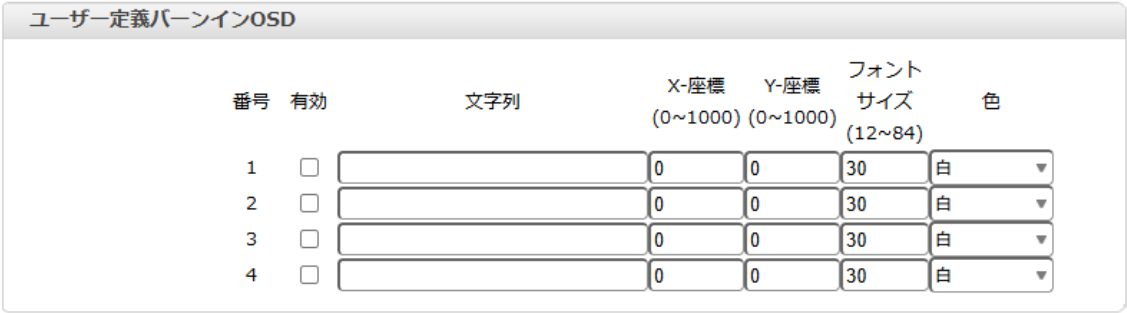
- カメラ ID

表示	説明
カメラ ID	ビデオサーバ名として使用されるシステム ID を入力します。 ※最大 15 文字、英数記号(¥は使用不可)、日本語使用可能。

- OSD 表示

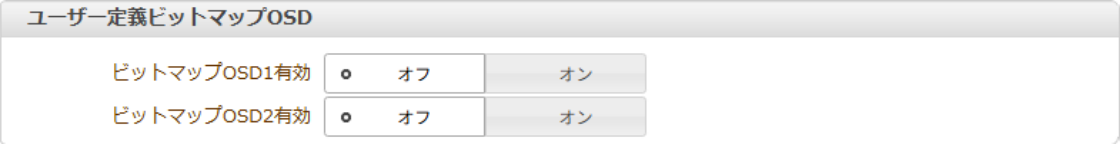
表示	説明
カメラ ID	エンコード映像にシステム ID を表示させるのか Off/On を選択します。
時刻	エンコード映像に現在日時を表示させるのか Off/On を選択します。
位置	システム ID または時刻が On の場合、表示する位置を 画面下部または、画面上部から選択します。
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。 ※48 x 48 のみ未サポートのため、ご使用になれません。

- ユーザ定義バーンイン OSD



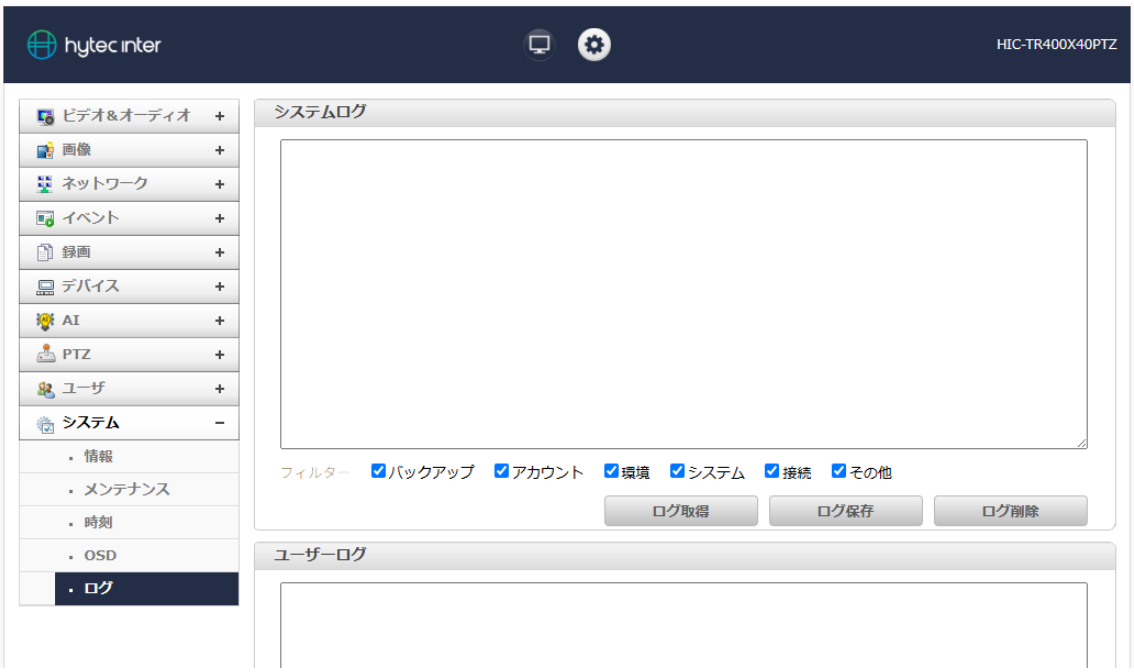
表示	説明
有効	表示する場合は、Enable にチェックを入れます。
文字列	エンコード映像に表示したい任意の文字列を入力します。 ※最大 20 文字、英数記号(¥は使用不可)、日本語使用可能。
X-座標	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 (0-1000)
Y-座標	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。 (0-1000)
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
色	フォントの色を設定します。

- ユーザ定義ビットマップ OSD



表示	説明
ビットマップ OSD1~2 有効	エンコード映像にビットマップを入れる場合は、On にします。 ビットマップは 2 つまで設定可能です。

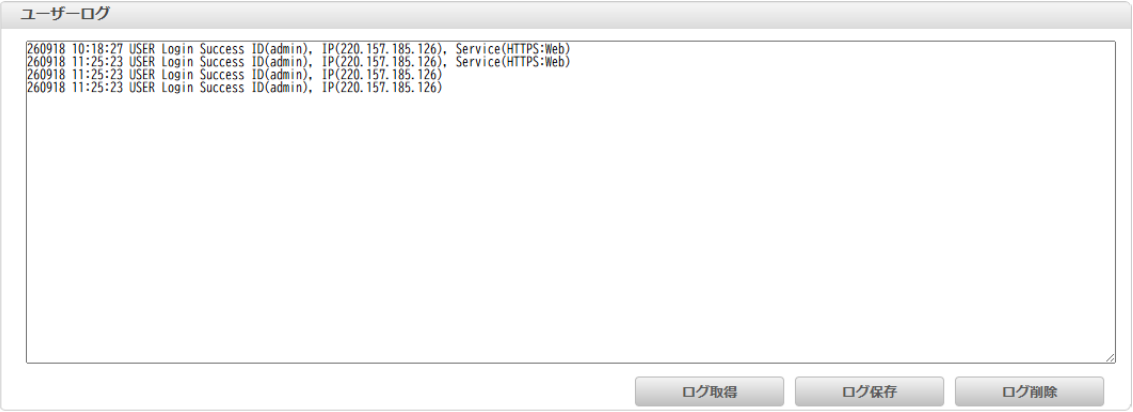
5.9.5　ログ



- システムログ

表示	説明
フィルタ	表示するログを選択できます。非表示にするログはチェックを外します。
ログ取得	システムログを表示します。
ログ保存	表示されているシステムログを txt ファイルとして保存できます。
ログ削除	システムログを削除します。

- ユーザログ



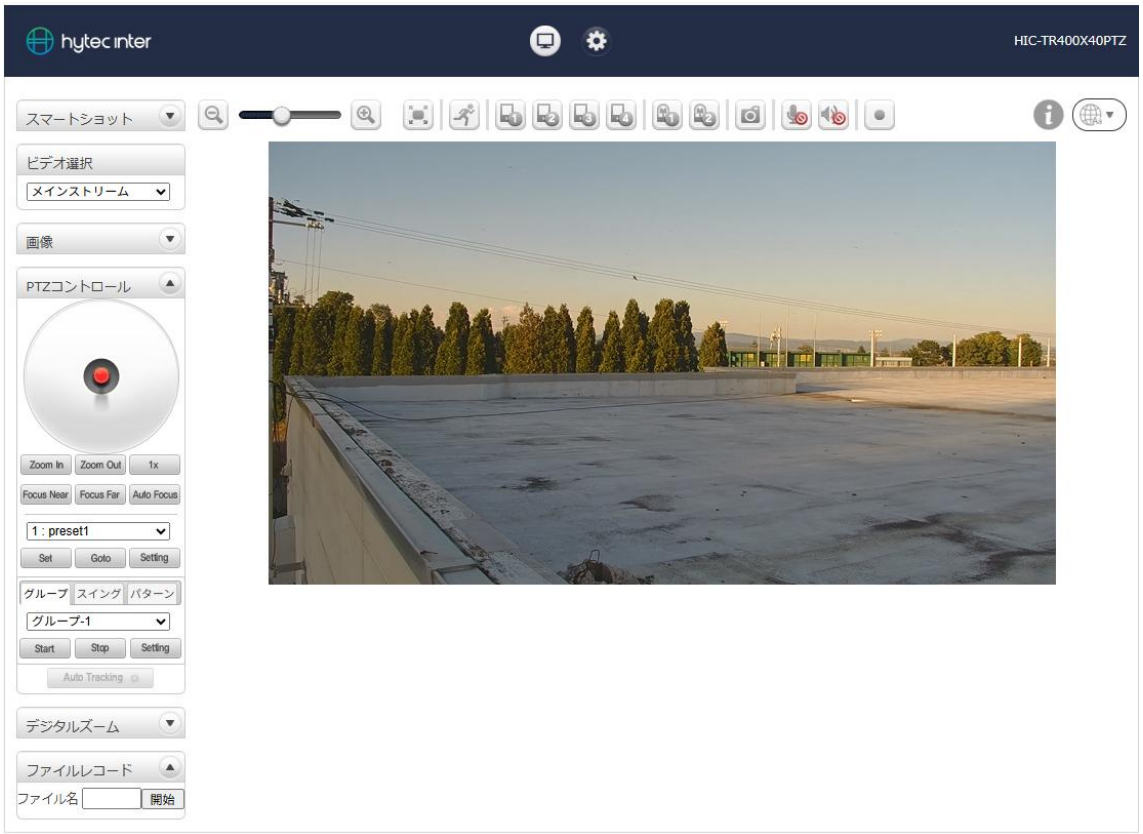
表示	説明
ログ取得	ユーザログインに関するログ(success/failure/blocked)を表示します。
ログ保存	ユーザログインに関するログを txt ファイルとして保存できます。
ログ削除	ユーザログインに関するログを削除します。

- ログ保存オプション

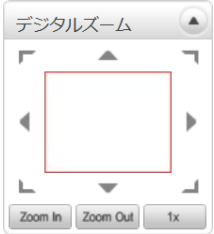
表示	説明
含む	保存するログに含めるかどうか選択できます。
除外	

6　Live メニュー

本機に接続されている PTZ 機能などを有するカメラの制御を行うことができる機能です。



表示	説明
View 画面	エンコード映像を Web ブラウザの View 画面に表示します。 使用する Web ブラウザと、選択するアルゴリズムによって、フレームレートの上限が異なります。
	表示する映像ストリームを選択します。
	映像の映り方の調整を行います。 輝度：映像全体の明るさを調整します。 彩度：映像の色の鮮やかさを調整します。 Sharpness：映像の輪郭や細部を鮮明にする度合いを調整します。

	View 画面上のズーム制御を行います。 Zoom in： 拡大します。 Zoom out： 縮小します。 1x： ワンクリックで通常サイズに戻ります。
	Pan（左右）、Tilt（上下）、Zoom（拡大）の制御を行います。 Zoom In： 拡大します。 Zoom Out： 縮小します。 1x：ワンクリックで通常サイズに戻ります。 Focus Near： 近くに物体に焦点を合わせます。 Focus Far： 遠くの物体に焦点を合わせます。 Auto Focus： 自動的に焦点を合わせます。
	プリセットの設定を行います。 Goto：選択したプリセット位置へカメラを移動します。 Set：現在の位置でプリセットを保存します。 Setting：プリセット設定画面に移行します。
	選択したグループ、スイング、パターンの設定どおりに PTZ します。
	PC のダウンロードフォルダに動画を保存することができます。 ファイル名：ファイル名を設定し、Start で開始、Stop で停止します。 ファイル名［Filename_IPaddress_hh_mm_ss］の MKV ファイルを作成。
	Live 画面のスクリーンサイズを調節します。
	フルスクリーンになります。Esc キーで元のサイズに戻ります。
	Motion Detection（動体検知機能）が有効、設定した範囲内で動きを感知すると赤くなります。
	センサーが ON になると作動します。作動中は数字が赤くなります。
	クリックすると、機器のアラームリレーを ON/OFF することができます。作動中は数字が赤くなります。
	画像をキャプチャし、JPEG ファイルで保存します。
	HTTPS で Web サイトにアクセスして、ご使用ください。
	Live 画面からの音声出力の有効（左）/無効（右）を選択します。

7 製品仕様

製品名	HIC-TR200X40PTZ
形状	ドーム
カメラ部	
撮像素子	1/1.8″ Sony CMOS Sensor
最低被写体照度	Color:0.005Lux(1/30sec,30IRE) BW:0Lux(IR ON)
赤外線 LED	照射距離:350m
レンズ	P-IRIS f = 6.4 ～ 258mm F1.69(広角) ～ F4.92(望遠) 水平画角:60.25 度(広角) ～ 1.65 度(望遠) 垂直画角:35.45 度(広角) ～ 0.93 度(望遠)
デジタルズーム	最大 16 倍 (光学 40 倍 x デジタル 16 倍＝最大 640 倍)
パン角度	360 度 (エンドレス)
チルト角度	100 度 (-10 度～90 度)
パン速度	Preset Max Speed = 220 度/sec Manual Speed = 0.065 度/sec ～ 220 度/sec
チルト速度	Preset Max Speed = 220 度/sec Manual Speed = 0.065 度/sec ～ 220 度/sec
PTZ 機能	プリセット(最大 500 カ所) / パターン (4) / スイング (8) / グループ(8) / オートパーキング
Day & Night	自動 / 昼間 / 夜
シャッター速度	1/1 ～ 1/100,000
ホワイトバランス	自動トレースホワイト/自動ホワイト/マニュアル
ノイズ除去	自動 / マニュアル
逆光補正	BLC / HLC / WDR
その他	プライバシーマスク(8 エリア)、 曇り防止機能サポート、画像:左右反転/上下反転、 OSD(カメラタイトル/方向/ユーザ定義)、多言語対応
スマート機能	
基本	モーション検知、妨害検知
スマート検出	物体検出 / Smart shot / ラインカウント / ゾーン監視 プライバシーマスク / 妨害検知

オートトラッキング	人 / 車両 / ターゲットロック
アラーム関係	通知(E メール)/OSD アラート/FTP アップロード/ PTZ プリセット/アラーム制御/録画/HTTP アクション
DORI Max Distance (m)	Detect(検出):広角 65.2m / 望遠 2588.2m Observe(観察):広角 25.9m / 望遠 1027.1m Recognize(認識):広角 13.0m / 望遠 517.6m Identify(識別):広角 6.5m / 望遠 258.8m
ネットワーク部	
画像圧縮方式	H.265/H.264/MJPEG
音声圧縮方式	G.711/u-law
画像サイズ	320 x 240 ～ 1920 x 1080
フレームレート	Max 60fps@ 1920 x 1080
ビットレート制御	H.264/H.265:CBR/VBR/Hybrid、MJPEG:VBR
プロトコル	IPv4/v6/TCP/UDP/IGMP(Multicast)/ICMP/DHCP/HTTP/ HTTPS/RTP/RTSP/FTP/SNMP/SMTP/UPnP/ WS-Discovery/Zero Configuration/NTP/RTMP
インタフェース規格	ONVIF(Profile S/G/M/T)、PSIA、MPEG-TS
その他	IP アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログインロック
外部インタフェース	
音声	1 x 入力(mono) / 1 x 出力(mono)
イーサネット	RJ-45(10/100BASE-T)
アラーム IN/OUT	センサー入力:1 端子【無電圧接点入力(通常開/通常閉)】 アラーム出力:1 端子【無電圧接点出力】
一般	
PoE	PoE++:IEEE 802.3bt Type 4 Class 7
PoE 消費電力	最大 50W (PoE)
動作温度	-40～+60℃
動作湿度	90%RH 未満(結露なきこと)
保存温度	-50～+60℃
保存湿度	95%RH 未満(結露なきこと)
寸法	Φ226 x 359 mm
重量	6.3kg
認証	IP66/IK10/KC

8　セキュリティに関するご注意

本製品を安全にご利用いただくため、設置、設定、運用、譲渡および廃棄の際には、以下を実施してください。

1.　安全な設定

- 初回設定時に、管理者パスワードを変更してください。
- 他の機器やサービスと同一のパスワードを使用しないでください。
- 管理画面へアクセスできるユーザを必要最小限にしてください。
- 使用しないアカウント、サービスおよび通信ポートは無効にしてください。
- 管理画面へは HTTPS 等の暗号化通信を使用してアクセスしてください。
- 本製品をインターネットへ直接公開する場合は、ファイアウォール、VPN 等によりアクセスを制限してください。

2.　安全な運用

- ファームウェアは、当社が提供する最新バージョンへ更新してください。
- 管理者アカウントおよび登録ユーザを定期的に見直し、不要なアカウントは削除してください。
- 本製品および接続先ネットワークは、権限のない者が物理的またはネットワーク経由でアクセスできないよう管理してください。
- 設定情報をバックアップする場合は、アクセス権を管理した安全な場所に保管してください。

3.　譲渡・廃棄時

本製品を譲渡、返却または廃棄する前に、本書に記載された初期化及びデータ消去の手順に従い、設定情報、認証情報、ログ及び保存データを消去してください。
初期化で消去される情報の範囲は、本書の初期化手順を確認してください。初期化では消去されないデータがある場合は、別途、所定の方法で消去してください。
記録媒体を使用している場合は、その媒体に保存されたデータも消去してください。データの復元を防ぐ必要がある場合は、専用のデータ消去サービスや物理的な破壊など、適切な方法で処理してください。
廃棄する際は、関連法令及び自治体のルールに従ってください。

9　困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 出力先のモニタ等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

10 製品保証

◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます。
3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
4) 弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
（修理できない場合もあります）

1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合

◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。

◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。

◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。

◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社　カスタマサポート

受付時間：　平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）　9:00～17:00

TEL：　0570-060030

問合せフォーム：https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

Copyright © 2026

HYTEC INTER Co., Ltd.